

BQ25692-Q1 : スタンドアロン/I²C 制御、1～7セルリチウムイオン、3A昇降圧双方向バッテリ充電器、USB-PD 3.0 OTG 出力付き

1 特長

- 車載アプリケーション向けに AEC-Q100 認証済み
 - 温度グレード 1: $-40^{\circ}\text{C} \leq T_A \leq 125^{\circ}\text{C}$
- 統合スイッチング MOSFET とループ補償を内蔵した高集積型昇降圧方式(順方向/シンク)充電器で、1～7セルのリチウムイオン電池に対応し、USB PD プロファイルをサポート
- 高効率
 - プログラム可能なスイッチング周波数: 450kHz～1.2MHz
 - 20V、3A での USB-PD PPS 直接バッテリ充電時に、98.5%以上の効率を実現するバイパスモードを備えています
 - 軽負荷時の効率向上のため、オーディオ帯域外(OOA)動作を備えた選択可能な PFM
- 2.5V～36V の動作範囲と 45V の絶対最大定格に対応する幅広い入力電源をサポート
 - V_{BAT} が 3.2V を超える場合、 V_{IN} は最小 2.5V までサポート
 - USB PD 入力
 - 入力ソースの過負荷を防ぐため、最大 36V まで対応する入力電圧の動的なパワー マネジメント(VINDPM)機能
 - 最大電力制限のために、最大 3.3A まで対応するオプションの入力電流の動的なパワー マネジメント(IINDPM)機能
- システム性能を最適化するための I²C 制御に対応しており、抵抗による設定オプションも利用可能
 - セル数、充電電圧、入力電流および充電電流の制限をハードウェアで選択可能なデフォルト設定として構成可能
 - 20mA の分解能で最大 3A の充電電流に対応
- リバース/OTG(ソース)モードでは、バッテリから入力ポートに電力を供給
 - USB-PD PPS 対応するため、3.5V～34V の逆方向出力電圧を 20mV の分解能で設定
 - 20mA 分解能で最大 3.3A の逆出力電流レギュレーションを実施し、USB-PD PPS をサポート
- 低い静止電流
 - バッテリ単独動作時の消費電流は TBD μA
 - コンバータのスイッチング動作時の消費電流は TBD μA
- 高い精度
 - 充電電圧の制御精度は TBD
 - 入力/出力電流の制御精度は TBD
- 安全

- 入力およびバッテリ OVP
- サーマル レギュレーションおよびサーマル シャットダウン
- コンバータ MOSFET の OCP
- 充電安全タイマ

2 アプリケーション

- 低電圧バッテリシステム
- フロントドアモジュール
- テレマティクス制御ユニット
- ADAS ドメインコントローラ

3 説明

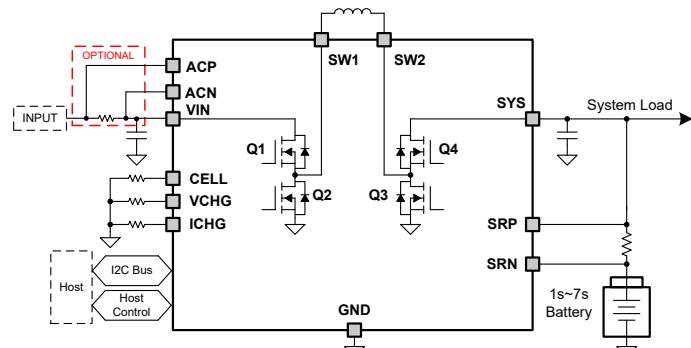
BQ25692-Q1 は、1～7セルのリチウムイオンバッテリ、リチウムポリマバッテリ、用の完全統合型スイッチモード昇降圧充電器です。入力電圧範囲は 2.5V～36V と広いため、バッテリ、標準的な USB-PD アダプタ、高電圧専用 DC アダプタからの電力供給で動作するアプリケーションに対応します。デバイスは 4 個のスイッチング MOSFET とすべてのコンバータループ補償を内蔵しており、ソリューションサイズを小型化して簡単な設計を実現します。デバイスは、USB Type-C および USB 電源供給(USB-PD)アプリケーションの全入力(シンク)および出力(逆方向またはソースモード)電圧範囲もサポートしています。

パッケージ情報

部品番号	パッケージ ⁽¹⁾	パッケージサイズ ⁽²⁾
PQ25692QWRBAR-Q1	RBA (WQFN, 26)	4.0mm × 3.5mm

(1) 利用可能なすべてのパッケージについては、データシートの末尾にある注文情報を参照してください。

(2) パッケージサイズ(長さ × 幅)は公称値であり、該当する場合はピンも含まれます。



概略回路図



このリソースの元の言語は英語です。翻訳は概要を便宜的に提供するもので、自動化ツール(機械翻訳)を使用していることがあり、TIでは翻訳の正確性および妥当性につきましては一切保証いたしません。実際の設計などの前には、ti.com で必ず最新の英語版をご参照くださいますようお願いいたします。

目次

1 特長.....	1	7 アプリケーションと実装.....	57
2 アプリケーション.....	1	7.1 アプリケーション情報.....	57
3 説明.....	1	7.2 代表的なアプリケーション設計例.....	58
4 ピン構成および機能.....	3	7.3 電源に関する推奨事項.....	64
5 仕様.....	5	7.4 レイアウト.....	64
5.1 絶対最大定格.....	5	8 デバイスおよびドキュメントのサポート.....	68
5.2 ESD 定格.....	5	8.1 デバイス サポート.....	68
5.3 推奨動作条件.....	5	8.2 ドキュメントの更新通知を受け取る方法.....	68
5.4 熱に関する情報.....	6	8.3 サポート・リソース.....	68
5.5 電気的特性.....	6	8.4 商標.....	68
5.6 タイミング要件.....	11	8.5 静電気放電に関する注意事項.....	68
5.7 代表的特性.....	13	8.6 用語集.....	68
6 詳細説明.....	15	9 改訂履歴.....	68
6.1 概要.....	15	10 メカニカル、パッケージ、および注文情報.....	69
6.2 機能ブロック図.....	16	10.1 付録:パッケージ オプション.....	70
6.3 機能説明.....	17	10.2 テープおよびリール情報.....	71
6.4 デバイスの機能モード.....	38	10.3 メカニカル データ.....	73
6.5 レジスタ マップ.....	39		

4 ピン構成および機能

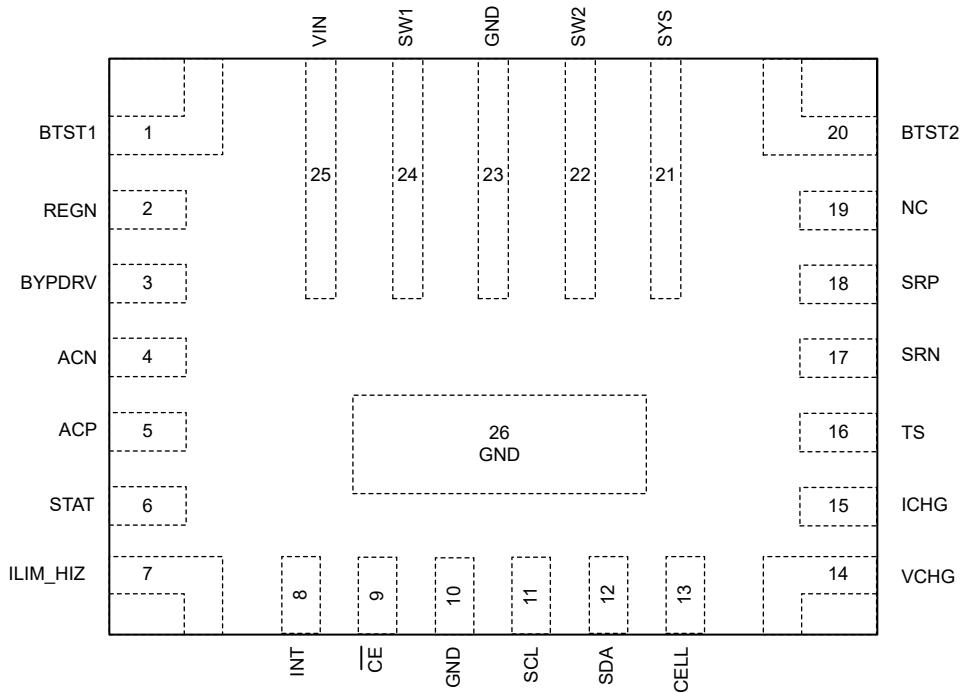


図 4-1. BQ25692-Q1RBA パッケージ ウェッタブル フランク付き 26 ピン WQFN 上面図

表 4-1. ピンの機能

ピン		タイプ ⁽¹⁾	説明
名称	番号		
ACN	4	AI	アダプタ電流センス抵抗、負入力 – ACN と ACP の間に $0.47\mu F$ セラミックコンデンサを配置し、差動モード フィルタリングを実現します。オプションとして、ACN ピンと GND 間に $0.1\mu F$ のセラミックコンデンサを配置し、同相モード フィルタリングを行います。
ACP	5	AI	アダプタ電流センス抵抗、正入力 – ACN と ACP の間に $0.47\mu F$ セラミックコンデンサを配置し、差動モード フィルタリングを実現します。同相モード フィルタリングのために、ACP ピンと GND の間に $0.1\mu F$ セラミックコンデンサを配置します。
BTST1	1	P	降圧側ハイサイドパワー MOSFET ゲートドライバ電源 – ハイサイド降圧 MOSFET (Q1) を駆動するため、BTST1 と SW1 の間に $47nF$ のセラミックコンデンサを接続します。REGN と BTST1 間のブートストラップダイオードが内蔵されています。
BTST2	20	P	降圧側ハイサイドパワー MOSFET ゲートドライバ電源 – ハイサイド昇圧 MOSFET (Q4) を駆動するため、BTST2 と SW2 の間に $47nF$ のセラミックコンデンサを接続します。REGN と BTST2 間のブートストラップダイオードが内蔵されています。
BYPDRV	3	P	バイパス FET ゲートドライブ – 双方向入力 FET のゲートに直接接続します。EN_BYPASS = 1 および EN_EXT_BYPASS = 1 のとき、このピンは SRN に対して 5V の電位差でゲートを駆動し、外部バイパス FET をオンにします。BYPDRV から外部バイパス FET の共通ソースに 15V のツエナーダイオードを接続します。外部バイパス機能を使用しない場合、このピンはオープンのままにしておくことができます。
CE	9	DI	アクティブ Low 充電イネーブルピン – EN_CHG ビットが 1かつ CE ピンが Low の場合、バッテリ充電が有効になります。CE ピンは HIGH または Low にする必要があります。フローティングのまにしてください。
セル	13	AI	セル数のプログラム – 電源投入時、充電器はセルピンに接続された抵抗値を検出し、デフォルトのバッテリのセル数を判別して、それに対応する および充電電圧を設定します。公差 $\pm 1\%$ または $\pm 2\%$ の表面実装抵抗を推奨します。
GND	10	P	グランドリターン
GND	23	P	グランドリターン

表 4-1. ピンの機能 (続き)

ピン		タイプ ⁽¹⁾	説明
名称	番号		
ICHG	15	AI	充電電流のプログラム – 電源投入時、充電器は ICHG ピンに接続された抵抗値を検出し、デフォルトのバッテリ充電電流を決定します。公差 $\pm 1\%$ または $\pm 2\%$ の表面実装抵抗を推奨します。
ILIM_HIZ	7	AI	入力電流制限設定 – ILIM_HIZ ピンは最大入力電流を設定し、入力電流の監視にも使用できます。また、このピンを HIGH に引き上げることで、デバイスを HIZ モードに強制的に移行させることができます。GND に接続されたプログラミング抵抗によって入力電流制限が設定され、 $I_{IN_MAX} = K_{ILIM} / R_{ILIM}$ の関係が成立します。デバイスが入力電流制御中の場合、ILIM_HIZ ピンの電圧は 1V になります。ILIM ピンの電圧 (V_{ILIM}) が 1V を下回ると、実際の入力電流は次のように計算できます： $I_{IN} = K_{ILIM} \times V_{ILIM} / (R_{ILIM} \times 1V)$ 。実際の入力電流制限値は、ILIM_HIZ ピンまたは IINDPM レジスタビットで設定された制限値のうち、低い方が適用されます。EN_EXTILIM ビットが 0 の場合、このピンの機能は無効になります。ILIM_HIZ ピンを使用しない場合は、このピンを GND に接続し、オープンのままにしないでください。
INT	8	DO	オープンドレイン割り込み出力 – 10kΩ 抵抗を経由して、INT ピンをロジックレールに接続します。INT ピンがアクティブ Low の 256 μs パルスをホストに送信し、充電デバイスのステータスと故障を報告します。
NC	19	-	未接続 – このピンはフローティングのままにする必要があります。
REGN	2	P	充電器内部リニアレギュレータ出力 – REGN からグランドに 4.7μF セラミックコンデンサを接続します。REGN LDO 出力は、内部 MOSFET のゲート駆動電圧および TS ピンの抵抗分圧用バイアス電圧として使用されます。
SCL	11	DI	I2C インターフェイスクロック – 10kΩ 抵抗を経由して SCL をロジックレールに接続します。
SDA	12	DIO	I2C インターフェイスデータ – 10kΩ 抵抗を経由して SDA をロジックレールに接続します。
SRN	17	AI	充電電流センス抵抗、負入力 – SRN から SRP 間に 0.47μF のセラミックコンデンサを配置し、差動モードフィルタリングを行います。オプションとして、SRN ピンと GND 間に 0.1μF のセラミックコンデンサを配置し、同相モードフィルタリングを行います。
SRP	18	AI	充電電流センス抵抗、正入力 – 差動モードフィルタリングを行うために、SRN から SRP に 0.47μF セラミックコンデンサを配置します。同相モードフィルタリングのために、SRP ピンと GND の間に 0.1μF セラミックコンデンサを配置します。
STAT	6	DO	オープンドレインステータス出力 – 10kΩ 抵抗を経由してブルアップレールに接続します。LOW は、充電中であることを示します。HIGH は、充電完了または充電が無効であることを示します。故障状態が発生すると、STAT ピンは 1Hz で点滅します。DIS_STAT_PIN ビットを 1 に設定すると、STAT ピン機能を無効にできます。
SW1	24	P	降圧側ハーフプリッジスイッチングノード – Q1 スイッチと Q2 スイッチの中間点へのインダクタ接続。
SW2	22	P	昇圧側ハーフプリッジスイッチングノード – Q3 および Q4 スイッチの中間点へのインダクタ接続。
SYS	21	P	チャージャ出力電圧からシステム – 内部の N チャネルハイサイド MOSFET (Q4) は、ドレインが SYS に、ソースが SW2 に接続されています。このピンはスイッチングコンバータの出力であり、可能な限りピンの近くにセラミックコンデンサを配置してデカップリングしてください。SYS から GND への低インピーダンス接続を実現するために、0.1μF コンデンサとより大容量のコンデンサを組み合わせて使用することが推奨されます。
サーマルパッド	26	-	IC の下にある露出パッド – 必ずサーマルパッドを基板に半田付けし、複数のビアを介して GND および電源グランドプレーンに接続します。露出したパッドは熱を放散するのに役立ちます。
TS	16	AI	温度認定電圧入力 – 負の温度係数サーミスタを接続します。REGN から TS を経由して GND に接続された抵抗分圧回路によって、温度ウンドウを設定します。TS ピンの電圧が範囲外になると、充電は一時停止されます。103AT-2 10kΩ サーミスタを推奨します。
VCHG	14	AI	充電電圧プログラム – 電源投入時、充電器は VCHG ピンに接続された抵抗値を検出し、デフォルトのバッテリ充電電圧を決定します。公差 $\pm 1\%$ または $\pm 2\%$ の表面実装抵抗を推奨します。
VIN	25	P	充電器入力電圧 – 内部の N チャネルハイサイド MOSFET (Q1) は、ドレインが VIN に、ソースが SW1 に接続されています。このピンはスイッチングコンバータの入力であり、可能な限りピンの近くにセラミックコンデンサを配置してデカップリングします。VIN から GND への低インピーダンス接続を実現するために、0.1μF コンデンサとより大容量のコンデンサを組み合わせて使用することが推奨されます。

(1) AI = アナログ入力、AIO = アナログ入出力、DI = デジタル入力、DO = デジタル出力、DIO = デジタル入出力、P = 電源

5 仕様

5.1 絶対最大定格

自由気流での動作温度範囲内 (特に記述のない限り)⁽¹⁾

		最小値	最大値	単位
電圧	VIN、ACP、ACN、BATDRV、SYS、SRP、SRN	-0.3	45	V
	SW1、SW2	-0.3	45	V
	SW1、SW2 (50ns の過渡)	-2	45	V
	BYPDRV	-0.3	45	V
	SW1 を基準とした BTST1	-0.3	6	V
	SW2 を基準とした BTST2	-0.3	6	V
	REGN	-0.3	6	V
	SRP を基準とした BATDRV	-0.3	10	V
	ACN に対する ACP、SRN に対する SRP	-0.3	0.3	V
	CELL、/CE、ICHG、ILIM_HIZ、/INT、SCL、SDA、STAT、TS、VCHG	-0.3	6	V
出力シンク電流	/CE、STAT		5	mA
T _J	接合部温度	-40	150	°C
T _{stg}	保存温度	-65	150	°C

- (1) 「絶対最大定格」外での操作は、デバイスに恒久的な損傷を引き起こす可能性があります。「絶対最大定格」は、これらの条件において、または「推奨動作条件」に示された値を超える他のいかなる条件でも、本製品が正しく動作することを暗に示すものではありません。「絶対最大定格」の範囲内であっても「推奨動作条件」の範囲外で使用した場合、本デバイスは完全に機能するとは限らず、このことが本デバイスの信頼性、機能、性能に影響を及ぼし、本デバイスの寿命を縮める可能性があります。

5.2 ESD 定格

				値	単位
V _(ESD)	静電放電	人体モデル (HBM)、AEC Q100-002 に準拠 ⁽¹⁾		±2000	V
		荷電デバイス モデル (CDM)、AEC Q100-011 準拠	コーナー ピン (BTST1、ILIM_HIZ、VCHG、BTST2)	±750	
			すべてのピン	±500	

- (1) AEC Q100-002 は、HBM ストレス試験を ANSI / ESDA / JEDEC JS-001 仕様に従って実施しなければならないと規定しています。

5.3 推奨動作条件

自由気流での動作温度範囲内 (特に記述のない限り)

		最小値	公称値	最大値	単位
V _{IN}	入力電圧	2.5	36	V	
V _{BAT}	バッテリ電圧	0	33	V	
F _{SW}	スイッチング周波数	450	1,200	kHz	
C _{VIN}	VIN 総容量 (ディレーティング後の最小値) ($C_{VIN} = C_{VIN_ACN} + C_{VIN_ACP}$) ($C_{VIN_ACP} \geq C_{VIN_ACN}$)	10			μF
C _{VIN_ACN}	C _{VIN_ACN} キャパシタンス (ディレーティング後の最小値)	100			nF
C _{SYS_1s-2s}	SYS 容量 (1s - 2s) (ディレーティング後の最小値)	15			μF
C _{SYS_3s-7s}	SYS 容量 (3s - 7s) (ディレーティング後の最小値)	8			μF
C _{BAT}	BAT 容量 (ディレーティング後の最小値)	5			μF

5.3 推奨動作条件 (続き)

自由気流での動作温度範囲内 (特に記述のない限り)

		最小値	公称値	最大値	単位
L	f _{SW} の推奨インダクタ: 450kHz ~ 500kHz	6.8		15	μH
	f _{SW} の推奨インダクタ: 550kHz ~ 700kHz	4.7		10	μH
	f _{SW} > 700kHz の場合の推奨インダクタンス	2.2		4.7	μH
R _{AC_SNS}	入力電流検出ピン	0	5	10	mΩ
R _{BAT_SNS}	バッテリ電流検出抵抗		5	10	mΩ
R _{CELL}	CELL プルダウン抵抗	4.6		27.4	kΩ
R _{VCHG}	VCHG プルダウン抵抗	4.6		27.4	kΩ
R _{ICHG}	ICHG プルダウン抵抗	4.6		27.4	kΩ
R _{ILIM_HIZ}	ILIM_HIZ プルダウン抵抗	0.0		33	kΩ
T _A	周囲温度	-40		125	°C
T _J	接合部温度	-40		125	°C

5.4 熱に関する情報

熱評価基準 ⁽¹⁾		BQ25692-Q1	単位
		RBA (QFN)	
		26-PIN	
R _{θJA}	接合部から周囲への熱抵抗	37.9	°C/W
R _{θJC(top)}	接合部からケース (上面) への熱抵抗	22.5	°C/W
R _{θJB}	接合部から基板への熱抵抗	6.8	°C/W
Ψ _{JT}	接合部から上面への特性パラメータ	0.9	°C/W
Ψ _{JB}	接合部から基板への特性パラメータ	6.8	°C/W

(1) 従来および最新の熱評価基準の詳細については、『半導体および IC パッケージの熱評価基準』アプリケーション ノートを参照してください。

5.5 電気的特性

V_{VIN_UVLOZ} < V_{VIN} < V_{VIN_OVP}, T_J = -40°C ~ +125°C、標準値の場合は (特段の記述がない限り) T_J = 25°C

パラメータ	テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
静止時電流					
I _{SD_BAT}	BATFET オフでのシャットダウン バッテリ電流 (I _{SRN} + I _{SRP} + I _{SYS})	V _{SRP} = V _{SRN} = V _{SYS} = 20V, VIN = 0V, FORCE_BATFET_OFF = 1, T _J < 105°C	5		μA
I _{Q_BAT}	BATFET オンでの静止バッテリ電流 (I _{SRN} + I _{SRP} + I _{SYS})	V _{SRP} = V _{SRN} = V _{SYS} = 20V, VIN = 0V, T _J < 105 °C	10		μA
I _{HIZ_VIN}	HIZ モード入力電流 (IACP + IACN + IVIN)	EN_HIZ = 1, VIN = 24V	15		μA
I _{Q_VIN}	静止入力電流 (IACP + IACN + IVIN)	スイッチングしない	100		μA
		スイッチング, ISYS = ICHG = 0A	440		μA
I _{Q_REV}	逆方向モードでの静止バッテリ電流 (I _{SRN} + I _{SRP} + I _{SYS})	スイッチングしない	100		μA
		スイッチング	440		μA
VIN / VBAT 電源					
V _{VIN_OP}	VIN の動作範囲	VBAT > 3.2V	2.5	36	V
		VBAT < 3.2V	3.2	36	V
V _{VIN_OK}	VIN コンバータのイネーブル スレッショルド	VIN 上昇、バッテリーなし	2.8		V

5.5 電気的特性 (続き)

$V_{VIN_UVLOZ} < V_{VIN} < V_{VIN_OVP}$, $T_J = -40^\circ\text{C} \sim +125^\circ\text{C}$ 、標準値の場合は(特段の記述がない限り) $T_J = 25^\circ\text{C}$

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
V_{VIN_OKZ}	VIN コンバータのディスエーブルスレッショルド	VIN 下降、バッテリーなし		2.4		V
V_{VIN_OVP}	VIN 過電圧立ち上がりスレッショルド	VIN 立ち上がり		36.3		V
	VIN 内部過電圧立ち下がりスレッショルド	VIN 立ち下がり		34.5		V
V_{BAT_OK}	OTG 動作を許容するバッテリ電圧	V_{SRN} 立ち上がり、入力なし		2.8		V
V_{BAT_OKZ}	OTG 動作を無効化するバッテリ電圧	V_{SRN} 立ち下がり、入力なし		2.4		V
V_{SYS_SHORT}	VSYS 短絡電圧立ち上がりスレッショルド			2.2		V
	VSYS 短絡電圧立ち下がりスレッショルド			2.0		V
バッテリチャージャ						
V_{REG_RANGE}	標準的な充電電圧レギュレーション範囲		2.4	33.0		V
V_{REG_STEP}	標準的な充電電圧ステップ			10		mV
I_{CHG_RANGE}	代表的な充電電流レギュレーション範囲		40	3300		mA
I_{CHG_STEP}	標準的な充電電流ステップ			20		mA
I_{CHG_ACC}	充電電流レギュレーション精度 $VBAT = 4V$ /セル、 $R_{BAT_SNS} = 10m\Omega$	$VBAT = 12V, 20V, 28V$, $I_{CHG} = 1.5A$		1500		mA
		$VBAT = 12V, 20V, 28V$, $I_{CHG} = 0.5A$		500		mA
		$VBAT = 12V, 20V, 28V$, $I_{CHG} = 0.1A$		100		mA
I_{TERM_RANGE}	代表的な終端電流範囲		20	620		mA
I_{TERM_STEP}	代表的な終端電流ステップ			20		mA
I_{TERM_ACC}	終了電流精度、 $VBAT = 4.2V$ /セル、 $R_{BAT_SNS} = 10m\Omega$	$VBAT = 12.6V, 21V, 29.4V$, $I_{TERM} = 160mA$		160		mA
		$VBAT = 12.6V, 21V, 29.4V$, $I_{TERM} = 80mA$		80		mA
I_{PRECHG}	標準的なプリチャージ電流範囲	$VBAT < V_{BAT_LOWV}$	20	620		mA
I_{PRECHG_STEP}	標準的なプリチャージ電流ステップ			20		mA
I_{PRECHG_ACC}	プリチャージ電流精度、 $VBAT = 2.5V$ /セル、 $R_{BAT_SNS} = 10m\Omega$	$VBAT = 7.5V, 12.5V, 17.5V$, $I_{PRECHG} = 300mA$		300		mA
		$VBAT = 7.5V, 12.5V, 17.5V$, $I_{PRECHG} = 160mA$		160		mA
		$VBAT = 7.5V, 12.5V, 17.5V$, $I_{PRECHG} = 80mA$		80		mA
I_{BAT_SHORT}	リチウムイオンバッテリのトリクル充電電流精度	$VBAT < V_{BAT_SHORT}$		100		mA
V_{BAT_SHORT}	トリクル充電から充電前遷移まで(1s-2s)	$VBAT$ 立ち上がり、セルごとのスレッショルド		2.15		V
	充電前からトリクル充電への遷移(1s-2s)	$VBAT$ 立ち下がり、セルごとのスレッショルド		1.85		V
	トリクル充電から充電前遷移まで(3s-7s)	$VBAT$ 立ち上がり、セルごとのスレッショルド		2.2		V
	充電前からトリクル充電への遷移(3s-7s)	$VBAT$ 立ち下がり、セルごとのスレッショルド		2.0		V

5.5 電気的特性 (続き)

$V_{VIN_UVLOZ} < V_{VIN} < V_{VIN_OVP}$, $T_J = -40^\circ\text{C} \sim +125^\circ\text{C}$ 、標準値の場合は(特段の記述がない限り) $T_J = 25^\circ\text{C}$

パラメータ	テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
V_{BAT_LOWV}	VBAT 立ち上がり、VREG に対する割合として表示、 $VBAT_LOWV[2:0] = 3$	71.4			%
	VBAT 立ち上がり、VREG に対する割合として表示、 $VBAT_LOWV[2:0] = 2$	66.7			%
	VBAT 立ち上がり、VREG に対する割合として表示、 $VBAT_LOWV[2:0] = 1$	55			%
	VBAT 立ち上がり、VREG に対する割合として表示、 $VBAT_LOWV[2:0] = 0$	30			%
$V_{BAT_LOWV_HYS}$	BAT_LOWV のヒステリシス		5		%
V_{RECHG}	VBAT 立ち下がり、VREG の割合として表示、 $VRECHG[1:0] = 3$	97			%
	VBAT 立ち下がり、VREG の割合として表示、 $VRECHG[1:0] = 2$	95.5			%
	VBAT 立ち下がり、VREG の割合として表示、 $VRECHG[1:0] = 1$	94.1			%
	VBAT 立ち下がり、VREG の割合として表示、 $VRECHG[1:0] = 0$	92.7			%
I_{SYS_LOAD}	システム (SYS) 放電負荷電流	FORCE_ISYS_DSCHG = 1	20		mA
I_{VIN_LOAD}	入力 (VIN) 放電負荷電流	FORCE_VIN_DSCHG = 1	20		mA
パッテリ保護					
V_{BAT_OVP}	パッテリ過電圧スレッショルド	VREG に対する VBAT 立ち上がり	104		%
		VREG に対する VBAT 立ち下がり	102		%
入力電圧 / 電流レギュレーション					
V_{INDPM_RANGE}	入力電圧 DPM レギュレーション範囲		2.5	36	V
V_{INDPM_STEP}	標準的な入力電圧 DPM レギュレーションステップ		20		mV
V_{INDPM_ACC}	入力電圧 DPM レギュレーション精度	VINDPM = 20V	20		V
		VINDPM = 12V	12		V
		VINDPM = 4.3V	4.3		V
		VINDPM = 3V	3		V
I_{INDPM_RANGE}	入力電流 DPM レギュレーション範囲		50	3300	mA
I_{INDPM_STEP}	標準的な入電流 DPM レギュレーションステップ		50		mA
I_{INDPM_ACC}	入力電流 DPM レギュレーション精度	IINDPM = 3000mA		3000	mA
		IINDPM = 1500mA		1500	mA
		IINDPM = 900mA		900	mA
		IINDPM = 500mA		500	mA
K_{ILIM}	入力電流制限スケール係数 ($IIN_MAX = KILIM / RILIM$)	IIN_MAX = 1.6A, 1A, 0.5A		3333	A x Ω
$V_{IH_ILIM_HIZ}$	HIZ モードに移行するための ILIM_HIZ 入力 High スレッショルド	V_{ILIM_HIZ} 立ち上がり	1.77		V
サーマル レギュレーションおよびサーマル シャットダウン					
T_{REG}	接合部温度レギュレーション	TREG = 120°C	120		°C
T_{REG}	接合部温度レギュレーション	TREG = 80°C	80		°C

5.5 電気的特性 (続き)

$V_{VIN_UVLOZ} < V_{VIN} < V_{VIN_OVP}$, $T_J = -40^\circ\text{C} \sim +125^\circ\text{C}$ 、標準値の場合は(特段の記述がない限り) $T_J = 25^\circ\text{C}$

パラメータ		テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
T_{SHUT}	サーマルシャットダウン上昇しきい値	温度上昇		150		°C
T_{SHUT}	サーマルシャットダウン降下しきい値	温度低下			130	°C
スイッチングコンバータ						
F_{SW}	スイッチング周波数	$FSW = b001$		450		kHZ
		$FSW = b010$		500		kHZ
		$FSW = b011$		550		kHZ
		$FSW = b100$		600		kHZ
		$FSW = b101$		700		kHZ
		$FSW = b110$		1200		kHZ
R_{Q1_ON}	VIN - SW1 間の MOSFET のオン抵抗			35		mΩ
R_{Q2_ON}	SW1 から GND への MOSFET オン抵抗			77		mΩ
R_{Q3_ON}	SW2 から GND への MOSFET オン抵抗			69		mΩ
R_{Q4_ON}	SYS - SW2 間の MOSFET のオン抵抗			35		mΩ
バイパスモード						
V_{BYPDRV_REG}	外部バイパス FET 駆動電圧	$VIN = 4V, V_{BYP_DRV} - V_{SRN}, VIN > VBAT, EN_BYPASS = 1, EN_EXT_BYPASS = 1$		5		V
I_{BYPDRV_REG}	外部バイパス FET を駆動するチャージポンプの電流制限	$V_{BYPDRV} - V_{SYS} = 5V$		40		µA
I_{BYPDRV_OFF}	外部バイパス FET のターンオフ電流			400		µA
I_{EXTBYP_OCP}	バイパスモードを終了するための外部バイパス過電流制限	$EN_BYPASS = 1, EN_EXT_BYPASS = 1, R_{AC_SNS} = 10m\Omega$		5.5		A
I_{BYP_OCP}	バイパスモードを終了するための内部バイパス過電流制限。	$EN_BYPASS = 1, EN_EXT_BYPASS = 0, IINDPM 設定より高いパーセンテージ。R_{AC_SNS} = 10m\Omega$		15		%
I_{BYP_LL}	バイパスモードを解除するための軽負荷電流制限	$EN_BYPASS = 1, 電流の立ち下がり。R_{AC_SNS} = 10m\Omega$		100		mA
$I_{REV_EXTBYP_OCP}$	バイパスモードを終了するための外部逆方向バイパス過電流制限	$EN_REV = 1, EN_BYPASS = 1, EN_EXT_BYPASS = 1, R_{AC_SNS} = 10m\Omega$		5.5		A
$I_{REV_BYP_OCP}$	バイパスモードを終了するための内部逆方向バイパス過電流制限機能	$EN_REV = 1, EN_BYPASS = 1, EN_EXT_BYPASS = 0 のとき、IIN_REV 設定値を上回る割合。R_{AC_SNS} = 10m\Omega$		15		%
$I_{REV_BYP_LL}$	逆方向バイパス軽負荷電流制限により、バイパスモードを終了	$EN_BYPASS = 1, EN_EXT_BYPASS = 0, 逆電流の立ち下がり。R_{AC_SNS} = 10m\Omega$		100		mA
逆方向モード電圧と電流レギュレーション						
V_{INREV_RANGE}	VIN 時の逆モード電圧レギュレーション範囲			3.5	34	V
V_{INREV_STEP}	VIN での逆モード電圧レギュレーションステップ			20		mV
V_{INREV_ACC}	VIN 時の逆方向モード電圧レギュレーション:	$VIN_REV = 20V$		20		V
		$VIN_REV = 15V$		15		V
		$VIN_REV = 9V$		9		V
		$VIN_REV = 5V$		5		V

5.5 電気的特性 (続き)

$V_{VIN_UVLOZ} < V_{VIN} < V_{VIN_OVP}$, $T_J = -40^\circ\text{C} \sim +125^\circ\text{C}$ 、標準値の場合は(特段の記述がない限り) $T_J = 25^\circ\text{C}$

パラメータ	テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
V_{INREV_BACKUP}	$VIN_BACKUP = 100\%$, $VINDPM = 15\text{V}$	100		%	
	$VIN_BACKUP = 80\%$, $VINDPM = 15\text{V}$	80		%	
	$VIN_BACKUP = 60\%$, $VINDPM = 15\text{V}$	60		%	
	$VIN_BACKUP = 50\%$, $VINDPM = 15\text{V}$	50		%	
I_{INREV_RANGE}	ACP/ACN 全体にわたる逆方向モード電流レギュレーション範囲	50	3300	mA	
I_{INREV_STEP}	ACP/ACN 両端の逆方向モード電流レギュレーションステップ		50	mA	
I_{INREV_ACC}	$IIN_REV = 3000\text{mA}$	2850		mA	
	$IIN_REV = 1500\text{mA}$	1425		mA	
	$IIN_REV = 900\text{mA}$	855		mA	
	$IIN_REV = 500\text{mA}$	475		mA	
I_{BATREV_ACC}	$IBAT_REV = 3.56\text{A}$	3560		mA	
	$IBAT_REV = 2.28\text{A}$	2280		mA	
	$IBAT_REV = 1\text{A}$	1000		mA	
V_{INREV_OV}	逆方向モード VIN 立ち上がりスレッショルド	VIN が VIN_REV の設定値に対して上昇する割合	106		%
V_{INREV_UV}	コンバータを停止するための逆方向モード VIN 立ち下がりスレッショルド	VIN 立ち下がり	3.0	V	
バッテリ パック NTC モニタ (充電モード)					
V_{T1_RISE}	TS ピン電圧立ち上がり $T1$ スレッショルド。この電圧を超えると充電が中断されます。	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH1 = 0^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	73.3		%
V_{T1_FALL}	TS ピン電圧が低下して $T1$ のしきい値を下回ると、充電が再び有効になります。	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH1 = 0^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	72		%
V_{T2_RISE}	TS ピン電圧が上昇して $T2$ のスレッショルドを超えると、この電圧以上で充電は低減された ICHG に戻ります	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH2 = 10^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	68.25		%
V_{T2_FALL}	TS ピン電圧立ち下がり $T2$ スレッショルド。この電圧より下で充電は通常状態に戻ります	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH2 = 10^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	66.95		%
V_{T3_FALL}	TS ピンの電圧が $T3$ のスレッショルドを下回ると、レギュレータ出力 (VREG) はこの電圧より低く制御されます。	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH3 = 45^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	44.75		%
V_{T3_RISE}	TS ピン電圧立ち上がり $T3$ スレッショルドこの電圧を超えると充電は通常状態に戻ります。	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH3 = 45^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	46.05		%
V_{T5_FALL}	TS ピン電圧が低下して $T5$ のスレッショルドを下回ると、この電圧より下で充電が一時停止されます	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH5 = 60^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	34.375		%
V_{T5_RISE}	TS ピン電圧立ち上がり $T5$ スレッショルドこの電圧を超えると、VREG を下げた状態で充が行われます。	REGN に対する割合で表した場合、 $TS_TH5 = 60^\circ\text{C}$ (103AT 使用時)	35.5		%
バッテリ パック NTC モニタ (逆方向モード)					

5.5 電気的特性 (続き)

$V_{VIN_UVLOZ} < V_{VIN} < V_{VIN_OVP}$, $T_J = -40^\circ C \sim +125^\circ C$ 、標準値の場合は(特段の記述がない限り) $T_J = 25^\circ C$

パラメータ	テスト条件	最小値	標準値	最大値	単位
$V_{TS_REV_COLD_RISE}$	REGN に対するパーセンテージ ($TS_REV_COLD = -20^\circ C$ w/ 103AT)	80			%
	REGN に対するパーセンテージ ($TS_REV_COLD = -10^\circ C$ w/ 103AT)	77.15			%
$V_{TS_REV_COLD_FALL}$	REGN に対するパーセンテージ ($TS_REV_COLD = -20^\circ C$ w/ 103AT)	78.7			%
	REGN に対するパーセンテージ ($TS_REV_COLD = -10^\circ C$ w/ 103AT)	75.6			%
$V_{TS_REV_HOT_FALL}$	REGN に対する割合で表した場合 ($TS_REV_HOT = 55^\circ C$ w/ 103AT)	37.7			%
	REGN に対する割合で表した場合 ($TS_REV_HOT = 60^\circ C$ w/ 103AT)	34.375			%
	REGN に対する割合で表した場合 ($TS_REV_HOT = 65^\circ C$ w/ 103AT)	31.25			%
$V_{TS_REV_HOT_RISE}$	REGN に対する割合で表した場合 ($TS_REV_HOT = 55^\circ C$ w/ 103AT)	39			%
	REGN に対する割合で表した場合 ($TS_REV_HOT = 60^\circ C$ w/ 103AT)	35.5			%
	REGN に対する割合で表した場合 ($TS_REV_HOT = 65^\circ C$ w/ 103AT)	32.5			%

REGN LDO

V_{REGN}	REGN LDO 出力電圧	$V_{IN} = 5V, I_{REGN} = 20mA$	4.8	V
I_{REGN}	REGN LDO 電流制限	$V_{IN} = 15V, V_{REGN} = 4.5V$	5	V
			30	mA

I2C インターフェイス (SCL, SDA)

V_{IH}	入力 High スレッショルド レベル		1.3	V
V_{IL}	入力 Low スレッショルド レベル		0.4	V
V_{OL}	SDA 出力の Low スレッショルド レベル		1	μA
I_{IN_BIAS}	High レベル リーク電流		0.4	V

ロジック入力ピン (CE)

V_{IH}	入力 High スレッショルド レベル		1.3	V
V_{IL}	入力 Low スレッショルド レベル		0.4	V
I_{IN_BIAS}	High レベル リーク電流	レール 1.8V をプルアップ	1	μA

ロジック出力ピン (INT, STAT)

V_{OL}	出力 Low スレッショルド レベル	シンク電流 = 5mA	0.4	V
I_{OUT_BIAS}	High レベル リーク電流	レール 1.8V をプルアップ	1	μA

5.6 タイミング要件

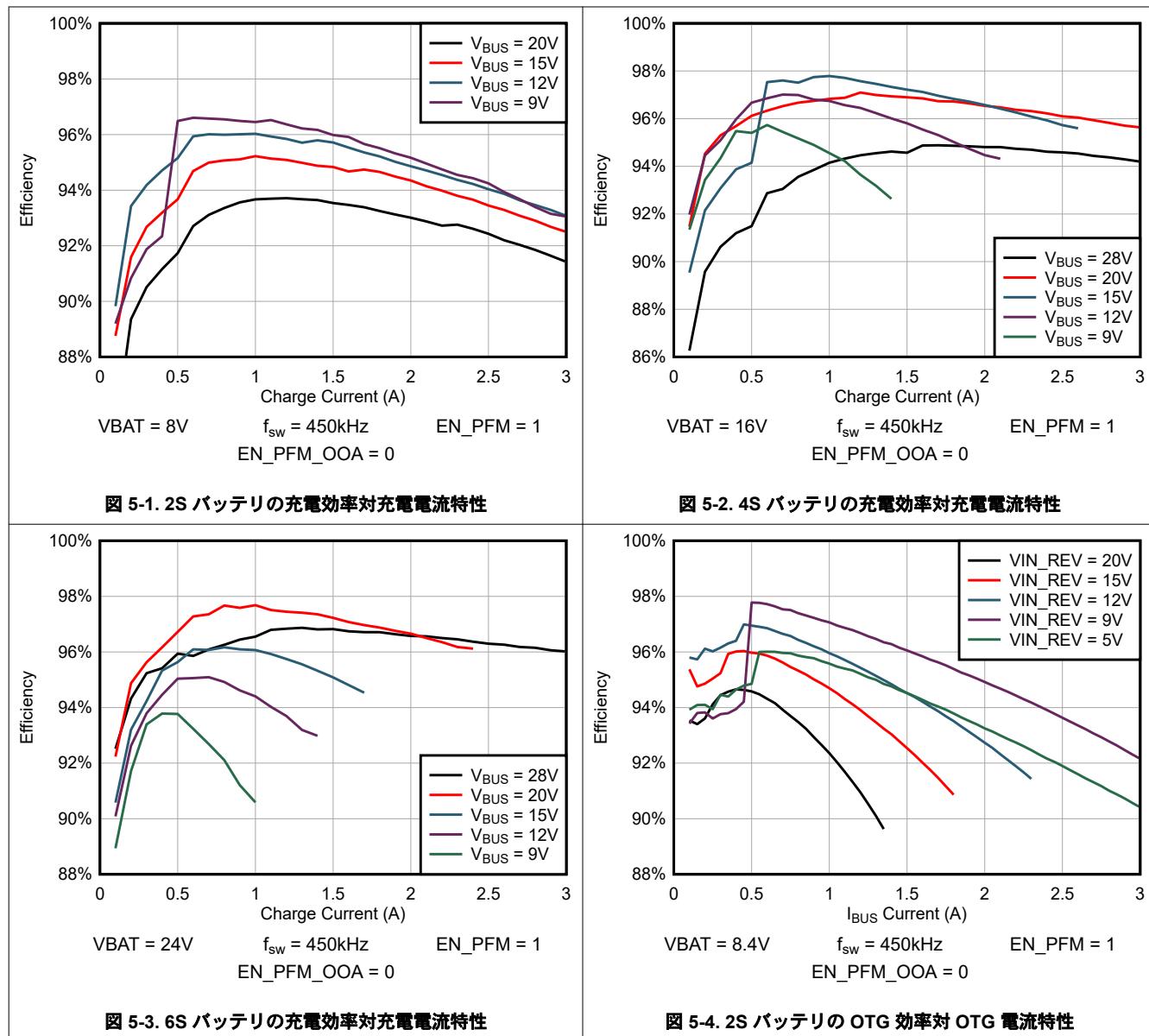
パラメータ	テスト条件	最小値	公称値	最大値	単位
パッティリチャージャ					

5.6 タイミング要件 (続き)

パラメータ		テスト条件	最小値	公称値	最大値	単位
t_{TOP_OFF}	トップオフ タイマ精度	TOPOFF_TMR[1:0] = b01		15		最小値
		TOPOFF_TMR[1:0] = b10		30		最小値
		TOPOFF_TMR[1:0] = b11		45		最小値
t_{SAFETY_PRECHG}	プリ充電での充電安全タイマ	PRECHG_TMR = b0		2		hr
T_{SAFETY}	充電安全タイマの精度	CHG_TMR[1:0] = b00		5		hr
		CHG_TMR[1:0] = b01		8		hr
		CHG_TMR[1:0] = b10		12		hr
		CHG_TMR[1:0] = b11		24		hr
t_{CV_TMR}	CV タイマの精度	CV_TMR = b1010		10		hr
t_{TS_DGL}	TS スレッショルド交差のグリッチ除去時間			30		ms
I²C インターフェイス						
f_{SCL}	SCL クロック周波数			1000		kHZ
t_r	SDA 信号の立ち上がり時間	$f_{SCL} = 1\text{MHz}$		120		ns
t_r	SDA 信号の立ち上がり時間	$f_{SCL} = 400\text{kHz}$		300		ns
t_r	SDA 信号の立ち上がり時間	$f_{SCL} = 100\text{kHz}$		1000		ns
C_b	各バスラインの容量性負荷			550		pF
ウォッチドッグ タイマ						
t_{LP_WDT}	ウォッチドッグ リセット時間	EN_HIZ = 1、ウォッチドッグ = 160s		160		s
t_{WDT}	ウォッチドッグ リセット時間	EN_HIZ = 0、ウォッチドッグ = 160s		160		s

5.7 代表的特性

$C_{VBUS} = 10 \times 4.7\mu F$, $C_{SYS} = 6 \times 4.7\mu F$, $C_{BAT} = 4 \times 4.7\mu F$, $L1 = 10\mu H$ (SRP5050FA-100M)



5.7 代表的特性 (続き)

$C_{VBUS} = 10 \times 4.7\mu F$, $C_{SYS} = 6 \times 4.7\mu F$, $C_{BAT} = 4 \times 4.7\mu F$, $L1 = 10\mu H$ (SRP5050FA-100M)

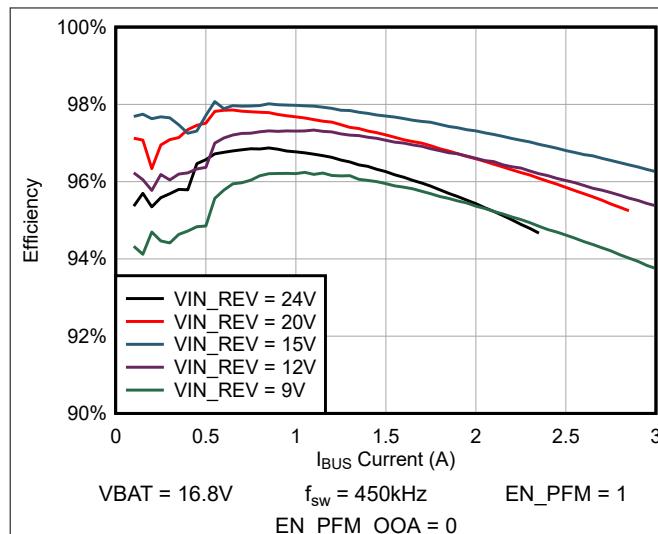


図 5-5. 4S バッテリの OTG 効率対 OTG 電流特性

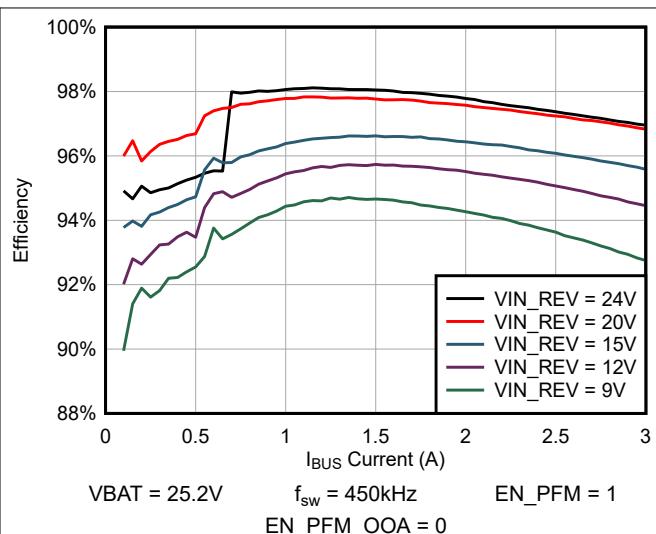


図 5-6. 6S バッテリの OTG 効率対 OTG 電流特性

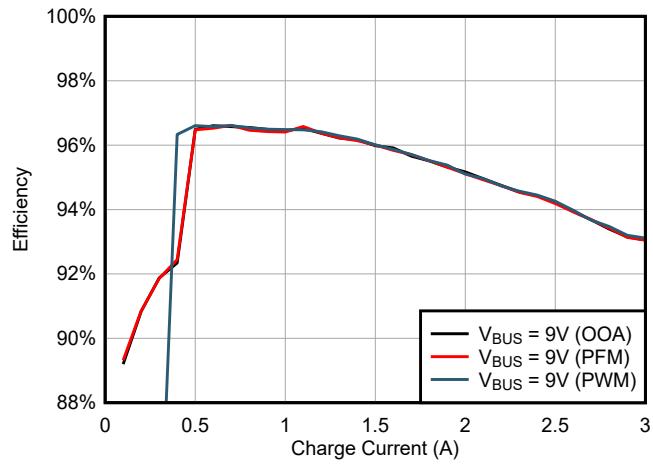


図 5-7. PWM/ PFM/ OOA 各モード別 2S バッテリの充電効率対充電電流特性

6 詳細説明

6.1 概要

BQ25692-Q1 は、1 ~ 7 セルのリチウムイオン バッテリ、リチウムポリマ バッテリ、用の完全統合型、スイッチモード昇降圧充電器です。入力電圧範囲は 2.5V ~ 36V と広いため、バッテリ、標準的な USB-PD アダプタ、高電圧専用 DC アダプタからの電力供給で動作するアプリケーションに対応します。デバイスは、4 個のスイッチング MOSFET (Q₁, Q₂, Q₃, Q₄) とすべての昇降圧コンバータ ループ補償を内蔵しており、ソリューション サイズを小型化して簡単な設計を実現します。BQ25692-Q1 は、入力電流および電圧のレギュレーションにより、USB 電源供給 (USB-PD) 電源仕様に準拠しています。さらに、入力電流オプティマイザ (ICO) は、入力ソースの過負荷なしで最大電力点の検出をサポートします。デバイスは逆方向モードでも動作し、USB-PD 電源プロファイル互換性によりバッテリから入力ポートに電力を供給します。

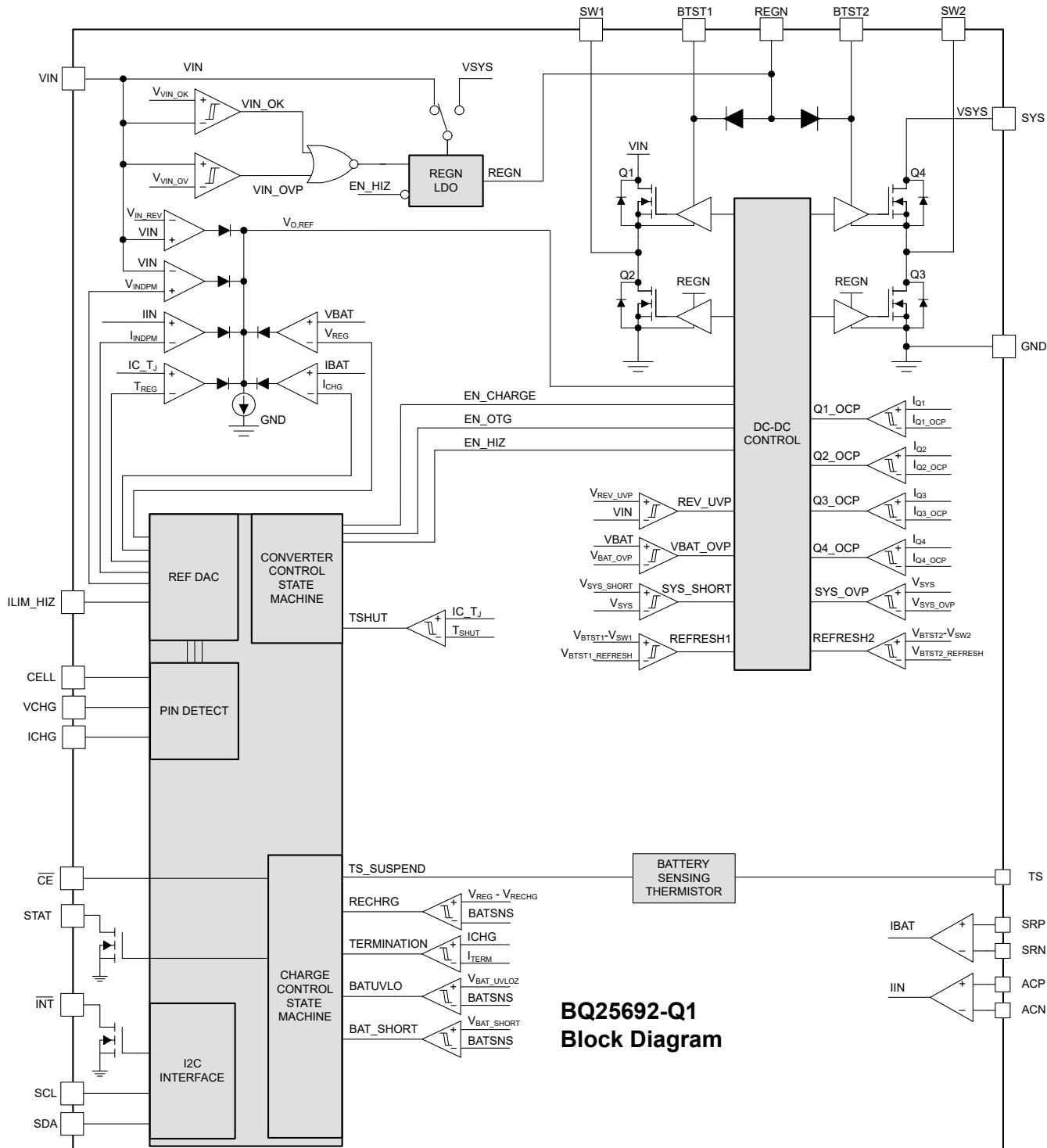
このデバイスは、ホスト制御なしで、充電サイクルの開始から完了までを実行できます。起動時に、デバイスは CELL、VCHG、ICHG ピンの抵抗値を読み出して、充電プロファイルの正しい設定を決定し、それに応じてレジスタ設定が更新されます。次に、デバイスは、感知したバッテリ電圧に応じて、トリクル充電、プリチャージ、定電流 (CC) 充電、定電圧 (CV) 充電の 4 つの異なるフェーズでバッテリを充電します。充電サイクルの終わりに、充電電流があらかじめ設定されたスレッショルドを下回り、かつバッテリ電圧が再充電スレッショルドを上回ると、充電器は自動的に処理を終了します。TS ピンのクール、通常、ウォーム温度ゾーンでは、終端がサポートされています。十分に充電された電圧がプログラム可能な再充電スレッショルドを下回ると、充電器は自動的に新しい充電サイクルを開始します。充電器は、ホスト制御によらず、入力電圧とバッテリ電圧に基づいて、降圧、昇圧、昇降圧モード間をシームレスに移行します。

入力電源がない場合も、BQ25692-Q1 は逆方向モード動作をサポートし、バッテリを放電して、20mV 刻みで調整可能な 3.2V ~ 36V の出力電圧を VIN に生成します。可変出力電圧は、USB PD 3.0 仕様で定義されている PPS 機能に準拠しています。また、BQ25692-Q1 は、アダプタが取り外されたときに VIN に接続されたシステム負荷に可変逆方向モード電圧を供給できる同じメカニズムを備えたバックアップ機能もサポートしています。構成が完了すると、内蔵のバックアップ コンパレータがバッテリを放電するためにコンバータを自動的にトリガし、VIN ノードを保持したまま、ホストの介入なしにバックアップ モードに移行します。

充電器は、バッテリ温度の負温度係数サーミスタ (NTC) 監視、トリクル充電、プリチャージと高速充電タイマ、バッテリと充電器電源入力ピンの過電圧と過電流保護など、バッテリ充電およびシステム動作のためのさまざまな安全機能を備えています。サーマル レギュレーションにより、ダイ温度がプログラマブル スレッショルドを超えると充電電流が低減されます。本デバイスの STAT 出力は、充電ステータスとすべてのフォルト状態を報告します。INT ピンは、フォルトの発生とステータスの変化を即座にホストに通知します。

デバイスは、WQFN 4mm × 3.5mm、26 ピン パッケージで供給されます。

6.2 機能ブロック図



6.3 機能説明

6.3.1 デバイスのパワーオン リセット

V_{IN} または SRN に接続されたバッテリによって、充電器の内部バイアス回路に電力が供給されます。バッテリから電力を供給する場合、 V_{IN} または V_{BAT_OK} から電力を供給する場合、デバイスの電源投入に使用する有効電圧が V_{VIN_OK} を上回っていることを確認します。

6.3.2 バッテリのみの電源オン状態

V_{IN} に有効な入力ソースが存在しない場合、充電器はバッテリのみモードに入ります。デバイスは I²C 通信の準備ができ、コンバータは逆方向モードで動作する準備ができます。充電器は、低静止電流モードであり、REGN はオフになっています。

6.3.3 デバイスの高インピーダンス状態

HIZ 状態とは、有効なアダプタが接続されていても、REGN LDO がオフになり、コンバータのスイッチングが停止している充電器の状態を指します。デバイスの入力電源からの消費電力は I_{HIZ_VIN} 未満であり、システム負荷はバッテリから供給されます。

EN_{HIZ} ビットが 1 に設定されるか、または $ILIM_{HIZ}$ ピンが $V_{IH_ILIM_HIZ}$ を上回ると、このデバイスは HIZ モードに移行します ([ILIM_HIZ ピン](#) を参照)。

デバイスがコンバータを動作させ逆方向モード中に HIZ モードへ移行した場合 (EN_{HIZ} ビットが 1 に設定されるか、 $ILIM_{HIZ}$ ピンが $V_{IH_ILIM_HIZ}$ を超える場合)、スイッチングは停止します。ホストが HIZ モード状態をクリアすると、デバイスは逆方向モード動作を再開します。

EN_{HIZ} ビットが 0 にクリアされ、 $ILIM_{HIZ}$ ピンが 1.3V 未満に引き下げられると、デバイスは HIZ モードを終了します。デバイスが $ILIM_{HIZ}$ ピンを介して HIZ モードを終了すると、CELL、ICHG、および VCHG ピンの値が更新され、 $ILIM_{HIZ}$ ピンのトグル操作によってスタンダードアロン充電器の設定を更新できるようになります。

6.3.4 REGN LDO の起動

デバイスが V_{IN} から起動する場合、 $V_{VIN_PRESENT} < V_{IN} < V_{VIN_OVP}$ の範囲内であり、かつ EN_{HIZ} ビット = 1 によって HIZ モードになっていないときに、LDO がオンになります。デバイスがバッテリのみで動作している場合、バッテリの静止電流を最小限に抑えて寿命を延ばすため、LDO は逆方向モードで動作しているときのみオンになります。

REGN LDO は、内部のバイアス回路および MOSFET のゲートドライバに電力を供給します。TS ピンおよび STAT ピンのプルアップ電源レールは、REGN に接続することができます。TI は、REGN ではなく、INT ピン プルアップレールを外部電圧ソースとして使用することをお勧めします。これは、バッテリのみの状態では REGN 出力が利用できないためです。

6.3.5 デフォルトの VINDPM 設定

このデバイスは、2.5V ~ 36V の広い入力電圧制限範囲に対応しており、高電圧充電をサポートします。また、自動検出を容易にするため、入力電圧制限 (VINDPM) のスレッショルドを設定する 2 つの方法を提供します。

1. 絶対 VINDPM (FORCE_VINDPM = 1)
 $FORCE_{VINPM} = 1$ を設定すると、VINDPM スレッショルド設定アルゴリズムが無効化されます。レジスタ VINDPM は書き込み可能で、ホストは VINDPM 機能の絶対スレッショルドを設定できます。
2. 無負荷時の V_{IN} 電圧に基づく相対的な VINDPM (FORCE_VINDPM = 0)

$FORCE_{VINDPM} = 0$ の場合、VINDPM スレッショルド設定アルゴリズムが有効になり、以下の条件下で VINDPM 制限が自動的に変更されます：

- アダプタ プラグイン ($V_{IN} > V_{IN_OK}$)
- EN_{HIZ} レジスタ ビットによる HIZ モードの終了

充電器は、デフォルトの VINDPM スレッショルドを次のように自動的に設定します：

- VIN \leq 6V の場合、無負荷時の VIN の 84.375% (例: 入力が 5V の場合、VINDPM は 4.2V に設定されます)
- VIN > 6V の場合、無負荷時の VIN の 87.5% (例: 入力が 20V の場合、VINDPM は 17.5V に設定されます)

EN_HIZ ビットを切り替えることで、無負荷の VIN をいつでも測定し直します。コンバータはスイッチングを停止し、VINDPM レジスタフィールドが更新されます。HIZ トグル イベント中にシステム電圧を維持するには、ホストはバッテリが存在していることを確認する必要があります。

無負荷時の VIN が VINDPM レジスタの範囲外の場合、充電器は状況に応じて VINDPM レジスタを最小値 (2.5V) または最大値 (36V) に設定します。

6.3.6 CELL, ICHG, VCHG ピンによるデフォルトの充電プロファイル設定

デバイスは、CELL、ICHG、VCHG ピンを使用したスタンドアロンの充電プロファイル プログラミングに対応しています。これらのピンの抵抗は起動時に読み取られ、この値を使用してデバイスのデフォルト充電電圧 (CELL レジスタ、VREG レジスタ) および充電電流 (ICHG レジスタ) を決定します。ILIM_HIZ ピンを使用してデバイスがハイインピーダンスを終了すると、CELL、ICHG、VCHG ピンの値を更新することでスタンドアロンの充電器の設定を更新できます。

ピン検出ステータス レジスタ ビット (VCHG_PIN、CELL_PIN、ICHG_PIN) には、ピン検出の結果が保存されます。

表 6-1. CELL ピン検出

CELL 抵抗 (kΩ)	CELL_PIN	CELL 数
<3.8	0	フォルト、充電なし
4.64	1	1s
6.04	2	2s
8.25	3	3s
11.0	4	4s
14.0	5	5s
18.2	6	6s
27.4	7	7s
>46.8	0	フォルト、充電なし

表 6-2. VCHG ピン検出

VCHG 抵抗 (kΩ)	VCHG_PIN	充電電圧 (VREG)
<3.8	0	フォルト、充電なし
4.64	1	3.5V × CELL 数
6.04	2	3.6V × CELL 数
8.25	3	4.0V × CELL 数
11.0	4	4.1V × CELL 数
14.0	5	4.2V × CELL 数
18.2	6	4.3V × CELL 数
27.4	7	4.35V × CELL 数
>46.8	0	フォルト、充電なし

表 6-3. ICHG ピン検出

ICHG 抵抗 (kΩ)	ICHG_PIN	充電電流 (ICHG)	プリチャージおよび終端 (IPRECHG/TERM)
<3.8	0	フォルト、充電なし	フォルト、充電なし
4.64	1	0.1A	40mA / 40mA
6.04	2	0.5A	60mA / 60mA
8.25	3	1.0A	100mA / 100mA
11.0	4	1.5A	160mA / 160mA
14.0	5	2.0A	200mA / 200mA

表 6-3. ICHG ピン検出 (続き)

ICHG 抵抗 ($k\Omega$)	ICHG_PIN	充電電流 (ICHG)	プリチャージおよび終端 (IPRECHG/TERM)
18.2	6	2.5A	260mA / 260mA
27.4	7	3.3A	340mA / 340mA
>46.8	0	フォルト、充電なし	フォルト、充電なし

ICHG ピンの設定は、 $10m\Omega$ センス抵抗を基準としています。効率を向上させるため、 $5m\Omega$ センス抵抗を使用します。センス抵抗の値を $5m\Omega$ に変更するには、 R_{BAT_SNS} レジスタビットを使用します。 R_{BAT_SNS} レジスタビットを 1 に設定すると、 $5m\Omega$ センス抵抗を使用しながら、内部値がスケーリングされ、同じプログラムされた ICHG が提供されます。

CELL ピンと VCHG ピンの結果を組み合わせて、VREG レジスタの充電電圧をプログラムします。たとえば、CELL ピンと VCHG ピンの抵抗の両方が $14k\Omega$ の場合、VREG 電圧は次のようにになります。 $4.2V/\text{セル} \times 5 \text{ セル} = 21V$ 。

CELL 検出値は CELL_PIN のレジスタマップに格納され、ICHG 検出値は ICHG_PIN のレジスタマップに格納され、VCHG 検出値は VCHG_PIN レジスタマップに格納されます。検出後、ICHG および VREG レジスタの値が更新され、検出された値が上側クランプになります。たとえば、ICHG ピン抵抗が $1.0A$ に設定されている場合、 $1.0A$ 以下を要求する ICHG レジスタへの I^2C 書き込みは無視されます。クランプを上書きするには、まず ICHG_PIN_OVERRIDE レジスタに 1 を書き込む必要があります。その後、ICHG レジスタが値範囲全体を取り込みます。VREG の要件は同様です。ピン検出による結果よりも高い値を書き込むには、VCHG_PIN_OVERRIDE レジスタに 1 を書き込む必要があり、VREG とを更新できます。VCHG_PIN_OVERRIDE=1 であっても、VREG は下表に基づいて CELL_PIN に応じてクランプされます。

表 6-4. VREG 上側クランプ VCHG_PIN_OVERRIDE = 1

CELL_PIN	VREG 上側クランプ
1s	4.8V
2s	9.6V
3s~4s	19.2V
5s~7s	33V

POR 後に CELL 数を変更する、および/または充電電圧 (VREG) を上げるには、以下のシーケンスを推奨します。

1. 充電を無効化します (EN_CHG = 0)。
2. CELL_PIN_OVERRIDE = 1 に設定します。
3. Cell_PIN レジスタを、目的のセル数に適した値に変更します。
 - a. VREG レジスタは CELL_PIN の選択に基づいて自動的に更新されることに注意してください。
4. VCHG_PIN_OVERRIDE = 1 に設定します。
5. VREG を適切な値に変更します。
 - a. 注、VREG は、VCHG_PIN_OVERRIDE = 1 での CELL_PIN の選択に基づいてクランプされます。

たとえば、POR 検出が $4.0V/\text{セル}$ (VCHG 抵抗 = $8.25k\Omega$) で $5s$ 間充電 (CELL 抵抗 = $14k\Omega$) であったが、 $4.2V/\text{セル}$ で $4s$ 間充電に変更する必要がある場合、下表のコマンドシーケンスを参照してください。

表 6-5. CELL の更新に必要な I^2C コマンドシーケンス

レジスタ	前の値	新しい値
EN_CHG	1	0
CELL_PIN_OVERRIDE	0	1
CELL_PIN	5	4
VCHG_PIN_OVERRIDE	0	1

表 6-5. CELL の更新に必要な I²C コマンド シーケンス (続き)

レジスタ	前の値	新しい値
VREG	16.0V (4.0V/セル)	16.8V (4.2V/セル)
EN_CHG	0	1

3つのピンのいずれかでフォルトが検出された場合も、デバイスは自動的に充電サイクルを開始しません（デバイスによって EN_CHG が 0 にクリアされます）。CELL_PIN_OVERRIDE、VCHG_PIN_OVERRIDE、または ICHG_PIN_OVERRIDE ビットを使用してピン検出ステータスを無効にすることで、フォルトを回復します。ホストは、目的の充電プロファイル レジスタを適切な値にプログラムする必要があります。最後に、EN_CHG ビットを 1 に戻します。ピン フォルトが検出された後も、コンバータはオフのままでです。

例として、5s バッテリを充電するために CELL ピン フォルトから回復するシーケンスを以下に示します。

1. CELL_PIN_OVERRIDE ビットを 1 に設定します。
2. CELL_PIN レジスタを 5 に設定します。
3. VREG を目的の充電電圧に設定します（充電電圧 4.2V の場合は、VREG = 21V を使用）。
4. EN_CHG = 1 に設定します。

6.3.7 昇降圧コンバータの動作

この充電器は同期式 4 スイッチ昇降圧コンバータを採用しており、VIN から SYS への順方向（シンク）動作、SRN から VIN への逆方向（ソース）動作、または VIN と SYS を接続するバイパス モードで動作します。

順方向および逆方向モードでは、入力電圧と出力電圧の組み合わせに応じて、充電器は降圧、昇降圧、または昇圧コンバータとして動作します。コンバータは、降圧、昇降圧、昇圧の各動作領域をシームレスに切り替えます。昇降圧モード動作中、コンバータは SW1 パルスと SW2 パルスを交互に出力し、これらのパルス間で実効スイッチング周波数をインターリープさせることで、最高効率の動作を実現します。降圧または昇圧動作から昇降圧動作への移行は、デューティ サイクルと負荷電流の独自の関数です。

6.3.7.1 パルス周波数変調 (PFM)

順方向または逆方向のいずれの動作時でも、EN_PFM ビットが 1 に設定されている場合、軽負荷時にはデバイスがパルス周波数変調 (PFM) 制御に切り替わり、コンバータの軽負荷効率を向上させます。システム負荷が減少すると、それに応じて実効スイッチング周波数も低下します。PFM 動作を無効にするには EN_PFM = 0 に設定します。この場合、コンバータは PWM モードのスイッチング周波数を維持し、軽負荷条件下では DCM 動作に移行します。EN_PFM_OOA = 1 に設定して、オーディオ帯域外 (OOA) 機能を有効にすると、可聴ノイズの問題を防ぐために、PFM 動作時の最小実効スイッチング周波数が 25kHz に制限されます。

6.3.7.2 スイッチング周波数およびディザリング機能

通常、このデバイスは固定周波数でスイッチングを行います。また、この充電器は周波数ディザリング機能をサポートしており、EMI 特性を向上させ、IEC-CISPR 22 仕様を満たすのにも役立ちます。このディザリング機能は、EN_DITHER=00b を設定することでデフォルトで無効化されます。EN_DITHER=01/10/11b を設定して機能を有効化します。ディザリングを有効化するとスイッチング周波数は固定されず、EN_DITHER 設定によって決定された範囲内で変化します。01/10/11b は ±2%/4%/6% のスイッチング周波数に相当します。選択したディザリング範囲が大きいほど、EMI ノイズ ピークは小さくなりますが、VIN/VSYS コンデンサの電圧リップルがわずかに大きくなります。したがって、ディザリング周波数範囲の選択は、EMI ノイズ ピークと VIN/VSYS 電圧リップルとの間のトレードオフとなります。TI は、IEC-CISPR 22 仕様を満たす最小ディザリング範囲を選択することを推奨します。特許取得済みのディザリング パターンにより、スイッチング周波数から最大 30MHz の高周波範囲まで EMI 性能が向上し、伝導性 EMI ノイズ範囲全体がカバーされます。

6.3.8 順方向（シンク）動作

6.3.8.1 パワー パス管理

このデバイスは、2.5V から 36V までの広い入力電圧範囲に対応しており、バッテリ駆動、標準的な USB-PD アダプタ、高電圧専用 DC アダプタなどの電源アプリケーションをサポートします。このデバイスは、入力電源、バッテリ、またはその両方からシステムへ電力を供給するための自動パワーパス選択機能を備え、入力電源の電圧降下を防止します。

6.3.8.1.1 動的なパワー マネージメント

アダプタに過負荷をかけずに入力電源から利用可能な最大電流を使用するために、充電器には動的なパワー マネージメント (DPM) 機能が搭載されています。DPM は、入力電流と入力電圧を継続的に監視します。入力電力 (P_{IN}) が要求された出力電力 ($P_{SYS} + P_{BAT}$) を下回ると、充電器は入力電流を制限するために $IINDPM$ を使用するか、 VIN ピン電圧のさらなる低下を防ぐために $VINDPM$ を使用します。

DPM モード中、ステータス レジスタ ビット $VINDPM_STAT$ および/または $IINDPM_STAT$ が High になります。[図 6-1](#) に、5V/3A アダプタ、6.4V バッテリ、1.5A 充電電流、最小 6.8V のシステム電圧設定を使用した場合の DPM 応答を示します。

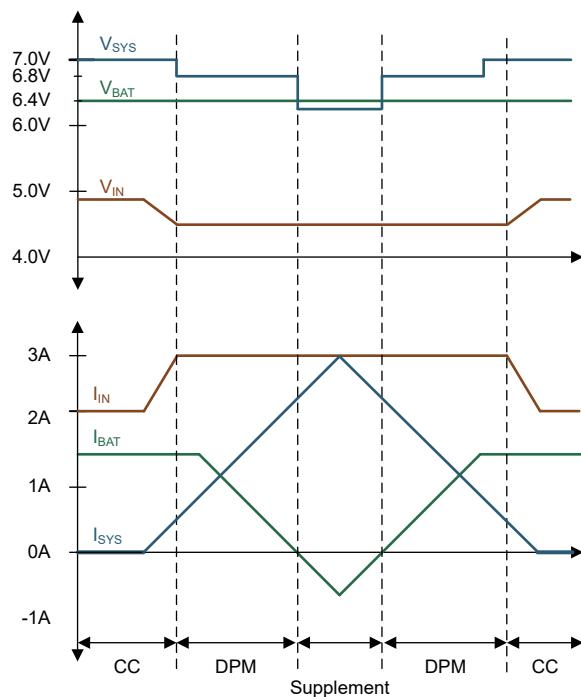


図 6-1. DPM の応答

6.3.8.1.1.1 ILIM_HIZ ピン

$ILIM_HIZ$ ピンを使用して最大入力電流を設定するため、GND にプルダウン抵抗を接続します。10mΩ R_{AC_SNS} 抵抗を使用する場合、入力電流制限は次の式で制御されます：

$$I_{IN_MAX} = K_{ILIM} \div R_{ILIM} \quad (1)$$

実際の入力電流制限は、 $ILIM_HIZ$ ピンの設定とレジスタ設定 ($IINDPM$) の間の小さい方の値です。たとえば、レジスタ設定が 3.3A で、 $ILIM_HIZ$ ピンに 6.04kΩ の抵抗を接地して 0.551A に設定した場合、実際の入力電流制限値は 0.551A になります。 $EN_EXTILIM$ ビットが 1 に設定されている場合、 $ILIM_HIZ$ ピンを使用して入力電流制限を設定します。

入力電流を監視するには、 $ILIM_HIZ$ ピンを使用します。 $ILIM_HIZ$ ピンの電圧 (V_{ILIM_HIZ}) は、入力電流に比例します。ピン電圧は、次の関係で入力電流を監視するために使用できます：

$$I_{IN} = K_{ILIM} \times V_{ILIM_HIZ} / (R_{ILIM} \times 1V) \quad (2)$$

たとえば、ピンに $3.32\text{k}\Omega$ の抵抗を接続し、ピン電圧が 0.5V の場合、実際の入力電流は (K_{ILIM} の規定値に基づき) $451\text{mA} \sim 552\text{mA}$ の範囲になります。

入力電流が増加すると、ピンの電圧はそれに比例して 1V まで上昇します。デバイスが入力電流レギュレーションに入ると、 $ILIM$ ピンの電圧は 1V にクランプされます。ピンから入力電流レギュレーションに入ると、 $IINDPM_STAT$ ビットとフラグビットが設定され、ホストへの割り込みが発生します。割り込みは、 $IINDPM_MASK$ ビットでマスクできます。

$ILIM_HIZ$ ピンがグランドに短絡した場合、入力電流制限は $IINDPM$ レジスタによって設定されます。ハードウェア入力電流制限機能が不要な場合、TI はこのピンを GND に短絡することを推奨します。 $ILIM_HIZ$ ピンが $V_{IH_ILIM_HIZ}$ を上回ると、デバイスは HIZ モードに移行します (デバイスの高インピーダンス状態を参照)。 $EN_EXTILIM$ ビットを 0 に設定して、 $ILIM_HIZ$ ピンの機能を無効にします。ピンが無効のとき、入力電流制限および監視機能、およびピンによる HIZ モード制御は使用できません。

K_{ILIM} は $10\text{m}\Omega$ 検出抵抗を基準としています。効率を向上させるため、 $5\text{m}\Omega$ センス抵抗を使用します。センス抵抗の値を $5\text{m}\Omega$ に変更するには、 R_{AC_SNS} レジスタビットを使用します。 R_{AC_SNS} レジスタビットを 1 に設定すると、 $5\text{m}\Omega$ センス抵抗を使用しながら、内部値が同じ $A\ \Omega$ にスケーリングされます。

6.3.8.1.1.2 入力電流オプティマイザ (ICO)

このデバイスには入力電流オプティマイザ (ICO) が搭載されており、入力電源の最大電力点を特定して、入力電源の過負荷を防止します。アルゴリズムは未知の電源の最大入力電流制限を自動的に特定し、充電器の $IINDPM$ レジスタを適切に設定して、充電器の入力電圧 ($VINDPM$) 制御状態に入るのを防ぎます。この機能は、 EN_ICO レジスタビットによって制御されます。

動的なパワー マネジメントにより使用される実際の入力電流制限値は、有効な場合は ICO によって設定され、無効な場合は $IINDPM$ レジスタによって設定され、その値が ICO_IINDPM レジスタに報告されます。さらに、 $EN_EXTILIM$ ビットが 0 でない限り、 $ILIM_HIZ$ ピンの抵抗設定によって最大電流制限がクランプされ、 $ILIM_HIZ$ ピン機能は無効になります。 $IINDPM$ レジスタはクランプ値を通知しません。

ICO アルゴリズムは最大許容入力電流を 500mA に設定して開始し、その後、最適な制限値が見つかるまでこの電流制限を段階的に増加させます。最適な入力電流が特定されると、ICO_STAT ビットと ICO_FLAG ビットが設定されます。実際の入力電流は ICO_IINDPM レジスタで報告され、次のいずれかのイベントによってアルゴリズムが再度トリガされない限り、変更されません：

1. 新しい入力電源が接続される、または EN_HIZ ビットが切り替えられる場合
2. $IINDPM$ レジスタが変更された場合
3. $VINDPM$ レジスタが変更されるか、
4. $FORCE_ICO$ ビットを 1 に設定した場合
5. VIN_OVP イベント

これらのイベントが発生すると、ICO_STAT[1:0] ビットも 01 にリセットされます

最適な電流が特定されない場合 (たとえば、出力電力が最大入力電力未満の場合)、ICO ルーチンは入力からより多くの電力が必要になるまで一時停止します。この場合、ICO_STAT ビットは 11 に設定されます。

6.3.8.2 バッテリ充電管理

このデバイスは、 $1S \sim 7S$ の Li-Ion バッテリを、高容量セル向けに最大 3.3A の充電電流で充電します。バッテリ充電は、バッテリ電圧に応じて内部的に制御され、各充電ステージで最適な動作が行われます。

6.3.8.2.1 バッテリ検出

着脱式バッテリを使用するアプリケーション向けに、このデバイスには、バッテリが再び接続されるかを確認しつつ、システム電圧を安定に維持するためのバッテリ検出ルーチンが備わっています。

バッテリが接続されていない場合、デバイスは SRN ピンを VREG まで充電し、その後すぐに充電を終了します。デバイスが 20 秒以内に 4 回の充電終了イベントを検出した場合、4 回目の終了時にバッテリ未接続状態と見なされ、BAT_FAULT_STAT が 01 に設定されます。デバイスは、充電終了機能と充電タイマを無効にし、下図に示すように時間の経過に応じて VREG リファレンスをゆるやかに上昇させます。バッテリが接続されたかどうかを検出する間、出力電圧は VREG と VREG - 7% の間で三角波状に変化します。システム負荷は、コンバータから引き続き供給できます。VBAT_OV または VRECHG コンパレータのいずれかが、バッテリ接続イベントを検出します。バッテリ検出ルーチン中、VRECHG コンパレータは、レジスタビットにプログラムされた内容に関係なく、97% の設定を使用します。実際のバッテリ電圧がコンパレータ ウィンドウの範囲外で検出された場合、VRECHG 設定はユーザーが設定した値に戻され、充電終了機能と充電タイマが再有効化され、デバイスは新しい充電サイクルを開始します。同時に、BAT_FAULT_STAT ビットは 00 に設定されます。

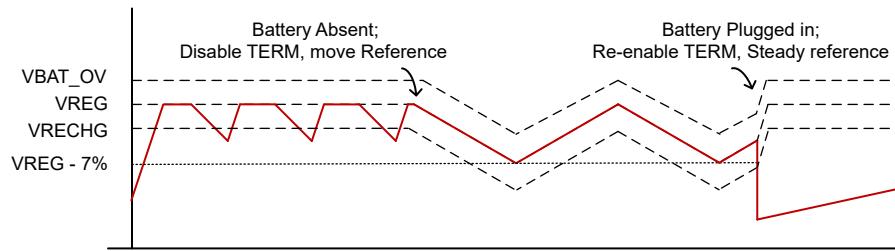


図 6-2. バッテリ検出

EN_BAT_DETECT = 0 を設定することで、バッテリ検出機能を無効にします。

6.3.8.2.2 自律的充電サイクル

バッテリ充電が有効 (EN_CHG ビット = 1 かつ \overline{CE} ピンが LOW) の場合、デバイスはホストの関与なしに、充電サイクルを自律的に完了します。[表 6-6](#) に、デバイスのデフォルトの充電パラメータを一覧します。ホストは充電動作を制御し、I²C 経由で対応するレジスタに書き込むことで、充電パラメータを最適化します。

表 6-6. 充電パラメータのデフォルト設定

デフォルト モード	BQ25692-Q1
充電電圧 (VREG)	VCHG ピンと CELL ピンの抵抗に基づく
再充電電圧スレッショルド (VRECHG)	95.5% × VREG (リチウムイオンの場合: ≈190mV/セル)
プリチャージから高速充電への電圧スレッショルド (VBAT_LLOWV)	71.4% × VREG (リチウムイオンの場合: ≈3V/セル)
高速充電電流 (ICHG)	ICHG ピンの抵抗に基づく
プリチャージ電流 (IPRECHG)	ICHG ピンの抵抗に基づく
トリクル充電電流 (固定値)	100mA
終端電流 (ITERM)	ICHG ピンの抵抗に基づく
温度プロファイル	JEITA
高速充電安全タイマ (CHG_TMR)	12 時間
プリチャージ安全タイマ (PRECHG_TMR)	2 時間

次の条件が有効になると、新しい充電サイクルが開始されます：

- $VIN > V_{VIN_OK}$
- $VBAT < V_{RECHG}$
- レジスタビット EN_CHG = 1 を設定し、 \overline{CE} ピンを LOW にすることで、バッテリ充電が有効になります
- TS ピンにサーミスタ故障はありません
- 安全タイマに故障はありません

充電電流が終端スレッショルドを下回り、充電電圧が再充電スレッショルドを上回り、デバイスが DPM モードまたはサーマル レギュレーションでない場合、充電器は自動的に充電サイクルを終了します。完全に充電されたバッテリの電圧が再

充電スレッショルドを下回ると、デバイスは自動的に新しい充電サイクルを開始します。充電が終了した後、 \overline{CE} ピンまたは EN_CHG ビットのいずれかを切り替えると、新しい充電サイクルが開始されます。さらに、デバイスは、充電電流値に関係なく、CV モードでプログラム可能な期間 (CV_TMR ビット) 後に充電を停止するための専用の CV タイマを提供します。

充電ステータスレジスタ (CHARGE_STAT) は、さまざまな充電フェーズを次のように示します。

- 000 – 充電していません
- 001 – トリクル充電 ($V_{BAT} < V_{BAT_SHORT}$)
- 010 – プリチャージ ($V_{BAT_SHORT} < V_{BAT} < V_{BAT_LOWV}$)
- 011 – 高速充電 (CC モード)
- 100 – テーパー充電 (CV モード)
- 101 = 予約済み
- 110 – トップオフ タイマのアクティブ充電
- 111 – 充電終了完了

充電サイクルの完了を含め、充電器がこれらのいずれかの状態に移行すると、 \overline{INT} がアサートされてホストに通知されます。

スーパーイヤパシタは、電圧が低いときにトリクル充電またはプリチャージ領域を必要とせず、充電サイクルの終了時に終端する必要もありません。スーパーイヤパシタ充電の場合、EN_PRECHG および EN_TERM ビットを 0 に設定すると、これらの両方の機能が無効になります。この場合、出力電圧が VREG を下回っている限り、充電器は ICHG 電流を出力します。充電安全タイマも、EN_CHG_TMR = 0 および CV_TMR = 0 を使用して無効化されます。

6.3.8.2.3 バッテリ充電プロファイル

このデバイスは、バッテリを次の 5 つの段階で充電します：

1. トリクル充電
2. プリチャージ
3. 定電流
4. 一定的な電圧
5. トップオフトリクル充電 (オプション)

充電サイクルの開始時に、デバイスはバッテリ電圧を確認し、それに応じて電流と電圧を制御します。

表 6-7. デフォルトの充電電流設定

VBAT	充電電流	レジスタのデフォルト設定	CHARGE_STAT
$< V_{BAT_SHORT}$	I_{BAT_SHORT}	100mA (固定値)	001
$V_{BAT_SHORTZ} \sim V_{BAT_LOWV}$	I_{PRECHG}	ICHG ピンに接続された抵抗値に基づいて設定	010
$> V_{BAT_LOWV}$	ICHG	ICHG ピンに接続された抵抗値に基づいて設定	011

充電中に充電器が DPM 制御または温度制御状態にある場合、実際の充電電流は設定値よりも小さくなります。この場合、終止機能はいったん無効になり、安全タイマは 充電安全タイマ で説明されているとおり、クロックの半分の速度でカウントされます。

V_{BAT_SHORTZ} は、トリクル充電からプリチャージに遷移するためのバッテリ電圧スレッショルドであり、セルあたり 2.25V です。

V_{BAT_LOWV} は、プリチャージから高速充電に遷移するためのバッテリ電圧スレッショルドです。 V_{BAT_LOWV} は、バッテリ電圧レギュレーション制限 (VREG) の比です。

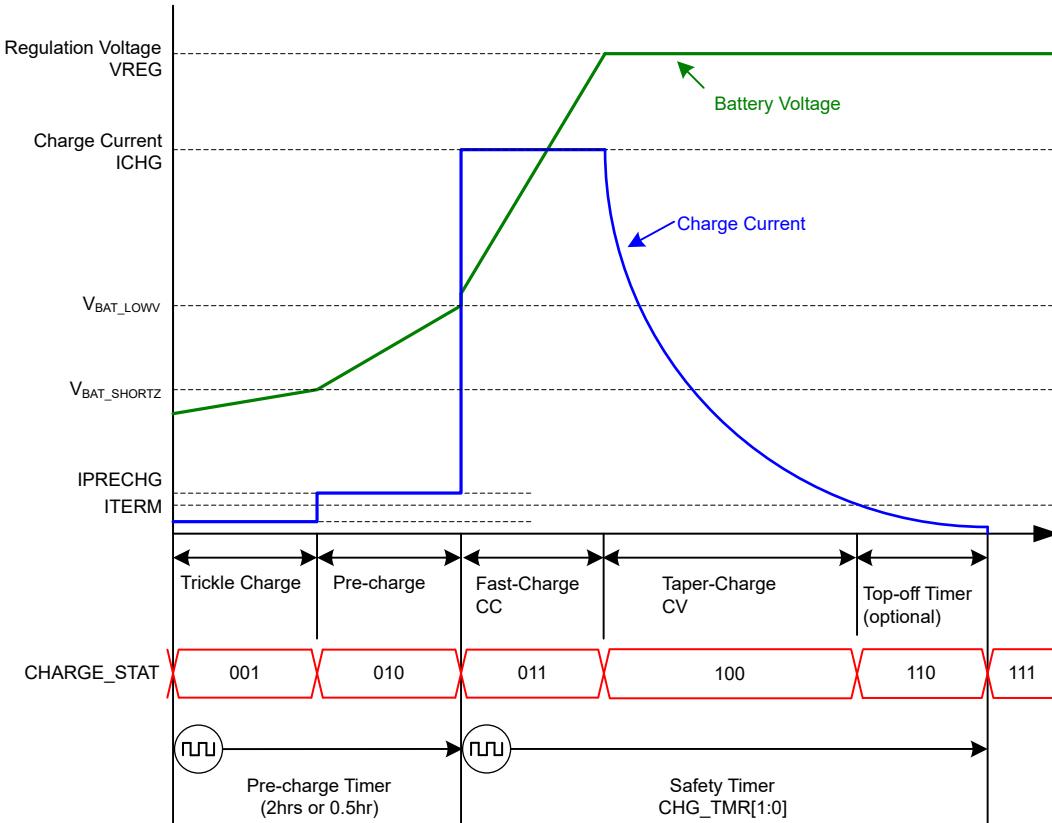


図 6-3. バッテリ充電プロファイル

6.3.8.2.4 充電終了

バッテリ電圧が再充電スレッショルドを上回ると、デバイスは充電サイクルを終了し、コンバータはバッテリ定電圧レギュレーション ループで動作し、電流が終端電流を下回ると、充電サイクルを終了します。充電サイクルが完了すると、BATFET はオフになります。コンバータは、システムに電力を供給するために動作を続けます。補完モードがトリガされると、BATFET は再度オンになります。

終端が完了すると、ステータス レジスタ CHARGE_STAT が 111 に設定され、 \overline{INT} パルスがホストにアサートされます。充電器デバイスが入力電流 (IINDPM)、入力電圧 (VINDPM)、サーマル (TREG) レギュレーションになると、終端は一時的に無効化されます。充電終了前に EN_TERM ビットに 0 を書き込むことで、終了を永続的に無効化します。終端がすでに発生している場合、またはトップオフ充電段では EN_TERM に 0 を書き込んでも、次の充電サイクルが再起動するまで終端は無効化されません。アクティブ充電サイクル中に EN_TERM = 1 を設定して終了を有効化すると、変更はすぐに適用されます。

低い終了電流 (< 160mA) では、コンパレータのオフセットにより、実際の終端電流は終端ターゲットよりも最大 $\approx 20\% \sim 40\%$ 高くなることがあります。コンパレータのオフセットを補償するには、終了後にプログラマブルトップオフ タイマ (デフォルトは無効) をアクティブにします。トップオフ タイマが動作している間、デバイスはトップオフ時間が経過するまで定電圧モード (BATFET はオンのまま) でバッテリを充電し続けます。トップオフ タイマは、安全タイマの制約に従います。安全タイマが中断されている場合、トップオフ タイマも同様で、安全タイマが 2 倍になった場合は、トップオフ タイマも 2 倍になります。CHARGE_STAT は、110 コードによってトップオフ タイマがアクティブかどうかを報告します。トップオフ タイマが満了すると、充電が終了し、CHARGE_STAT レジスタが 111 に設定され、 \overline{INT} パルスがホストにアサートされます。

以下のいずれかの条件で、トップオフ タイマがリセットされます (0 に設定され、適切な場合はカウントが再開されます)。

1. 充電の無効化を有効にする
2. 終端ステータスは Low から High

3. REG_RST レジスタビットが設定されます (トップオフ タイマが無効)

充電器が終端を検出すると、充電器はトップオフ タイマ (TOPOFF_TMR) の設定を読み取ります。終了後にトップオフ タイマ値をプログラムすると、タイマがリセットされます。トップオフ タイマは、充電器の終了条件が満たされたときのみカウントを開始します。EN_TERM = 0 の場合、充電器は充電を終了しないため、トップオフ タイマは有効であってもカウントを開始しません。トップオフ タイマがカウントを開始したときと、トップオフ タイマが満了になったときに、INT がホストにアサートされます。CHG_MASK ビットは、充電サイクルに関連するすべての INT パルス (トップオフ タイマ INT パルスを含む) をマスクできます。

6.3.8.2.5 充電安全タイマ

このデバイスには、バッテリの異常状態による過度に長い充電サイクルを防止するための安全タイマが内蔵されています。ユーザーは、I²C (CHG_TMR ビット) を使用して高速充電安全タイマをプログラムできます。安全タイマが期限切れになると、故障レジスタの CHG_TMR_STAT ビットが 1 に設定され、INT パルスがホストに送信されます。EN_CHG_TMR ビットをクリアして、安全タイマ機能を無効化します。

入力電圧、入力電流、または熱制御中は、実際の充電電流が設定値を下回る可能性があるため、安全タイマはクロックレートの半分の速度でカウントします。たとえば、充電器が充電サイクル全体を通して入力電流制御状態 (IINDPM_STAT = 1) にあり、安全タイマが 5 時間に設定されている場合、タイマは 10 時間で満了します。EN_TMR2X = 0 に設定し、ハーフクロックレート機能を無効にします。

充電を無効化する故障が発生している間、タイマは一時停止します。故障が解消されると、安全タイマは再開します。充電サイクルが停止して再開すると、タイマがリセットされます (CE ピンまたは EN_CHG ビットを切り替えると、タイマが再起動します)。

VBAT < V_{BAT_LOWV} のとき、プリチャージ安全タイマが動作します。PRECHG_TMR ビットを使用して、タイマ時間を 30 分または 2 時間に設定します。プリチャージ安全タイマは、一時停止やカウントリセットの動作に関して、急速充電安全タイマと同じルールに従います。ただし、プリチャージ安全タイマは EN_TMR2X ビットの影響を受けず、常に固定時間 (30 分または 2 時間) でカウントします。EN_PRECHG ビットが 0 のとき、プレ充電安全タイマは無効になります。

6.3.8.2.6 CV タイマ

リーク電流が大きいバッテリや、システム負荷と並列にバッテリを接続したバッテリなど一部のアプリケーションでは、CV モード中はバッテリ電流が ITERM スレッショルドに達することがない場合があります。このデバイスは、充電器が CV モードにとどまる時間を制御するための専用 CV タイマを備えています。

CV タイマは、デバイスが CV モードに入るとカウントを開始し、持続時間を CV_TMR レジスタ ビットでプログラムできます。CV_TMR = 0 では、タイマが完全に無効になることに注意してください。CV タイマは絶対時間タイマであり、EN_TMR2X レジスタ ビットを変更してもその動作には影響しません。

充電が無効化されるフォルト発生時、または IAC_DPM や VAC_DPM によりデバイスが CV 制御状態から外れた場合、CV タイマは一時停止します。デバイスが CV モードに戻ると、CV タイマは再開します。充電サイクルが停止して再開すると、タイマがリセットされます (CE ピンまたは EN_CHG ビットを切り替えると、タイマが再起動します)。

CV タイマが満了すると、INT がホストにアサートされます。CV_TMR_MASK ビットを使用して INT をマスクします。

6.3.8.2.7 サーミスタの検証

この充電器デバイスは、バッテリ温度を監視するための単一のサーミスタ入力を備えています。

6.3.8.2.7.1 充電モードでの JEITA ガイドラインの準拠

2007 年 4 月 20 日の JEITA ガイドラインでは、リチウムイオン バッテリの充電の安全性を向上するための情報が強調されています。このガイドラインは、特定の低温範囲と高温範囲で、大きい充電電流と高い充電電圧を回避することの重要性を強調しています。

充電サイクルを開始する際には、TS ピンの電圧が VT1 ~ VT5 のスレッショルド内であることを確認します。TS 電圧が T1T5 の範囲を超えると、コントローラは充電を一時停止し、バッテリ温度が T1 ~ T5 の範囲内になるまで待機します。低

温時 (T1T2) には、充電電流を半分以下に減らすことを JEITA は推奨しています。高温時 (T3T5) には、セルあたり 4.1V 未満の電圧で充電することを JEITA は推奨しています。

低温 T1T2 では、充電電流を常温 T2T3 の半分以下に下げることを JEITA は推奨しています。このデバイスでは、T1T2 での充電電流を T2T3 での充電電流の 20%、40%、または 100% にプログラムすること、または充電を中断するようにプログラムすることができます。これは、レジスタビット JEITA_ISETC によって制御されます。

高温 T3T5 では、セルあたり 4.1V 未満の充電電圧にすることを JEITA は推奨しています。このデバイスでは、T3T5 での充電電圧を T2T3 での充電電圧より低いオフセット電圧にプログラムすること、または充電を中断するようにプログラムすることができます。これはレジスタビット JEITA_VSET によって制御されます。

この充電器は、JEITA 要件を超える柔軟な電圧および電流設定もサポートしています。高温 T3T5 での充電電流設定は、プログラムされた充電電流の 40%、100%、または充電中断に構成できます。これはレジスタビット JEITA_ISETH によってプログラムされます。

JEITA のデフォルト充電プロファイルは以下の図に示されており、青線がデフォルト設定、赤の破線がプログラム可能なオプションを示しています。

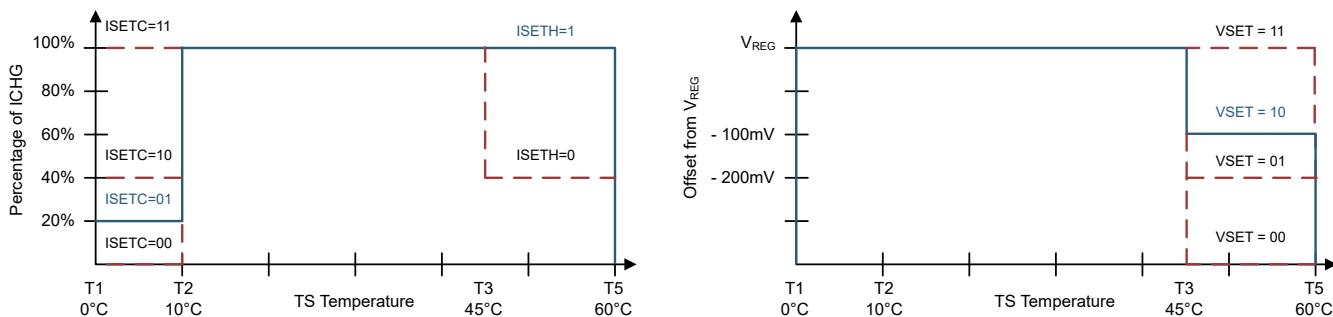


図 6-4. TS 充電値

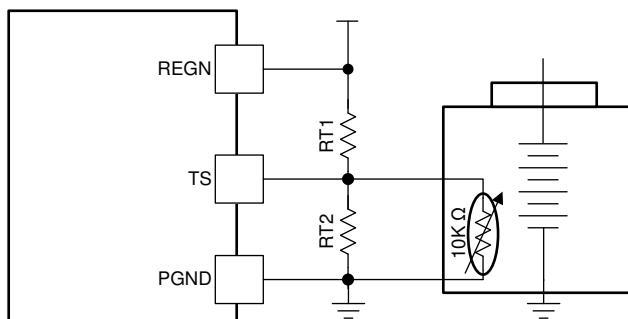


図 6-5. TS 抵抗ネットワーク

上記のようにバッテリ パックに 103AT NTC サーミスタを接続していると仮定すると、RT1 と RT2 の値は次の式で決定できます：

$$RT2 = \frac{RTH_{COLD} \times RTH_{HOT} \times \left(\frac{1}{VT1} - \frac{1}{VT5} \right)}{RTH_{HOT} \times \left(\frac{1}{VT5} - 1 \right) - RTH_{COLD} \times \left(\frac{1}{VT1} - 1 \right)} \quad (3)$$

$$RT1 = \frac{\frac{1}{VT1} - 1}{\frac{1}{RT2} + \frac{1}{RTH_{COLD}}} \quad (4)$$

リチウムイオンまたはリチウムポリマ バッテリの場合は、0°C ~ 60°C の範囲を選択します。

- $RTH_{T1} = 27.28\text{k}\Omega$
- $RTH_{T5} = 3.02\text{k}\Omega$
- $RT1 = 5.24\text{k}\Omega$
- $RT2 = 30.31\text{k}\Omega$

このデバイスでは、**TS** 充電スレッショルド制御レジスタを使用してすべてのスレッショルドをプログラムすることもできます。この柔軟性により、ソフトウェアで充電器の動作ウィンドウを変更できます。

EN_JEITA レジスタビットをクリアすることで **JEITA** プロファイルを無効化します。この場合、デバイスは充電ウィンドウを $T1 \sim T5$ に制限しますが、クール ($T1 \sim T2$) またはウォーム ($T3 \sim T5$) 領域内では特別な充電プロファイルは使用されません。

EN_TS レジスタビットをクリアして **NTC** 監視ウィンドウを無効化します。この場合、**TS** ピンの電圧は無視され、デバイスは常に通常の **TS** ステータスを通知します。

6.3.8.2.7.2 逆方向モードでの低 / 高温ウィンドウ

リバース動作またはバックアップ動作中のバッテリ保護のため、デバイスはバッテリ温度が **TS_COLD** から **TS_HOT** のスレッショルド範囲内にあるかを監視します。温度がスレッショルドを超えると、逆方向モードが停止し、コンバータはスイッチングを停止します。**TS_STAT** が通知されます (**TS Cold** または **TS Hot**)。**EN_TS** ビットを 0 にクリアすることで、逆方向モードで温度保護を完全に無効化します。故障条件が解消されると、本デバイスは自動的に逆方向モード動作を再開します。**TS** 故障の間、**REGN** はオンのままでです。

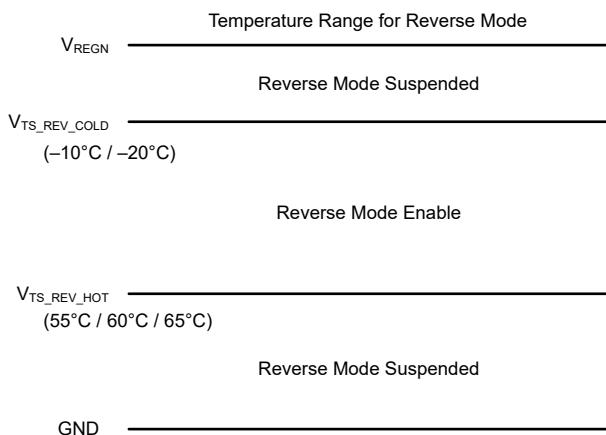


図 6-6. 逆方向モードでの TS ピン サーミスタ検出スレッショルド

6.3.8.3 バイパス モード

このデバイスはバイパス モードをサポートしているため、レギュレーションなしで **VSYS = VIN** かつ最高効率を実現できます。この動作モードでは、昇降圧回路のハイサイド FET (Q1 および Q4) がオンになり、ローサイド FET (Q2 および Q3) はオフのままになります。入力電力はパワー ステージを直接通過して出力側へ供給されます。MOSFET のスイッチング損失とインダクタのコア損失が除去されるため、最高の効率が得られます。**EN_BYPASS** レジスタビットを 1 に設定して、バイパス モードを有効にします。

USB-PD プログラマブル電源 (PPS) を入力アダプタとして使用する場合、バッテリの急速充電期間中にバッテリ フラッシュ充電を実現するため、バイパス モードを活用できます。フラッシュ充電を有効にすることで、さらに高い充電電流によって充電効率を一層向上させることができます。予備充電および **CV** 充電の各フェーズでは、充電器は再び昇降圧モードに戻ることができます。

デバイスがバイパス モードのとき、**R_{AC_SNS}** を流れる電流が監視され、**IINDPM** レジスタ設定と比較されます。入力電流が t_{BYP_OCP} の間に **IINDPM** 設定値を 15% 超える **I_{BYP_OCP}** を上回ると、デバイスは自動的にバイパスモードを終了し、PWM 制御モード (スイッチング パワー ステージが有効) に戻ります。**EN_BYPASS** ビットは 0 にクリアされ、**BYPASS_FLAG** ビットが設定されます。また、**BYPASS_MASK** がクリアされている場合は、ホストに通知するための **INT** パルスが出力されます。

突入電流によってバイパス過電流保護が誤作動するのを防ぐため、TI は VSYS が VIN の $\pm 0.5V$ 以内にある状態でバイパスモードに入ることを推奨しています。

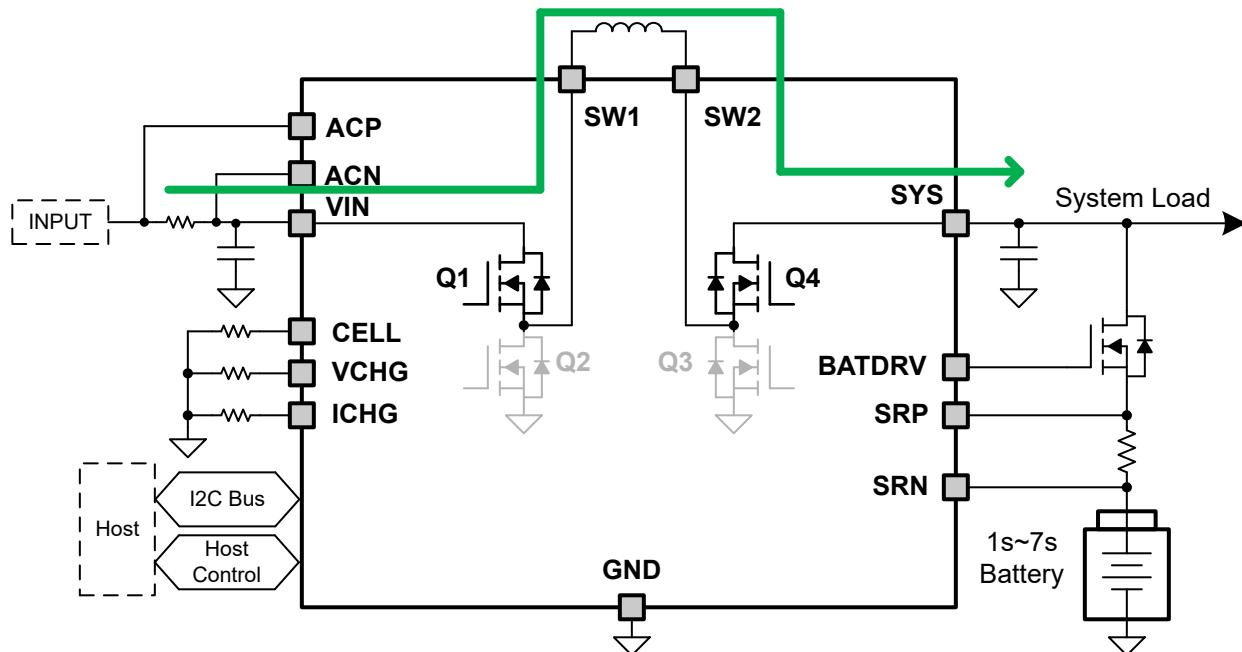


図 6-7. 内部バイパス モード

内部バイパス モードに加えて、このデバイスは最大 5A の電流に対応する高効率な外部バイパス モードも提供します。この場合、BYPDRV ピンは外付けの双方向 MOSFET を駆動して、VIN を SYS に接続します。外部バイパス モードは、EN_EXT_BYPASS = 1 および EN_BYPASS = 1 に設定することで有効になります。EN_BYPASS = 0 のときに EN_EXT_BYPASS = 1 の場合、バイパスは入力されません。デバイスが EN_BYPASS によってバイパス モードに入る前後のいずれかで、EN_EXT_BYPASS を設定します。

デバイスが外部バイパス モードの間、 R_{AC_SNS} を流れる電流が監視されます。 R_{AC_SNS} 電流が t_{BYP_OCP} の間に I_{EXTBYP_OCP} を上回ると、デバイスは自動的に外部バイパス モードを終了し、PWM 制御モード（スイッチング パワー ステージは有効）に戻ります。EN_BYPASS ビットは 0 にクリアされ、BYPASS_FLAG ビットが設定されます。また、BYPASS_MASK がクリアされている場合は、ホストに通知するための INT パルスが output されます。EN_EXT_BYPASS ビットは変更されません。

充電器がバイパス モード中に入力電源が取り外された際に、逆方向動作による逆方向ブーストを防ぐために、軽負荷時自動バイパス終了機能が備わっています。充電器は、入力電流が I_{BYP_LL} を下回ると監視します。この時点で、自動的にバイパス モードを終了し、PWM レギュレーション モードに戻ります。この保護機能は、内部および外部の両方のバイパス モードで有効です。EN_BYPASS_LL_EXIT = 0 に設定することで、この保護機能を無効にできます。EN_BYPASS ビットは 0 にクリアされ、BYPASS_FLAG ビットが設定されます。また、BYPASS_MASK がクリアされている場合は、ホストに通知するための INT パルスが output されます。

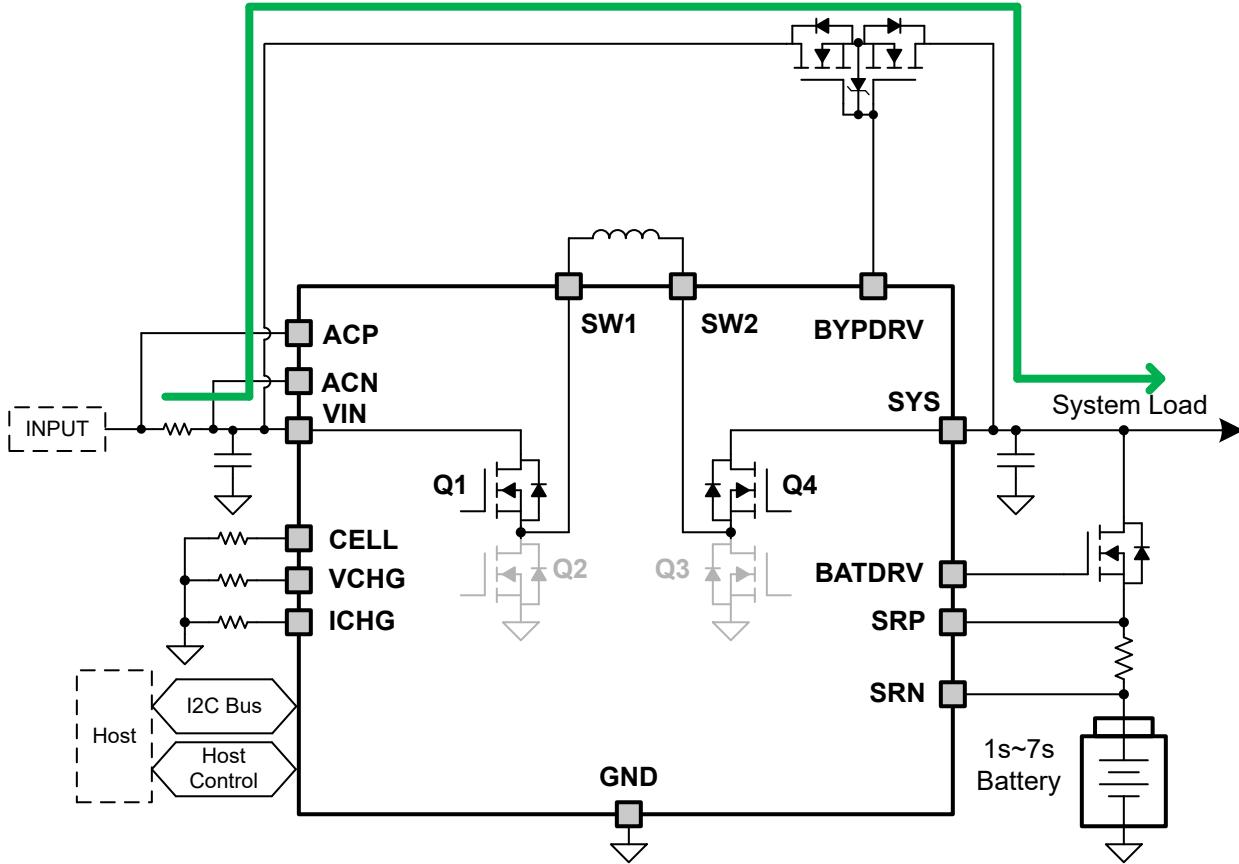


図 6-8. 外部バイパス モード

6.3.9 リバース(ソース)モード(USB On-The-Go)

6.3.9.1 逆方向(ソース)モード動作

このデバイスは、入力ポートに接続された他のデバイスへ、バッテリから安定化された電力を供給する逆方向モード動作をサポートします。逆方向モード電圧レギュレーション(CV)ターゲットは、VIN_REVレジスタビットで設定します。逆方向モード R_{AC_SNS} 電流レギュレーション(CC)のターゲットは IIN_REV レジスタビットで設定します。逆方向モード動作を有効にするには、以下の条件を有効にする必要があります:

- バッテリ電圧が V_{BAT_OK} を上回っている
- VIN が V_{VIN_OK} を下回る
- TS ピンの電圧は、TS_REV_HOT および TS_REV_COLD レジスタビットで設定された範囲内です
- バッテリ検出が無効化されます (EN_BAT_DETECT = 0)

R_{AC_SNS} 逆方向モード電流が IIN_REV レジスタビットよりも低い場合、デバイスは VIN 逆方向モード電圧をレギュレートします。要求される負荷が IIN_REV レジスタより高くなると、デバイスは R_{AC_SNS} (CC モード) 経由で電流をレギュレートし、VIN の出力電圧が低下します。REV_STAT ビットは 0x2 に設定され、INT パルスがアサートされます。VIN 電圧が V_{INREV_UV} を下回ると、デバイスはリバースモードを終了し、EN_REV を 0 にクリアし、充電器の状態が変化するまで (たとえば、ホストが EN_REV = 1 を設定して逆方向モードを再度有効化するか、入力電源が接続されて順方向充電モードに入るまで)、REV_STAT ビットを 0x3 に設定します。また、INT パルスがアサートされます。

充電器は、逆方向モード中にバッテリの放電電流を制御できます。バッテリ電流が IBAT_REV レジスタ設定よりも高くなると、充電器はコンバータを流れるバッテリ放電電流を低減し、存在する場合はシステム負荷電流を優先します。IINDPM_STAT ビットと IINDPM_FLAG ビットは 1 に設定され、IINDPM_MASK が 0 に設定されている場合、INT パルスがアサートされます。バッテリ放電制御ループによって逆方向モード入力電流がゼロまで低下し、さらにシステム負荷がより多くの電流を引き出した場合、充電器はもはやバッテリ放電電流を制限できません。

充電器は、EN_FAST_OTG 応答ビットを使用することで、逆方向モードでより積極的な過渡応答を実現できます。EN_FAST_OTG_RESPONSE = 1 の場合、コンバータはより高速な過渡応答を実現します。ただし、その際には以下のインダクタンスおよびキャパシタンスの推奨動作条件が必要です：

表 6-8. EN_FAST_OTG_RESPONSE = 1 インダクタおよび容量の要件

EN_FAST_OTG_RESPONSE = 1		最小値	最大値	単位
CIN	VIN 総容量(定格低下後の最小値)	20		μF
L	f _{sw} ≤ 700kHz の推奨インダクタ	4.7	10	μH
	f _{sw} > 700kHz の推奨インダクタ	2.2	3	μH

逆方向モード動作中に小さな IIN_REV 負荷電流によってバッテリが消耗するのを防ぐため、逆方向モードでは軽負荷状態を示すステータス信号 REV_LL_STAT が用意されています。軽負荷ステータス表示スレッショルドは、ITERM レジスタを使用してユーザーが制御され、RAC_SNS を流れる逆電流が 2 倍の ITERM を下回るとトリップします。REV_MASK = 0 の場合、スレッショルドを超えると、REV_LL_FLAG が 1 に設定されると、INT パルスがアサートされます。EN_TERM = 0 になると、ステータスは無効化されます。

6.3.9.2 バックアップ電源モード

充電器の逆方向昇降圧動作を利用することで、BQ25692-Q1 はバックアップ電源モードをサポートします。このモードでは、アダプタが取り外された後、充電器がバッテリまたはコンデンサに蓄えられたエネルギーを放電し、一定時間 VIN 電圧を維持します。バックアップモードは、EN_BACKUP = 1 を設定することで、VIN が High のときのみ有効にできます。VIN が Low になると、充電器は EN_BACKUP ビットを 0 にリセットします。

コンパレータが VIN 電圧を監視しています。アダプタが取り外されて VIN が VIN_BACKUP スレッショルドを下回ると、充電器は順方向の充電モードを終了し、EN_REV = 1 を強制的に設定します。その後、バッテリまたはスーパーキャパシタを放電して、VIN 電圧を VIN_REV レジスタで設定された値に制御します。充電器がバックアップモードに移行すると、それに応じて REV_STAT が変更されます。同時に、REV_MASK = 0 の場合、INT パルスがアサートされ、REV_FLAG が 1 に設定されます。

バックアップモードをトリガするために VIN を監視するコンパレータのスレッショルドは、VINDPM 値の比として VIN_BACKUP レジスタビットで設定されます。EN_BACKUP = 1 の場合にのみ、VIN がスレッショルドを下回ると、充電器は自動的に EN_REV = 1 を設定してバックアップモードに入ります。

充電器がバックアップモードで動作している場合、次のいずれかの条件が発生すると、バックアップ動作を終了します：

- バッテリまたはスーパーキャパシタの電圧は、VBAT_OKZ を下回るまで放電されます
- ホストは EN_REV ビットを 1 から 0 に設定します
- 他の故障は逆方向モードを終了します（逆方向（ソース）モード動作を参照）
- 逆方向モード中に VIN が制御ウインドウ上限、すなわち VIN_REV + 6% を超えた場合

充電器がバックアップモード中は、アダプタの再接続を検出するために VIN を監視するコンパレータが動作しています。VIN が制御ウインドウ上限 (VIN_REV + 6%) を超えると、デバイスは自動的にバックアップモードを終了し、順方向充電を再開します。たとえば、VIN_REV = 15V の状態でコンバータがバックアップモードで動作しているときに、20V のアダプタが接続された場合を考えます：VIN が 15.9V を超えると、デバイスはバックアップモードを終了し、通常の電源投入手順に従って動作を再開します。

再有効化シーケンス中は VIN が測定されないため、VINDPM は更新されません。ほとんどのアプリケーションでは、デバイスは单一のアダプタを使用することを想定しているため、以前に設定された VINDPM 値は引き続き有効です。異なるアダプタ電圧を使用する可能性があるアプリケーションでは、ユーザーが手動で VINDPM 値を設定できます。

IBAT_REV が有効 (0, 1、または 2 に設定) になっている場合、バックアップモード中はバッテリの放電電流が制限されます。TI は、バックアップモードを使用する際の最良の応答を得るために、IBAT_REV = 3 (無効) に設定することを推奨しています。VIN の負荷状況によっては、VIN が VINDPM 設定値を下回るのを防ぐために、最大 200μF の低 ESR コンデンサを追加する必要があります。

6.3.9.3 逆方向バイパス モード

このデバイスは、制御なしで $VIN = VSYS$ を実現し、最高効率を得るための逆方向バイパス モードをサポートします。逆方向バイパス モード動作時には、降圧および昇圧のハイサイド FET (Q1 と Q4) がオンになり、降圧および昇圧のローサイド FET (Q2 と Q3) はオフのままになります。バッテリ電力はパワー ステージを直接通過して入力側へ供給されます。MOSFET のスイッチング損失とインダクタのコア損失が除去されるため、最高の効率が得られます。`EN_REV` および `EN_BYPASS` レジスタビットを 1 に設定して、逆方向バイパス モードを有効にします。

デバイスが逆方向バイパス モード中は、 R_{AC_SNS} を流れる電流が監視され、`IIN_REV` レジスタ設定値と比較されます。入力電流が t_{BYP_OCP} の間に `IIN_REV` 設定値を 15% 超える $I_{REV_BYP_OCP}$ を上回ると、デバイスは自動的にバイパス モードを終了し、PWM 制御モード (スイッチングパワー ステージが有効) に戻ります。`EN_BYPASS` ビットは 0 にクリアされ、`BYPASS_FLAG` ビットが設定されます。また、`BYPASS_MASK` がクリアされている場合は、ホストに通知するための INT パルスが出力されます。

突入電流によってバイパス過電流保護が誤作動するのを防ぐため、TI は VIN が $VSYS$ の $\pm 0.5V$ 以内にある状態でバイパス モードに入ることを推奨しています。一般的な使用例としては、まず `EN_BAT_DETECT = 0` であることを確認し、次に逆方向 モードを有効 (`EN_REV = 1`) にします。その後、`VIN_REV` 設定を変更して $VIN \sim VSYS$ の状態を作り、最後に `EN_BYPASS = 1` を設定します。

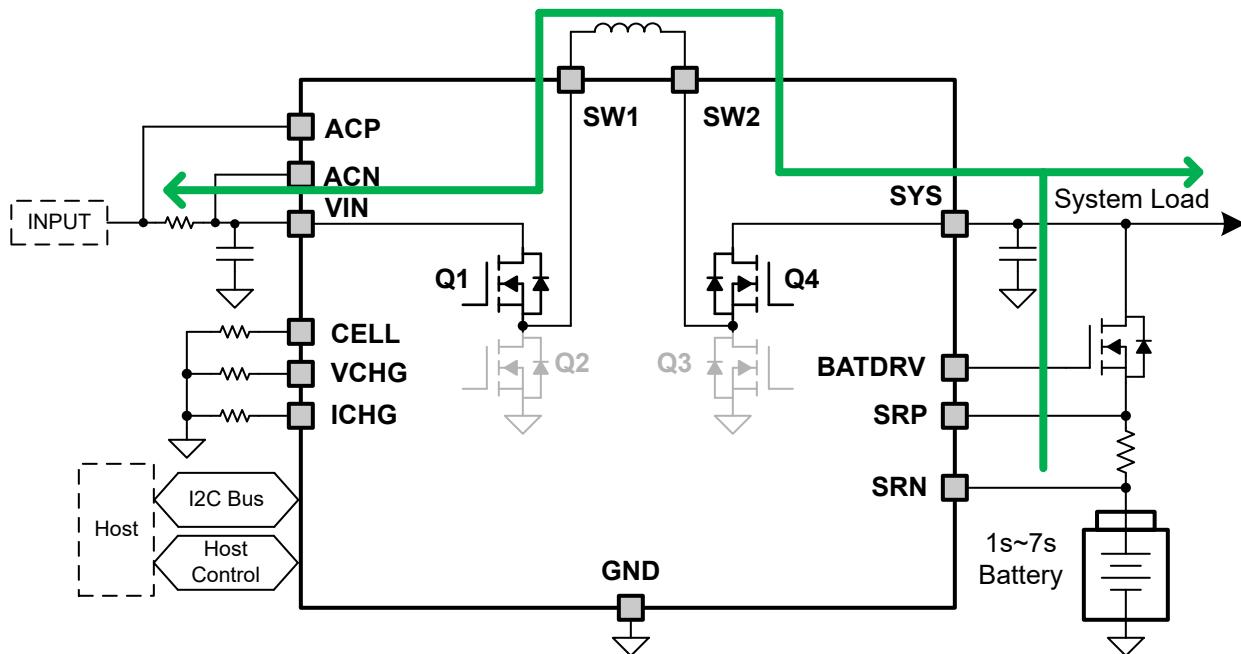


図 6-9. 内部逆方向バイパス モード

内部逆方向バイパス モードに加えて、このデバイスは最大 5A の電流に対応する高効率な外部逆方向バイパス モードも提供します。この場合、`BYPDRV` ピンは外部の双方向 MOSFET を駆動して、 VIN を SYS に直接接続します。外部逆方向バイパス モードは、`EN_REV = EN_EXT_BYPASS = EN_BYPASS = 1` に設定することで有効になります。

デバイスが外部逆方向バイパス モードにある間、 R_{AC_SNS} を流れる電流が監視されます。 R_{AC_SNS} 電流が t_{BYP_OCP} の間 $I_{REV_EXTBYP_OCP}$ を上回ると、デバイスは自動的に外部逆方向バイパス モードを終了し、PWM レギュレーション モード (スイッチング電力段がイネーブル) に戻ります。`EN_BYPASS` ビットは 0 にクリアされ、`BYPASS_FLAG` ビットが設定されます。また、`BYPASS_MASK` がクリアされている場合は、ホストに通知するための INT パルスが出力されます。`EN_EXT_BYPASS` ビットは変更されません。

突入電流によるバイパス過電流保護の誤作動を防ぐため、TI は VIN が $VSYS$ の $\pm 0.5V$ 以内にある状態で、逆方向バイパス モードに入ることを推奨しています。一般的な使用例としては、まず `EN_BAT_DETECT = 0` であることを確認し、次

に逆方向モードを有効 ($\text{EN_REV} = 1$) にします。その後、 VIN_REV 設定を変更して $\text{VIN} \sim \text{VSYS}$ の状態を作り、最後に $\text{EN_EXT_BYPASS} = \text{EN_BYPASS} = 1$ を設定します。

軽負荷のバイパスによる自動終了機能により、逆方向バイパスモードでの逆電流の方向を防止します。充電器は入力電流が $I_{\text{REV_BYP_LL}}$ を下回ると監視し、この時点で自動的にバイパスモードを終了し、PWM レギュレーションモードに戻ります。この保護機能は内部および外部の両方のバイパスモードで有効ですが、 $\text{EN_BYPASS_LL_EXIT} = 0$ に設定することで無効にできます。 EN_BYPASS ビットは 0 にクリアされ、 BYPASS_FLAG ビットが設定されます。また、 BYPASS_MASK がクリアされている場合は、ホストに通知するための INT パルスが出力されます。

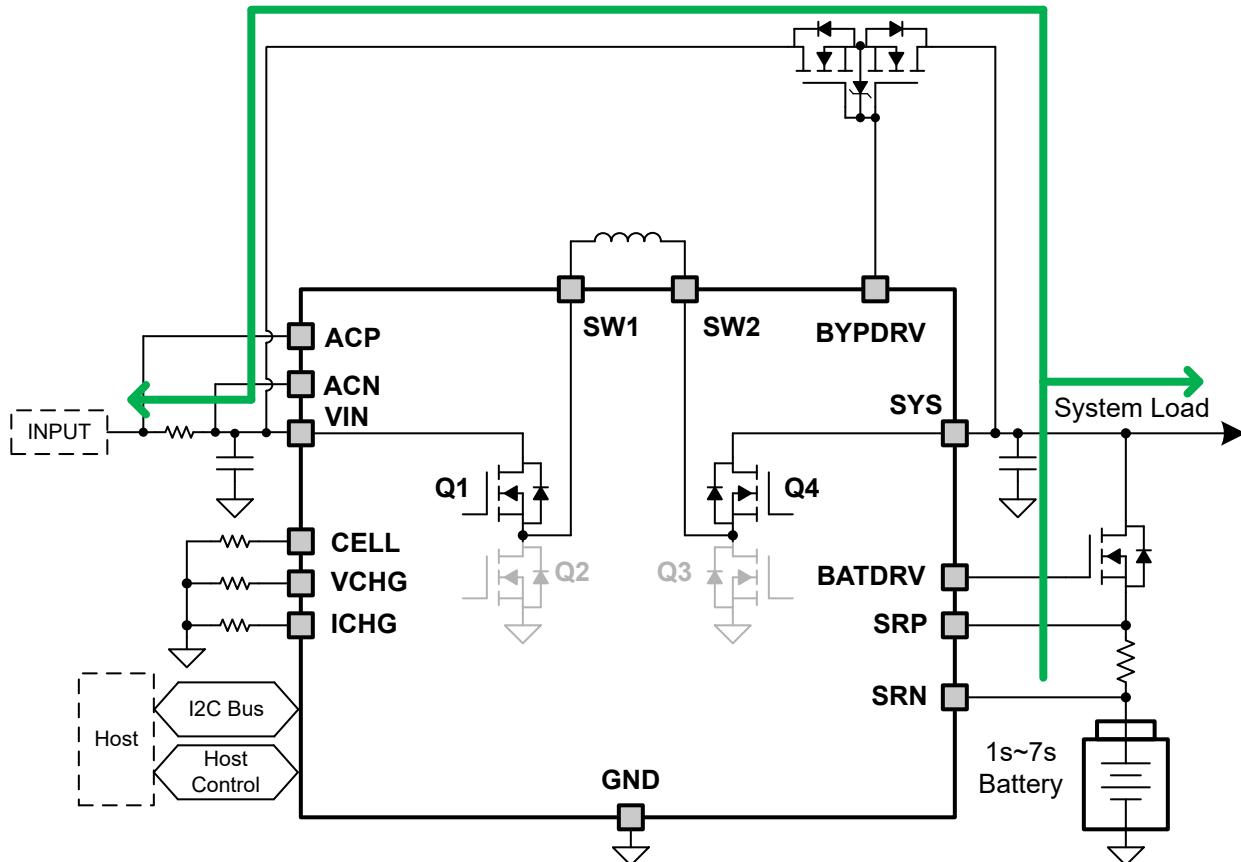


図 6-10. 外部逆方向バイパスモード

6.3.10 ステータス出力 (STAT および INT)

6.3.10.1 パワーグッドインジケータ (PG_STAT)

良好な入力ソースが認定されると、パワーグッドステータスレジスタは 1 に設定されます。 PG_STAT および PG_FLAG が 1 に変更され、良好な入力ソースを示します。以下の条件が満たされたときに PG_MASK でマスクされない限り、 INT は Low にアサートされて、ホストに通知します：

1. $V_{\text{VIN_UVLOZ}}$ を上回る VIN
2. $V_{\text{VIN_OVP}}$ を下回る VIN

6.3.10.2 充電ステータスインジケータ (STAT ピン)

このデバイスは、オープンドレインの STAT ピンで充電状態を示します。STAT ピンは LED を駆動できます。 DIS_STAT ビットを使用して STAT ピンの機能を無効にします。

表 6-9. STAT ピンの状態

充電状態	ステータス インジケータ
充電進行中 (再充電およびトップオフ タイマ中の充電を含む)	Low
充電の完了	High
HIZ モード、充電無効	High
バッテリのみのモードと OTG モード	High
充電の一時停止 (充電を無効化する故障条件)	1Hz で点滅

6.3.10.3 ホストへの割り込み ($\overline{\text{INT}}$)

アプリケーションによっては、ホストが常に充電器の動作を監視するとは限りません。 $\overline{\text{INT}}$ ピンは、デバイス動作についてシステム ホストに通知します。デフォルトでは、以下のイベントによりアクティブ Low の 256μs $\overline{\text{INT}}$ パルスが生成されます。

1. 良好な入力信号源の検出
 - $V_{\text{VIN}} < V_{\text{VIN_OVP}}$ スレッショルド
 - $V_{\text{VIN}} > V_{\text{VIN_OK}}$ スレッショルド
2. 良好な入力ソースを除去
3. IINDPM 規制への移行
4. VINDPM 規制への移行
5. IC 接合部温度レギュレーションへの移行 (TREG)
6. I²C オウチドッグ タイマが時間切れ
 - 最初の電源オン時に、この $\overline{\text{INT}}$ がアサートされ、I²C の通信準備が完了したことを示します
7. 充電完了を含む、充電器のステータスが変化する状態 (CHARGE_STAT 値の変更)
8. TS_STAT の状態が変化した場合 (TS_STAT のいずれかのビットが変更された場合)
9. VIN 過電圧の検出 (VIN_OVP)
10. 接合部温度シャットダウン (TSHUT)
11. バッテリ過電圧の検出 (BATOVVP)
12. システム過電圧の検出 (VSYS_OVP)
13. トリクル充電、ブリチャージ、高速充電安全タイマなどの充電安全タイマは期限切れです
14. 別の *_STAT ビットのいずれかでの立ち下がりエッジ

パルスの発生時に $\overline{\text{INT}}$ パルスが送信されないように、 $\overline{\text{INT}}$ ソースの各々をマスクオフします。これらのパルス イベントには次の 3 つのビットが存在します：

- STAT ビットは、各 $\overline{\text{INT}}$ ソースの現在のステータスを保持します。
- フラグ ビットは、現在のステータスに関係なく、どのソースが $\overline{\text{INT}}$ を生成したかに関する情報を保持します。
- MASK ビットは、デバイスが特定のイベントごとに $\overline{\text{INT}}$ を送信しないようにするために使用されます。

上記の条件のいずれかが発生する (*_STAT ビットのいずれかでの立ち上がりエッジ) と、デバイスは $\overline{\text{INT}}$ パルスを送信し、どのソースがフラグ レジスタにより $\overline{\text{INT}}$ を生成したかを追跡します。FLAG レジスタのビットは、ホストによって読み出されると自動的にゼロにリセットされ、FLAG を再度アサートするには STAT ビットに新たなエッジが必要です。図 6-11 にシーケンスを示します。

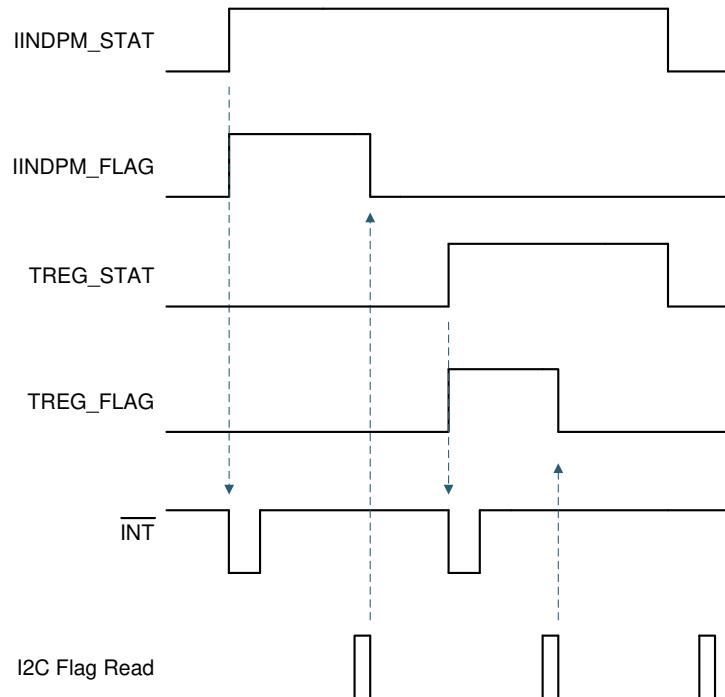


図 6-11. INT 生成の動作の例

6.3.11 シリアルインターフェイス

このデバイスでは、I²C 互換のインターフェイスを使用して柔軟な充電パラメータのプログラミングと、デバイスのステータスの瞬時の報告を行えます。I²C は、双方向 2 線式のシリアルインターフェイスです。必要なのは、シリアルデータライン (SDA) とシリアルクロックライン (SCL) の 2 本のオープンドレインバスラインのみです。データ転送を実行する際は、デバイスをコントローラまたはターゲットとして扱います。コントローラは、バス上でデータ転送を開始し、その転送を許可するクロック信号を生成するデバイスです。その際、アドレス指定されたデバイスはすべてターゲットとみなされます。

このデバイスは、アドレス 0x6B のターゲットデバイスとして動作し、マイコンやデジタル信号プロセッサなどのコントローラデバイスから、[レジスタマップ](#)で定義されたレジスタを介して制御入力を受け取ります。マップで定義されたレジスタの外側で読み出されたレジスタは、0xFF を返します。I²Cインターフェイスは、標準モード(最大 100kbit/s)、高速モード(最大 400kbit/s)、および高速モードプラス(最大 1 Mbit/s)のいずれにも対応しています。バスが空いていると、両方のラインが HIGH になります。SDA ピンと SCL ピンはオープンドレインであり、電流ソースまたはプルアップ抵抗経由で正の電源電圧に接続する必要があります。

システム注記: 16 ビットのレジスタはすべてリトルエンディアンと定義され、最上位バイトは上位アドレスに割り当てられます。16 ビットレジスタの書き込みは連続して実行する必要があります。TI は [マルチ書き込みおよびマルチ読み取り](#)で説明されているマルチライト方式でのプログラミングを推奨しています。

6.3.11.1 データの有効性

SDA ラインのデータが、クロックの HIGH 期間中に安定していることを確認します。データラインの HIGH または LOW の状態は、SCL ラインのクロック信号が LOW のときのみ変化します。転送されるデータビットごとに、1 つのクロックパルスが生成されます。

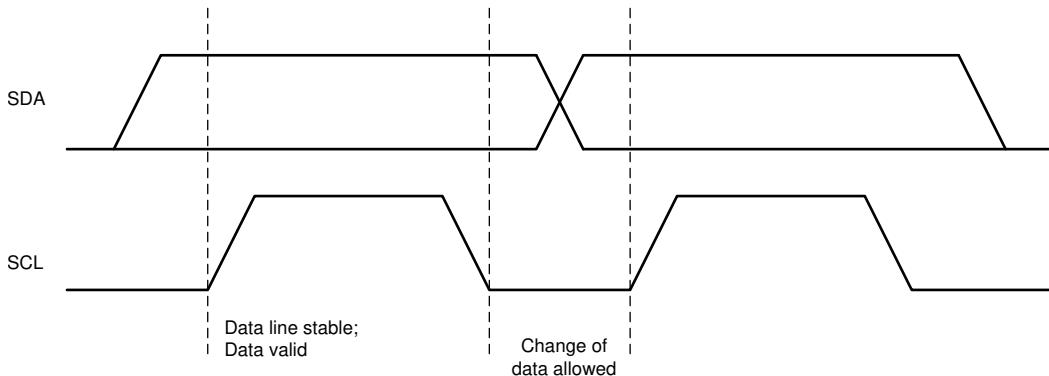


図 6-12. I²C バスでのピット転送

ADVANCE INFORMATION

6.3.11.2 開始条件と停止条件

すべてのトランザクションは「スタート (S)」で始まり、「ストップ (P)」で終了します。SCL が HIGH の状態で SDA ラインが HIGH から LOW に変化することを、スタート条件と定義します。SCL が HIGH の状態で SDA ラインが LOW から HIGH に変化することを、ストップ条件と定義します。

START 条件と STOP 条件は、常にコントローラによって生成されます。バスは、START 条件の後はビジー状態とみなされ、STOP 条件の後はフリーとみなされます。タイムアウト条件が発生した場合、たとえばスタート条件が 2 秒以上続いてもストップ条件がトリガーされない場合、充電器の I²C 通信は自動的にリセットされ、通信ラインは次の送信のために解放されます。

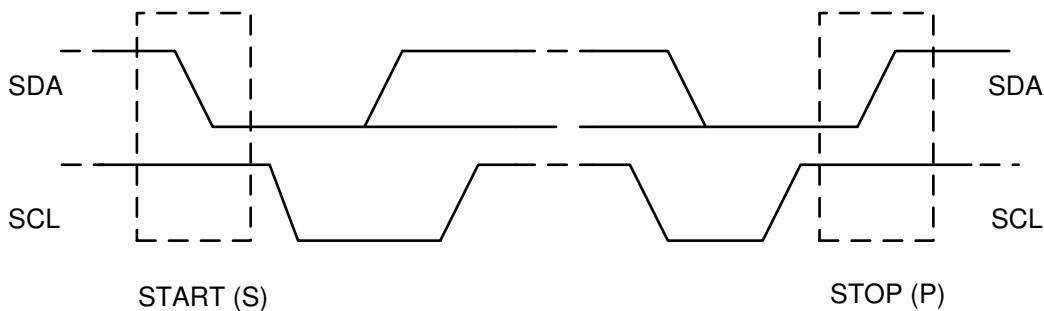


図 6-13. I²C バスのスタート条件とストップ条件

6.3.11.3 バイト フォーマット

SDA ライン上の各バイトが 8 ビット長であることを確認します。転送ごとに送信されるバイト数に制限はありません。アクリシジ (ACK) ビットは各バイトの後に続く必要があります。データは、最上位ビット (MSB) を先頭にして転送されます。スレーブが他の処理を実行するまで次のデータ バイトを受信または送信できない場合、スレーブは SCL ラインを Low に保持してマスタを待機状態 (クロック ストレッч) にすることができます。その後、スレーブが別のデータのバイトを処理する準備が整い、SCL ラインを解放すると、データ転送が続行されます。

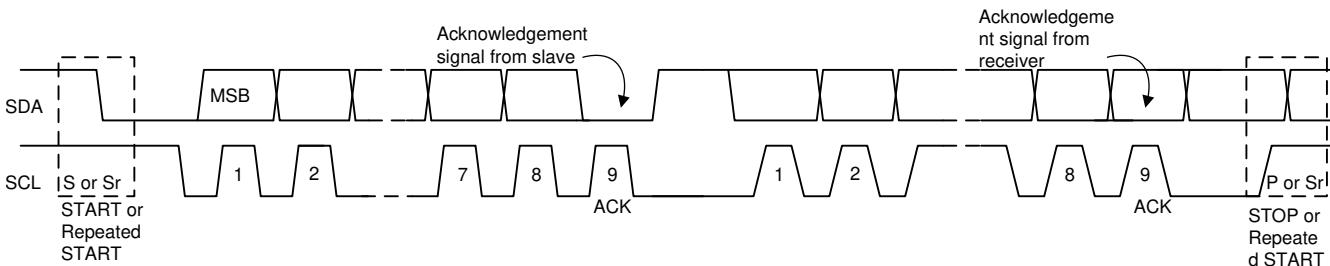


図 6-14. I²C バスでのデータ転送

6.3.11.4 アクノリッジ (ACK) とアクノリッジなし (NACK)

ACK 信号は、各送信バイトの後に送信されます。ACK ビットは、バイトを正常に受信したこと、および別のバイトを送信できることを受信側からコントローラに通知するために使用されます。コントローラは、9 番目のアクノリッジ クロック パルスを含め、すべてのクロック パルスを生成します。

コントローラはアクノリッジ クロック パルスの間に SDA ラインを解放し、ターゲットが SDA ラインを LOW にプルダウンできるようにします。この 9 番目のクロック パルスの HIGH 期間中、SDA ラインは安定して LOW のままになります。

9 番目のクロック パルスの間、SDA ラインが HIGH のままの場合、NACK が通知されます。その後コントローラは転送を中止する STOP を生成するか、新しい転送を開始する START を繰り返し生成します。

6.3.11.5 ターゲットアドレスおよびデータ方向ビット

START 信号後にターゲットアドレスが送信されます。このアドレスは 7 ビット長で、8 ビットがデータ方向ビット (ビット R/W) として続きます。0 は転送 (WRITE) を示し、1 はデータの要求 (READ) を示します。デバイスの 7 ビットアドレスは 1101 011' (0x6B) と定義されます。

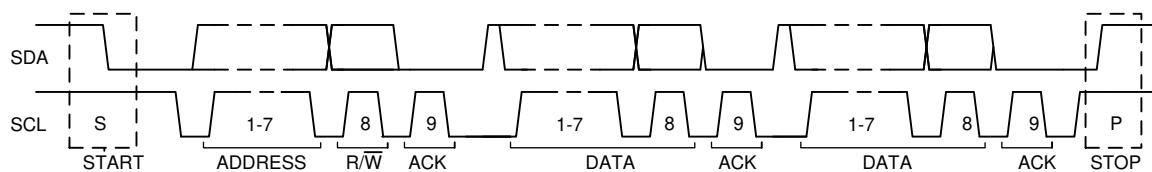


図 6-15. I²C バスでのビット転送の完了

6.3.11.6 シングル書き込みおよび読み出し

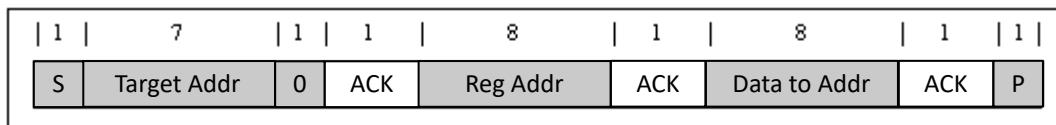


図 6-16. シングル書き込み

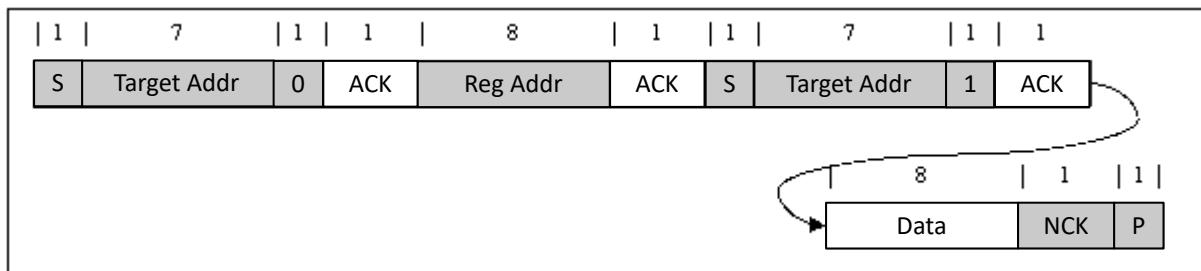


図 6-17. 単発読み取り

レジスタアドレスが定義されていない場合、充電器 IC は NACK を返し、アイドル状態に戻ります。

6.3.11.7 マルチ書き込みおよびマルチ読み取り

この充電器デバイスは、すべてのレジスタに対してマルチバイトの読み取りおよび書き込みをサポートしています。

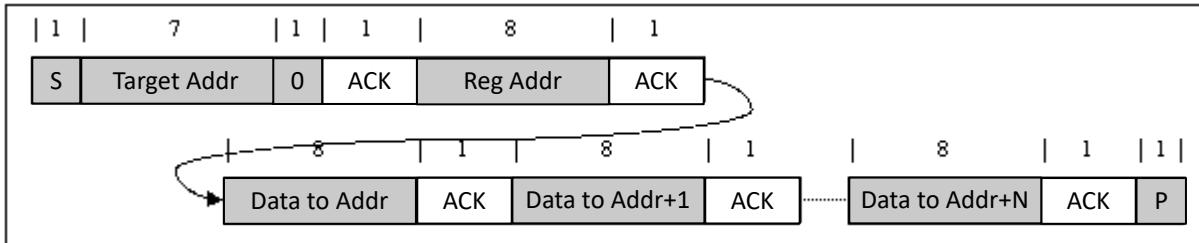


図 6-18. マルチ書き込み

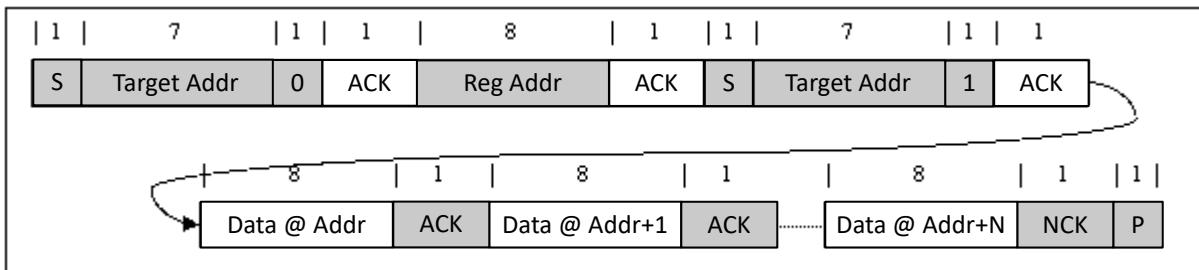


図 6-19. マルチ読み取り

6.4 デバイスの機能モード

6.4.1 ホスト モードとデフォルト モード

このデバイスはホスト制御充電器ですが、ホスト管理なしでデフォルト モードで動作できます。デフォルト モードでは、このデバイスはホストなし、またはホストがスリープモードのときに自律充電器として使用できます。チャージャがデフォルト モードのとき、WD_STAT ビットは HIGH になり、WD_FLAG は 1 に設定され、INT は Low にアサートされてホストにアラートを送信します (WD_MASK でマスクされている場合を除きます)。WD_FLAG ビットは、最初の読み取り時に「1」として、その後の読み取り時に「0」として読み取られます。充電器がホスト モードのとき、WD_STAT ビットは LOW になります。

パワーオンリセット後、デバイスはデフォルト モードで起動し、ウォッチドッグ タイマが満了します。すべてのレジスタはデフォルト設定になっています。

デフォルト モードでは、このデバイスはデフォルトの充電安全タイマでバッテリの充電を継続します。安全タイマの期限が切れると充電は停止しますが、

いずれかの I²C レジスタへの書き込みによって、充電器はデフォルト モードからホスト モードに遷移し、ウォッチドッグ タイマが開始します。すべてのデバイス パラメータは、ホストによりプログラムできます。デバイスをホスト モードのまま維持するには、ウォッチドッグ タイマーの期限が切れる前に (WD_STAT ビットがセットされる前に)、WD_RST ビットに 1 を書き込んでリセットする必要があります。または、WATCHDOG ビットを 00 に設定してウォッチドッグ タイマを無効化することもできます。

ウォッチドッグ タイマが期限切れになると、デバイスはデフォルト モードに戻り、レジスタ マップ に記載されているレジスタを除き、すべてのレジスタがデフォルト値にリセットされます。ウォッチドッグ タイマがタイムアウトしている場合、任意の書き込みでウォッチドッグ タイマはリセットされます。ウォッチドッグタイマが満了すると、WD_STAT および WD_FLAG が 1 に設定され、INT が low にアサートされてホストにアラートを送信します (WD_MASK でマスクされている場合を除きます)。

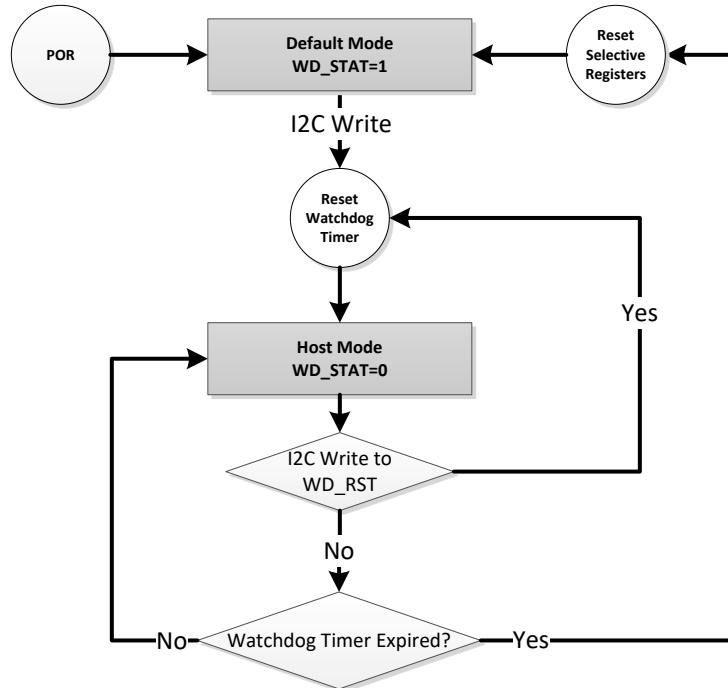


図 6-20. ウォッチドッグ タイマのフロー チャート

6.4.2 レジスタ ビットのリセット

デフォルト モードでは、ウォッチドッグ タイマによってレジスタがリセットされるほか、REG_RST ビットを 1 に書き込むことで、レジスタとタイマをデフォルト値にリセットできます。REG_RST ビットでリセット可能なレジスタ ビットについては、[レジスタ マップ](#) セクションに記載されています。レジスタをリセットすると、REG_RST ビットは自動的に 1 から 0 に戻ります。

REG_RST ビットによってリセットされるレジスタは、CELL、ICHG、および VCHG ピンの検出を開始しません。これらの検出は、チャージャの初回 POR のみに実行されます。さらに、充電器が強制 ICO 実行中の場合に REG_RST を 1 に設定すると、その処理は終了します。

6.5 レジスタ マップ

6.5.1 BQ25692Q1 のレジスタ

BQ25692Q1 レジスタのメモリマップされたレジスタを、表 6-10 に示します。表 6-10 にないレジスタ オフセット アドレスはすべて予約済みと見なして、レジスタの内容は変更しないでください。

表 6-10. BQ25692Q1 のレジスタ

アドレス	略称	レジスタ名	セクション
0x2	REG0x02_Charge_Current_Limit	充電電流制限	表示
0x4	REG0x04_Charge_Voltage_Limit	充電電圧制限	表示
0x6	REG0x06_Input_Current_Limit	入力電流制限	表示
0x8	REG0x08_Input_Voltage_Limit	入力電圧制限	表示
0xA	REG0x0A_Reverse_Mode_Input_Current_Regulation	逆方向モード入力電流レギュレーション	表示
0xC	REG0x0C_Reverse_Mode_Input_Voltage_Regulation	逆方向モード入力電圧レギュレーション	表示
0xE	REG0x0E_Preload_Control	プレ充電制御	表示
0xF	REG0x0F_Termination_Control	終端制御	表示
0x10	REG0x10_Preload_and_Termination_Control	充電前および終端制御	表示
0x11	REG0x11_Timer_Control	タイマ制御	表示
0x12	REG0x12_Charger_Control_1	チャージャコントロール 1	表示
0x13	REG0x13_Charger_Control_2	チャージャコントロール 2	表示
0x14	REG0x14_Charger_Control_3	チャージャコントロール 3	表示
0x15	REG0x15_Charger_Control_4	チャージャコントロール 4	表示
0x16	REG0x16_Converter_Control_1	コンバータ制御 1	表示
0x18	REG0x18_TS_Charging_Threshold_Control	TS 充電スレッショルド制御	表示
0x19	REG0x19_TS_Charging_Behavior_Control	TS 充電動作制御	表示
0x1A	REG0x1A_TS_Reverese_Mode_Threshold_Control	TS 逆方向モードスレッショルド制御	表示
0x1B	REG0x1B_Pin_Detection_Status_1	ピン検出ステータス 1	表示
0x1C	REG0x1C_Pin_Detection_Status_2	ピン検出ステータス 2	表示
0x1D	REG0x1D_Charger_Status_1	充電器ステータス 1	表示
0x1E	REG0x1E_Charger_Status_2	充電器ステータス 2	表示
0x1F	REG0x1F_FAULT_Status	FAULT のステータス	表示
0x20	REG0x20_Charger_Flag	充電器フラグ	表示
0x21	REG0x21_FAULT_Flag	フォルトフラグ	表示
0x22	REG0x22_Charger_Mask	充電器マスク	表示
0x23	REG0x23_FAULT_Mask	FAULT マスク	表示
0x24	REG0x24_ICO_Current_Limit	ICO の電流制限	表示
0x26	REG0x26_Part_Information	重部品情報	表示

表の小さなセルに収まるように、複雑なビット アクセス タイプを記号で表記しています。表 6-11 に、このセクションでアクセス タイプに使用しているコードを示します。

表 6-11. BQ25692Q1 のアクセス タイプ コード

アクセス タイプ	コード	説明
読み取りタイプ		
R	R	読み出し

表 6-11. BQ25692Q1 のアクセス タイプ コード (続き)

アクセス タイプ	コード	説明
書き込みタイプ		
W	W	書き込み
リセットまたはデフォルト値		
-n		リセット後の値またはデフォルト値

6.5.1.1 REG0x02_Charge_Current_Limit レジスタ (アドレス = 0x2) [リセット = 0x0XX0]

REG0x02_Charge_Current_Limit を表 6-12 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-12. REG0x02_Charge_Current_Limit レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15:12	予約済み	R	0x0		予約済み
11:4	ICHG	R/W	X	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います。 リセット方法: REG_RESET	充電電流レギュレーション制限: POR の後、デバイスは ICHG ピンの抵抗を読み出して、ICHG クランプの最大値を設定します。 範囲:40mA-3300mA (2h-A5h) クランプ Low クランプ High ピットステップ:20mA
3:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.2 REG0x04_Charge_Voltage_Limit レジスタ (アドレス = 0x4) [リセット = 0xXXXX]

REG0x04_Charge_Voltage_Limit を表 6-13 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-13. REG0x04_Charge_Voltage_Limit レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15	予約済み	R	0x0		予約済み
14:3	VREG	R/W	X	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います。 VREG は CELL_PIN レジスタ値に基づいてクランプされます。 リセット方法: REG_RESET	バッテリ電圧レギュレーション制限: POR の後、デバイスは CELL ピンと VCHG ピンの抵抗を読み出して、最大 VREG クランプを設定します。 範囲:2400mV – 33000mV (F0h – CE4h) クランプ Low クランプ High ピットステップ:10mV
2:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.3 REG0x06_Input_Current_Limit レジスタ (アドレス = 0x6) [リセット = 0x0A50]

REG0x06_Input_Current_Limit を表 6-14 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-14. REG0x06_Input_Current_Limit レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15:12	予約済み	R	0x0		予約済み

表 6-14. REG0x06_Input_Current_Limit レジスタのフィールドの説明 (続き)

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
11:4	IINDPM	R/W	0xA5	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います。 リセット方法: REG_RESET	入力電流レギュレーション制限: POR:3300mA (A5h) 範囲:40mA-3300mA (2h-A5h) クランプ Low クランプ High ビットステップ:20mA
3:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.4 REG0x08_Input_Voltage_Limit レジスタ (アドレス = 0x8) [リセット = 0x0910]

REG0x08_Input_Voltage_Limit を表 6-15 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-15. REG0x08_Input_Voltage_Limit レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15	予約済み	R	0x0		予約済み
14:4	VINDPM	R/W	0x91	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います	絶対入力電圧レギュレーション制限: POR:2900mV (91h) 範囲:2500mV – 36000mV (7Dh – 708h) クランプ Low クランプ High ビットステップ:20mV
3:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.5 REG0x0A_Reverse_Mode_Input_Current_Regulation レジスタ (アドレス = 0xA) [リセット = 0x0A50]

REG0x0A_Reverse_Mode_Input_Current_Regulation を表 6-16 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-16. REG0x0A_Reverse_Mode_Input_Current_Regulation レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15:12	予約済み	R	0x0		予約済み
11:4	IIN_REV	R/W	0xA5	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います。 リセット方法: REG_RESET	ACP/ACN 全体にわたる逆方向モード電流レギュレーション: POR:3300mA (A5h) 範囲:40mA-3300mA (2h-A5h) クランプ Low クランプ High ビットステップ:20mA
3:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.6 REG0x0C_Reverse_Mode_Input_Voltage_Regulation レジスタ (アドレス = 0xC) [リセット = 0x0FA0]

REG0x0C_Reverse_Mode_Input_Voltage_Regulation を表 6-17 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-17. REG0x0C_Reverse_Mode_Input_Voltage_Regulation レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15	予約済み	R	0x0		予約済み
14:4	VIN_REV	R/W	0xFA	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います。 リセット方法: REG_RESET	VIN 時の逆方向モード電圧レギュレーション: POR:5000mV (FAh) 範囲:3500mV - 34000mV (AFh - 6A4h) クランプ Low クランプ High ビットステップ:20mV
3:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.7 REG0x0E_Precharge_Control レジスタ (アドレス = 0xE) [リセット = 0x05]

REG0x0E_Precharge_Control を表 6-18 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-18. REG0x0E_Precharge_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	予約済み	R	0x0		予約済み
5:0	IPRECHG	R/W	0x5	注:10mΩ RBAT_SNS を使用する場合のみ 20mA 設定以下によって推奨されます。 リセット方法: REG_RESET	プリチャージ電流レギュレーション制限: POR:100mA (5h) 範囲:20mA-620mA (1h-1Fh) クランプ Low クランプ High ビットステップ:20mA

6.5.1.8 REG0x0F_Termination_Control レジスタ (アドレス = 0xF) [リセット = 0x05]

REG0x0F_Termination_Control を表 6-19 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-19. REG0x0F_Termination_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	予約済み	R	0x0		予約済み
5:0	ITERM	R/W	0x5	注:10mΩ RBAT_SNS を使用する場合のみ 20mA 設定以下によって推奨されます。 リセット方法: REG_RESET	終端電流スレッショルド: POR:100mA (5h) 範囲:20mA-620mA (1h-1Fh) クランプ Low クランプ High ビットステップ:20mA

6.5.1.9 REG0x10_Precharge_and_Termination_Control レジスタ (アドレス = 0x10) [リセット = 0x2F]

REG0x10_Precharge_and_Termination_Control を表 6-20 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-20. REG0x10_Preload_and_Termination_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	REG_RST	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	レジスタをデフォルト値にリセットし、タイマをリセットします。リセットが完了すると、ビットは 0 にリセットされます。 0b = リセットしない 1b = リセットする
6	DIS_STAT	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	STAT ピンの出力を無効化します。 0b = イネーブル 1b = ディスエーブル
5:4	VRECHG	R/W	0x2	リセット方法: REG_RESET	VREG のパーセンテージに基づくバッテリ自動再充電スレッショルド: 00b = 92.7% x VREG (LiFePO4 の場合: ~260mV/セル) 01b = 94.1% x VREG (LiFePO4 の場合: ~210mV/セル) 10b = 95.5% x VREG (リチウムイオンの場合: ~190mV/セル) 11b = 97% x VREG (リチウムイオンの場合: ~130mV/セル)
3	EN_TERM	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	終端制御: 0b = 無効化 1b = 有効化
2:1	VBAT_LOVV	R/W	0x3	リセット方法: REG_RESET	プリチャージから高速充電への遷移のバッテリスレッショルド (VREG のパーセンテージ): 00b = 30% x VREG 01b = 55% x VREG 10b = 66.7% x VREG 11b = 71.4% x VREG
0	EN_PRECHG	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	プリチャージおよび BAT_SHORT 機能を有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化

6.5.1.10 REG0x11_Timer_Control レジスタ (アドレス = 0x11) [リセット = 0x1D]

REG0x11_Timer_Control を表 6-21 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-21. REG0x11_Timer_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	TOPOFF_TMR	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	トップオフ タイマ制御: 00b = 無効 01b = 15 分 10b = 30 分 11b = 45 分
5:4	ウォッチドッグ	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	ウォッチドッグ タイマ設定: 00b = 無効 01b = 40 秒 10b = 80 秒 11b = 160 秒
3	EN_CHG_TMR	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	プリチャージおよび高速充電安全タイマを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化

表 6-21. REG0x11_Timer_Control レジスタのフィールドの説明 (続き)

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
2:1	CHG_TMR	R/W	0x2	リセット方法: REG_RESET	高速充電安全タイマ設定: 00b = 5hr 01b = 8hr 10b = 12hr 11b = 24hr
0	EN_TMR2X	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	充電安全タイマを使用して 2x モードを有効化: 0b = 入力 DPM またはサーマル レギュレーション中に安全タイマが 2 倍遅延しない 1b = 入力 DPM またはサーマル レギュレーション中に安全タイマが 2 倍遅延する

6.5.1.11 REG0x12_Charger_Control_1 レジスタ (アドレス = 0x12) [リセット = 0x80]

REG0x12_Charger_Control_1 を表 6-22 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-22. REG0x12_Charger_Control_1 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	IBAT_REV	R/W	0x2	リセット方法: REG_RESET	SRP/SRN 全体にわたる逆方向モード バッテリ放電電流レギュレーション: 00b = 1A 01b = 2.28A 10b = 3.56A 11b = ディスエーブル
5	RBAT_SNS	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	バッテリ電流センス抵抗値: 0b = 10mΩ 1b = 5mΩ
4	EN_BYPASS	R/W	0x0	EN_EXT_BYPASS = 1 の場合、このビットは外部バイパスパスを制御します。 EN_EXT_BYPASS = 0 の場合、このビットは内部バイパスパスを有効化します。 このビットは、EN_HIZ が 1 になると、または EN_REV が 0 になるとクリアされます。 リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	バイパスモード制御: 0b = 無効化 1b = 有効化
3	EN_EXT_BYPASS	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	外部バイパスモード制御: 0b = 無効化 1b = 有効化
2	WD_RST	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	I2C ウォッチドッグ タイマリセット: 0b = 通常 1b = リセット (タイマリセット後、このビットは 0 に戻る)
1	STOP_WD_CHG	R/W	0x0		WD タイマの満了によって充電が無効になるかどうかを定義: 0b = WD タイマの満了は既存の EN_CHG 設定を維持 1b = WD タイマの満了により EN_CHG = 0 に設定

表 6-22. REG0x12_Charger_Control_1 レジスタのフィールドの説明 (続き)

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
0	PRECHG_TMR	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	プリチャージ安全タイマ設定: 0b = 2 時間 1b = 0.5 時間

6.5.1.12 REG0x13_Charger_Control_2 レジスタ (アドレス = 0x13) [リセット = 0xA0]

REG0x13_Charger_Control_2 を表 6-23 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-23. REG0x13_Charger_Control_2 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	EN_AUTO_DSCHG	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	OVP 中の自動放電を有効化 - 順方向モード OVP 中の ISYS_LOAD および逆方向モード OVP 中の IVIN_LOAD フォルト: 0b = コンバータ OVP 中に充電器は ISYS_LOAD または IVIN_LOAD 電流の放電を印加しない 1b = コンバータ OVP 中に充電器は ISYS_LOAD または IVIN_LOAD 電流の放電を印加する
6	FORCE_ISYS_DSC_HG	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	システム放電電流 (ISYS_LOAD) を強制的に供給: 0b = 無効化 1b = ISYS_LOAD を有効化
5	EN_CHG	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	充電イネーブル制御: 0b = 充電を無効化 1b = 充電を有効化
4	EN_HIZ	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ アダプタ プラグイン	ハイインピーダンス モードを有効化: 0b = HIZ を無効化 1b = HIZ を有効化
3	FORCE_VIN_DSCHG	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	入力放電電流 (IVIN_LOAD) を強制的に供給: 0b = 無効化 1b = IVIN_LOAD を有効化
2	RAC_SNS	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	入力電流センス抵抗値: 0b = 10mΩ 1b = 5mΩ
1	EN_REV	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	逆方向モードの有効化は、EN_BAT_DETECT (Reg0x14[3]=0) を無効化した後に行う必要があります 逆方向モード制御: 0b = 無効化 1b = 有効化
0	EN_BACKUP	R/W	0x0	このビットは、有効な入力ソースが存在する場合のみ有効化できます。バッテリのみのモードでは無視されます リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	バックアップ モード制御: 0b = 無効化 1b = 有効化

6.5.1.13 REG0x14_Charger_Control_3 レジスタ (アドレス = 0x14) [リセット = 0x38]

REG0x14_Charger_Control_3 を表 6-24 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-24. REG0x14_Charger_Control_3 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	VIN_BACKUP	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	バックアップ モードをトリガするための VIN 立ち下がりリストンプ。VINDPM の比率として定義 00b = 50% x VINDPM 01b = 60% x VINDPM 10b = 80% x VINDPM 11b = 100% x VINDPM
5	EN_EXTILIM	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	入力電流レギュレーションのために外部 ILIM_HIZ ピンを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化
4	予約済み	R	0x0		予約済み
3	EN_BAT_DETECT	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	バッテリ検出の有効化は、逆方向モードが無効化されている場合に可能 (Reg0x13[1]=0) バッテリ検出ルーチンを有効化: 0b = ディスエーブル (バッテリ検出なし) 1b = イネーブル
2	FORCE_VINDPM	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	VINDPM スレッシュルド設定方法: 0b = 相対 VINDPM スレッシュルドを実行 1b = VINDPM の絶対スレッシュルドを実行
1	FORCE_ICO	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	強制スタート入力電流オプティマイザ (ICO): 注:このビットは設定可能で、ICO の開始後は常に 0 に戻ります。このビットは、EN_ICO = 1 の場合のみ有効です 0b = ICO を強制しない 1b = ICO を強制的に開始する
0	EN_ICO	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	入力電流オプティマイザ (ICO) 制御: 0b = 無効化 1b = 有効化

6.5.1.14 REG0x15_Charger_Control_4 レジスタ (アドレス = 0x15) [リセット = 0x00]

REG0x15_Charger_Control_4 を表 6-25 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-25. REG0x15_Charger_Control_4 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:4	予約済み	R	0x0		予約済み
3	EN_FAST_VOTG_R_ESPONSE	R/W	0x0	制約については、「逆方向 (ソース) モード動作」セクションを参照してください。 リセット方法: REG_RESET	より高速な逆 (ソース) (OTG) 過渡応答: 0b = 無効化 1b = 有効化
2	TERM_WAKEUP_R_ESPONSE	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	終端制御からのウェークアップ: 0b = 通常ウェークアップ、終端で低 IQ_BAT 1b = 高速ウェークアップ、終端で高 IQ_BAT (取り外し可能なバッテリ アプリケーションに推奨)
1:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.15 REG0x16_Converter_Control_1 レジスタ (アドレス = 0x16) [リセット = 0xE1]

REG0x16_Converter_Control_1 を表 6-26 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-26. REG0x16_Converter_Control_1 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	EN_PFM	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	PFM モードを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化
6	EN_PFM_OOA	R/W	0x1	EN_PFM = 1 の場合のみ 有効 リセット方法: REG_RESET	PFM Out Of Audio (OOA) モードを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化
5	TREG	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	サーマル レギュレーション制限: 0b = 80°C 1b = 120°C
4:3	EN_DITHER	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	スイッチング周波数ディザーリング構成: 00b = ディスエーブル 01b = 1X 10b = 2X 11b = 3X
2:0	FSW	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	スイッチング周波数の構成: 001b = 450kHz 010b = 500kHz 011b = 550kHz 100b = 600kHz 101b = 700kHz 110b = 1.2MHz

6.5.1.16 REG0x18_TS_Charging_Threshold_Control レジスタ (アドレス = 0x18) [リセット = 0x95]

REG0x18_TS_Charging_Threshold_Control を表 6-27 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-27. REG0x18_TS_Charging_Threshold_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	TS_TH5	R/W	0x2	RT1=5.24kW および RT2=30.31kW で 103AT NTC サーミスタを使用 リセット方法: REG_RESET	TS TH5 (HOT) スレッショルド制御: 00b = 41.2% (50°C) 01b = 37.7% (55°C) 10b = 34.375% (60°C) 11b = 31.25% (65°C)
5:4	TS_TH3	R/W	0x1	RT1=5.24kW および RT2=30.31kW で 103AT NTC サーミスタを使用 リセット方法: REG_RESET	TS TH3 (WARM) スレッショルド制御: 00b = 48.4% (40°C) 01b = 44.75% (45°C) 10b = 41.2% (50°C) 11b = 37.7% (55°C)
3:2	TS_TH2	R/W	0x1	RT1=5.24kW および RT2=30.31kW で 103AT NTC サーミスタを使用 リセット方法: REG_RESET	TS TH2 (COOL) スレッショルド制御: 00b = 70.9% (5°C) 01b = 68.25% (10°C) 10b = 65.35% (15°C) 11b = 62.25% (20°C)

表 6-27. REG0x18_TS_Charging_Threshold_Control レジスタのフィールドの説明 (続き)

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
1:0	TS_TH1	R/W	0x1	RT1=5.24kW および RT2=30.31kW で 103AT NTC サーミスタを使用 リセット方法: REG_RESET	TS TH1 (COLD) スレッショルド制御: 00b = 77.15% (-10°C) 01b = 75.32% (-5°C) 10b = 73.3% (0°C) 11b = 70.9% (5°C)

6.5.1.17 REG0x19_TS_Charging_Behavior_Control レジスタ (アドレス = 0x19) [リセット = 0xD7]

REG0x19_TS_Charging_Behavior_Control を表 6-28 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-28. REG0x19_TS_Charging_Behavior_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	EN_BYPASS_LL_EXIT	R/W	0x1		軽負荷検出時の自動終了バイパスモードの有効化: 0b = ディスエーブル 1b = イネーブル
6:5	JEITA_VSET	R/W	0x2	リセット方法: REG_RESET	JEITA Warm (T3 < TS < T5) バッテリ電圧レギュレーション設定: 00b = 充電中断 01b = VREG - 250mV/セル 10b = VREG - 100mV/セル 11b = VREG
4	JEITA_ISETH	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	JEITA ウォーム (T3 < TS < T5) バッテリ電流レギュレーション設定 (ICHG に対するパーセンテージ): 0b = 40% x ICHG 1b = 100% x ICHG
3:2	JEITA_ISETC	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	JEITA クール (T1 < TS < T2) バッテリ電流レギュレーション設定 (ICHG に対するパーセンテージ): 00b = 充電中断 01b = 20% x ICHG 10b = 40% x ICHG 11b = 100% x ICHG
1	EN_JEITA	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	JEITA プロファイル制御: 0b = JEITA を無効化 (コールド/ホット制御のみ) 1b = JEITA を有効化 (コールド/クール/ウォーム/ホット制御)
0	EN_TS	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	TS ピンの機能制御 (順方向充電および逆方向放電モードに適用): 0b = ディスエーブル (TS ピンを無視) 1b = イネーブル

6.5.1.18 REG0x1A_TS_Reverese_Mode_Threshold_Control レジスタ (アドレス = 0x1A) [リセット = 0x40]

REG0x1A_TS_Reverese_Mode_Threshold_Control を表 6-29 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-29. REG0x1A_TS_Reverese_Mode_Threshold_Control レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	TS_REV_HOT	R/W	0x1	リセット方法: REG_RESET	逆方向モードの TS 高温スレッショルド制御: 00b = 37.7% (55°C) 01b = 34.2% (60°C) 10b = 31.25% (65°C) 11b = デイスエーブル
5	TS_REV_COLD	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	逆方向モードの TS 低温スレッショルド制御: 0b = 77.15% (-10°C) 1b = 80% (-20°C)
4	予約済み	R	0x0		予約済み
3:0	CV_TMR	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	CV タイマ設定: 0000b = 無効 0001b = 1 時間 0010b = 2 時間 ... = ... 1110b = 14 時間 1111b = 15 時間

6.5.1.19 REG0x1B_Pin_Detection_Status_1 レジスタ (アドレス = 0x1B) [リセット = 0x00]

REG0x1B_Pin_Detection_Status_1 を表 6-30 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-30. REG0x1B_Pin_Detection_Status_1 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	VCHG_PIN_OVERRIDE	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	VCHG 検出によるクランプ値を超えるように VCHG レジスタを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化
6	CELL_PIN_OVERRIDE	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	ホストによる CELL_PIN レジスタへの書き込みを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化
5:3	VCHG_PIN	R	0x0	VCHG_PIN_OVERRIDE を使用して、VCHG ピンによって検出された値を上回るよう VREG をプログラムします	VCHG ピンの検出結果: 000b = フォルト 001b = 3.5V/セル 010b = 3.6V/セル 011b = 4V/セル 100b = 4.1V/セル 101b = 4.2V/セル 110b = 4.3V/セル 111b = 4.35V/セル
2:0	CELL_PIN	R/W	0x0	VREG レギュレーション ターゲットを変更する前このレジスタを変更する必要があります	CELL ピンの検出結果: 000b = フォルト 001b = 1s 010b = 2s 011b = 3s 100b = 4s 101b = 5s 110b = 6s 111b = 7s

6.5.1.20 REG0x1C_Pin_Detection_Status_2 レジスタ (アドレス = 0x1C) [リセット = 0x00]

REG0x1C_Pin_Detection_Status_2 を表 6-31 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-31. REG0x1C_Pin_Detection_Status_2 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:4	予約済み	R	0x0		予約済み
3	ICHG_PIN_OVERRIDE	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET ウォッチドッグ	ICHG_PIN 検出によるクランプ値を超えるように ICHG レジスタを有効化: 0b = 無効化 1b = 有効化
2:0	ICHG_PIN	R	0x0	ICHG_PIN_OVERRIDE を使用して、ICHG ピンによって検出された値を上回るように ICHG をプログラムします	ICHG ピン検出による ICHG レジスタのクランプ: 000b = フォルト 001b = 0.1A 010b = 0.5A 011b = 1A 100b = 1.5A 101b = 2A 110b = 2.5A 111b = 3.3A

6.5.1.21 REG0x1D_Charger_Status_1 レジスタ (アドレス = 0x1D) [リセット = 0x08]

REG0x1D_Charger_Status_1 を表 6-32 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-32. REG0x1D_Charger_Status_1 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	PG_STAT	R	0x0		入力パワー グッドステータス: 0b = パワー グッドではない 1b = パワー グッド
6	IINDPM_STAT	R	0x0		順方向モードでの入力電流レギュレーション ステータス または逆方向モードでのバッテリ電流レギュレーション ステータス: 0b = 通常 1b = デバイスは電流レギュレーション
5	VINDPM_STAT	R	0x0		入力電圧レギュレーション ステータス (順方向モード): 0b = 通常 1b = デバイスは入力電圧レギュレーション
4	TREG_STAT	R	0x0		IC サーマル レギュレーション ステータス (順方向または逆方向モード): 0b = 通常 1b = デバイスはサーマル レギュレーション
3	WD_STAT	R	0x1		I2C ウォッチドッグ タイマ ステータス: 0b = 通常 1b = WD タイマは期限切れ

表 6-32. REG0x1D_Charger_Status_1 レジスタのフィールドの説明 (続き)

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
2:0	CHARGE_STAT	R	0x0		充電サイクル ステータス: 000b = 充電なし 001b = トリクル充電 (VBAT < VBAT_SHORT) 010b = 充電前 (VBAT < VBAT_LOWV) 011b = 高速充電 (CC モード) 100b = テーパー充電 (CV モード) 101b = 予約済み 110b = トップオフ タイマ充電 111b = 充電終了完了

6.5.1.22 REG0x1E_Charger_Status_2 レジスタ (アドレス = 0x1E) [リセット = 0x00]

REG0x1E_Charger_Status_2 を表 6-33 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-33. REG0x1E_Charger_Status_2 レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	予約済み	R	0x0		予約済み
6:5	ICO_STAT	R	0x0		入力電流オプティマイザ (ICO) ステータス: 00b = ICO ディスエーブル 01b = ICO 最適化中 10b = 最大入力電流を検出済み 11b = ICO ルーチンは一時停止
4:3	REV_STAT	R	0x0		逆方向モード ステータス: 00b = 逆方向モード ディスエーブル 01b = 逆方向モード CV 10b = 逆方向モード CC 11b = 逆方向モード フォルト
2:0	TS_STAT	R	0x0		TS (バッテリ NTC) ステータス: 000b = 通常 001b = TS コールド (順方向または逆方向モード) 010b = TS ホット (順方向または逆方向モード) 011b = TS クール (順方向モード) 100b = TS ウオーム (順方向モード)

6.5.1.23 REG0x1F_FAULT_Status レジスタ (アドレス = 0x1F) [リセット = 0x00]

REG0x1F_FAULT_Status を表 6-34 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-34. REG0x1F_FAULT_Status レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	VIN_OVP_STAT	R	0x0		VIN 過電圧ステータス: 0b = 通常 1b = デバイスは入力過電圧保護
6:5	BAT_FAULT_STAT	R	0x0		バッテリ フォルト ステータス: 00b = 通常 01b = バッテリ欠如 10b = 過電圧バッテリを検出済み 11b = デッドバッテリを検出済み

表 6-34. REG0x1F_FAULT_Status レジスタのフィールドの説明 (続き)

ピット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
4	CHG_TMR_STAT	R	0x0		充電安全タイマ ステータス: 0b = 通常 1b = 充電安全タイマは期限切れ
3	CV_TMR_STAT	R	0x0		CV タイマ ステータス: 0b = 通常 1b = CV タイマが期限切れ
2	TSHUT_STAT	R	0x0		IC 温度シャットダウン ステータス: 0b = 通常 1b = デバイスはサーマル シャットダウン保護中
1:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.24 REG0x20_Charger_Flag レジスタ (アドレス = 0x20) [リセット = 0x08]

REG0x20_Charger_Flag を表 6-35 に示します。

概略表に戻ります。

表 6-35. REG0x20_Charger_Flag レジスタのフィールドの説明

ピット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	PG_FLAG	R	0x0		入力パワー グッド フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = PG ステータスが変化
6	IINDPM_FLAG	R	0x0		順方向モードでの入力電流レギュレーション フラグ または逆方向モードでのバッテリ電流レギュレーション フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = デバイスが電流レギュレーションに移行
5	VINDPM_FLAG	R	0x0		入力電圧レギュレーション フラグ (順方向モード): アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = デバイスが入力電圧レギュレーションに移行
4	TREG_FLAG	R	0x0		IC サーマル レギュレーション フラグ (順方向または逆方向モード): アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = デバイスがサーマル レギュレーションに移行
3	WD_FLAG	R	0x1		I2C オッヂドッグ タイマ フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = WD タイマ信号の立ち上がりエッジを検出済み
2	ICO_FLAG	R	0x0		入力電流オプティマイザ (ICO) フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = ICO_STAT が変化 (任意の状態への遷移)
1	TS_FLAG	R	0x0		TS (バッテリ NTC) フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = TS_STAT が変化 (任意の状態への遷移)

表 6-35. REG0x20_Charger_Flag レジスタのフィールドの説明 (続き)

ピット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
0	CHARGE_FLAG	R	0x0		充電サイクル フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = CHARGE_STAT が変化 (任意の状態への遷移)

6.5.1.25 REG0x21_FAULT_Flag レジスタ (アドレス = 0x21) [リセット = 0x00]

REG0x21_FAULT_Flag を表 6-36 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-36. REG0x21_FAULT_Flag レジスタのフィールドの説明

ピット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	VIN_OVP_FLAG	R	0x0		VIN 過電圧フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = VIN OVP に移行
6	BAT_FAULT_FLAG	R	0x0		バッテリ フォルト フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = BAT_FAULT_STAT が変化 (任意の状態への遷移)
5	CHG_TMR_FLAG	R	0x0	高速充電とプリチャージの両方の安全タイマに適用されます	充電安全タイマ フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = 充電安全タイマの立ち上がりエッジが検出
4	CV_TMR_FLAG	R	0x0		CV タイマ フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = CV タイマの立ち上がりエッジが検出
3	TSHUT_FLAG	R	0x0		IC サーマル シャットダウン フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = サーマル シャットダウン保護に移行
2	BYPASS_FLAG	R	0x0		バイパス モード フォルト フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = フォルトによりバイパス終了
1	予約済み	R	0x0		予約済み
0	REV_FLAG	R	0x0		逆方向モード フラグ: アクセス権:R (ClearOnRead) 0b = 通常 1b = REV_STAT が変化 (任意の状態への遷移)

6.5.1.26 REG0x22_Charger_Mask レジスタ (アドレス = 0x22) [リセット = 0x00]

REG0x22_Charger_Mask を表 6-37 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-37. REG0x22_Charger_Mask レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	PG_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	入力パワー グッド マスク: 0b = PG トグルで INT パルスが生成される 1b = PG トグルで INT パルスが生成されない
6	IINDPM_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	順方向モードでの入力電流レギュレーション マスク または逆方向モードでのバッテリ電流レギュレーション マスク: 0b = 電流レギュレーションに移行するトグルで INT が生成される 1b = 電流レギュレーションに移行するトグルで INT が生成されない
5	VINDPM_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	入力電圧レギュレーション マスク (順方向モード): 0b = 入力電圧レギュレーションに移行するトグルで INT が生成される 1b = 入力電圧レギュレーションに移行するトグルで INT が生成されない
4	TREG_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	IC サーマル レギュレーション マスク (順方向または逆方向モード): 0b = TREG に移行すると INT が生成される 1b = TREG に移行しても INT が生成されない
3	WD_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	I2C ウオッチドッグ タイマ マスク: 0b = WD の満了により INT が生成される 1b = WD の満了により INT が生成されない
2	ICO_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	入力電流オプティマイザ (ICO) マスク: 0b = ICO_STAT の変化により INT が生成される 1b = ICO_STAT の変化により INT が生成されない
1	TS_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	TS (バッテリ NTC) マスク: 0b = TS_STAT の変化により INT が生成される 1b = TS_STAT の変化により INT が生成されない
0	CHARGE_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	充電サイクル マスク: 0b = CHARGE_STAT の変化により INT が生成される 1b = CHARGE_STAT の変化により INT が生成されない

6.5.1.27 REG0x23_FAULT_Mask レジスタ (アドレス = 0x23) [リセット = 0x00]

REG0x23_FAULT_Mask を表 6-38 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-38. REG0x23_FAULT_Mask レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7	VIN_OVP_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	VIN 過電圧 マスク: 0b = 入力過電圧により INT が生成される 1b = 入力過電圧により INT が生成されない
6	BAT_FAULT_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	バッテリ フォルト マスク: 0b = BAT_FAULT_STAT により INT が生成される 1b = BAT_FAULT_STAT により INT が生成されない

表 6-38. REG0x23_FAULT_Mask レジスタのフィールドの説明 (続き)

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
5	CHG_TMR_MASK	R/W	0x0	高速充電とプリチャージの両方の安全タイマに適用されます リセット方法: REG_RESET	充電安全タイマ マスク: 0b = 充電タイマの満了により INT が生成される 1b = 充電タイマの満了により INT が生成されない
4	CV_TMR_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	CV タイマ マスク: 0b = CV タイマの満了により INT が生成される 1b = CV タイマの満了により INT が生成されない
3	TSHUT_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	IC サーマル シャットダウン マスク: 0b = TSHUT に移行すると INT が生成される 1b = TSHUT に移行しても INT が生成されない
2	BYPASS_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	バイパス モード フォルト マスク: 0b = BYPASS_FLAG により INT が生成される 1b = BYPASS_FLAG により INT が生成されない
1	予約済み	R	0x0		予約済み
0	REV_MASK	R/W	0x0	リセット方法: REG_RESET	逆方向モード マスク: 0b = REV_STAT の変化により INT が生成される 1b = REV_STAT の変化により INT が生成されない

6.5.1.28 REG0x24_ICO_Current_Limit レジスタ (アドレス = 0x24) [リセット = 0xA50]

REG0x24_ICO_Current_Limit を表 6-39 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-39. REG0x24_ICO_Current_Limit レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
15:12	予約済み	R	0x0		予約済み
11:4	ICO_IINDPM	R	0xA5	この 16 ビットレジスタは、リトル エンディアンの規則に従います	ICO イネーブル時の入力電流制限の最適化: POR:3300mA (A5h) 範囲:0mA-3300mA (0h-A5h) クランプ High ビットステップ:20mA
3:0	予約済み	R	0x0		予約済み

6.5.1.29 REG0x26_Part_Information レジスタ (アドレス = 0x26) [リセット = 0x11]

REG0x26_Part_Information を表 6-40 に示します。

[概略表](#)に戻ります。

表 6-40. REG0x26_Part_Information レジスタのフィールドの説明

ビット	フィールド	タイプ	リセット	注	説明
7:6	予約済み	R	0x0		予約済み
5:2	PN	R	0x4		デバイス型番
1:0	DEV_REV	R	0x1		デバイスリビジョン

7 アプリケーションと実装

注

以下のアプリケーション情報は、TI の製品仕様に含まれるものではなく、TI ではその正確性または完全性を保証いたしません。個々の目的に対する製品の適合性については、お客様の責任で判断していただくことになります。お客様は自身の設計実装を検証しテストすることで、システムの機能を確認する必要があります。

7.1 アプリケーション情報

代表的なアプリケーションは、I²C ホストやソフトウェアと組み合わせて、マルチセルのリチウムイオン / リチウム ポリマ バッテリを充電するデバイスで構成されます。NiMH など他のバッテリ化学系の充電も可能ですが、ホスト ソフトウェアでリチウム バッテリを基準としたデフォルトの制御および終了設定を変更する必要があります。充電器には、昇降圧コンバータ用のスイッチング MOSFET (Q₁~Q₄) が内蔵されています。このデバイスは、入力電流および充電電流検出回路に外付け検出抵抗を使用します。

順方向 (充電またはシンク) または逆方向 (OTG またはソース) のいずれかのモードでは、コンバータは入力電圧 (V_{IN}) が出力電圧 (V_{OUT}) を上回っている場合、降圧モードで動作し、入力電圧が出力電圧に近い場合は昇圧モードで動作します。連続導通モード (CCM) のとき、大きい出力電流 (I_{OUT}) 時、コンバータの平均 (DC) インダクタ電流は降圧モードでのコンバータ出力電流または昇圧モードでの入力電流と等しくなります。データシートの効率曲線から得られた効率推定値を使用して、式 5 に示すパワー バランスを使用して昇圧モードに必要な入力電流 (I_{IN}) を計算し、アダプタ電圧と IINDPM 設定が、目的の充電電流とシステム負荷に対して十分に高いことを確認します。

$$\eta = \frac{V_{OUT} \times I_{OUT}}{V_{IN} \times I_{IN}} \quad (5)$$

設計例の式は、以下に示す一般的なコンバータ変数を使用しています。

表 7-1. 順方向 / 充電 / シンク、逆方向 / OTG / ソース コンバータ動作の式変数

方程式変数	順方向動作	逆方向動作
V_{IN}	最小または最大 V (アダプタまたは USB) 電圧	V での最小または最大バッテリ電圧 (SRN)
I_{IN}	上記の式から求めた入力電流の推定値は、ADAPTER、USB、または IINDPM で許可される最小電流以下である必要があります	上記の式から求めた入力電流の推定値は、パック プロテクタの最大放電電流または IBAT_REV 制限値のいずれか小さい方よりも小さくなければなりません
V_{OUT}	V_{REG} に基づくバッテリ レギュレーション電圧	V_{IN_REV} に基づく入力レギュレーション電圧
I_{OUT}	最大バッテリ充電電流 $ICHG$ + 最大システム負荷電流 $ISYS$	最大逆電流 < I_{IN_REV}

7.2 代表的なアプリケーション設計例

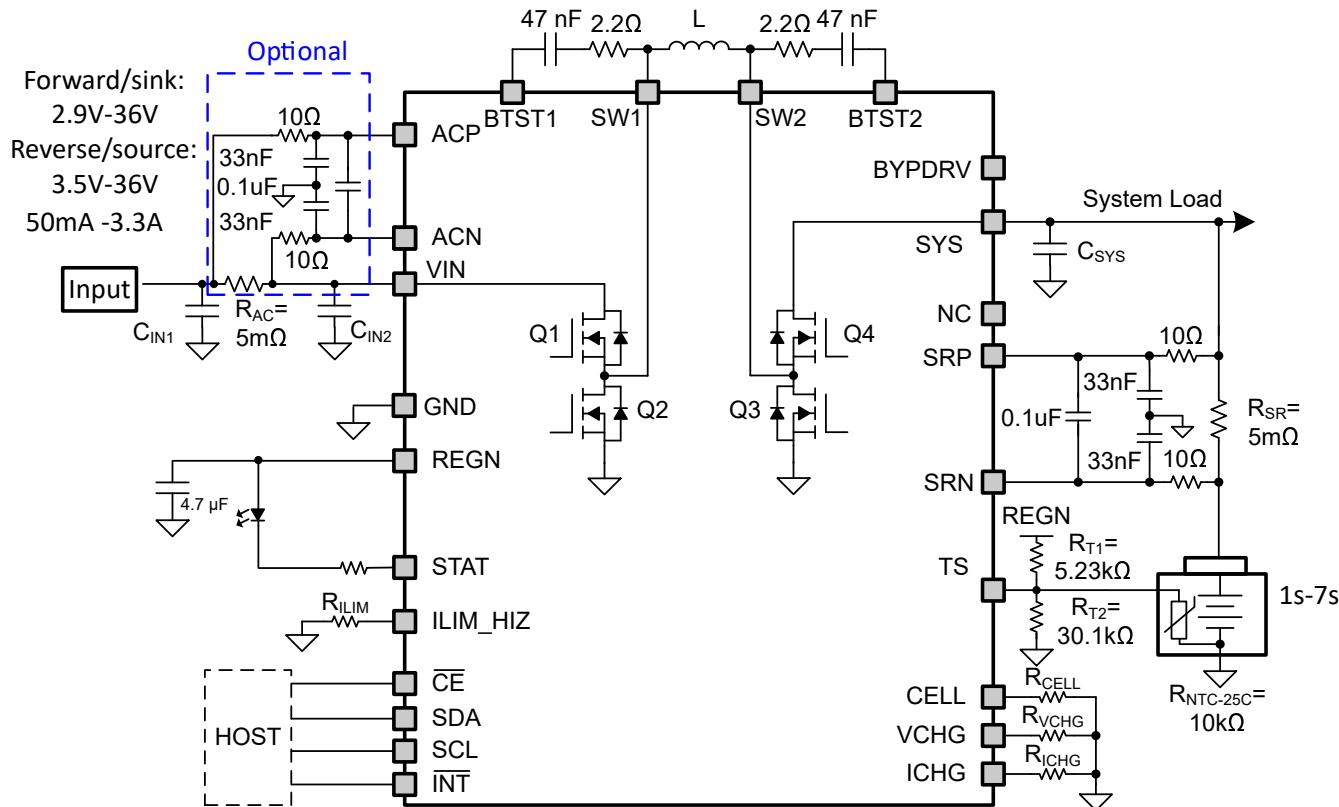


図 7-1. BQ25692 代表的なアプリケーションの図

表 7-2. BQ25692 設計例 1 の BOM

回路図部品または I ² C 設定	値	備考
f _{SW}	450kHz (デフォルト)	REG0x16[4:0]
L	10μH	
C _{IN1} + C _{IN2}	10x 4.7μF	必須: 4x C _{IN1} > C _{IN2}
C _{SYS}	6x 4.7μF	
R _{ILIM}	2.2kΩ	1.5A デフォルト
R _{CELL}	6.04kΩ	2S デフォルト
R _{VCHG}	14.0kΩ	4.2/セルのデフォルト
R _{ICHG}	8.25kΩ	1A デフォルト

- 簡略化のため図示していませんが、VIN ピンおよび SYS ピンには 0.1μF のノイズ フィルタ用コンデンサが必要です
- 特にラインまたは負荷過渡時に、長いラインインダクタンスの影響を軽減するために、C_{IN} または C_{SYS} を追加する必要がある場合があります

7.2.1 設計要件

表 7-3. 設計例 1 のパラメータ

パラメータ	値	備考
VIN 電圧範囲	5V ~ 20V	
入力電流制限 (REG0x06 の IINDPM)	3.0A	

表 7-3. 設計例 1 のパラメータ (続き)

パラメータ	値	備考
高速充電電流制限値 (REG0x02 の ICHG)	3.3A	昇圧モード時は入力電流制限によってクランプされます
ICHG (ISYS) を除く最大システム負荷電流	1A	
バッテリ レギュレーション電圧 (REG0x04 の VREG)	8.4V	
逆方向モード電圧 (REG0x0C の VIN_REV)	5V	
逆方向モードの最小バッテリ放電電圧	6V	$V_{BAT_OKZ} = 2.5V$ を上回る必要があります
逆方向モードの最大バッテリ放電電流	3A	REG0x12 の IBAT_REV によってクランプされます
逆方向モード入力電流制限	3.3A	REG0x0A の IIN_REV でクランプされます

7.2.2 詳細な設計手順

7.2.2.1 インダクタの選択

充電器の DC/DC コンバータはスイッチング周波数を調整可能です。小信号の安定性を確保するために、以下のスイッチング周波数範囲内でインダクタンスを選択してください。

表 7-4. スイッチング周波数ごとのインダクタの選択

スイッチング周波数 (kHz)	インダクタンス - L (μ H)
450 ~ 500	6.8 ~ 15
550 ~ 700	4.7~10
1200	2.2 ~ 4.7

EMI を低減するために、シールド型インダクタを強く推奨します。インダクタ飽和電流 (I_{SAT}) は、昇圧モードでは入力電流 (I_{IN}) の大きいほうの値、または降圧モードでは出力電流 (I_{OUT}) にインダクタ リップル電流 (I_{RIPPLE}) の半分を加えた値よりも 20% 以上大きくすることを推奨します。

$$I_{SAT} \geq MAX\left[\left(I_{IN} + \frac{I_{RIPPLE}}{2}\right), \left(I_{OUT} + \frac{I_{RIPPLE}}{2}\right)\right] \quad (6)$$

RIPPLE は以下に依存:

- V_{IN}
- V_{OUT}
- スイッチング周波数 (f_{SW})
- インダクタンス (L)

降圧モードおよび昇圧モードのインダクタ電流リップルは以下のように計算します。

$$I_{RIPPLE_BUCK} \geq \frac{V_{OUT} \times (V_{IN} - V_{OUT})}{V_{IN} \times f_{SW} \times L} \quad (7)$$

$$I_{RIPPLE_BOOST} \geq \frac{V_{IN} \times (V_{OUT} - V_{IN})}{V_{OUT} \times f_{SW} \times L} \quad (8)$$

7.2.2.2 コンデンサ

デカップリング用コンデンサには、X7R や X5R などの低 ESR セラミック コンデンサを使用することが推奨されます。これらはコンバータの VIN、SYS または SRN ピンおよび GND ピンの近くに配置します。温度や印加電圧によるセラミック コンデンサの容量低下を考慮し、選定するセラミック コンデンサの定格電圧は、通常の入力電圧レベルよりも高くする必要があります。たとえば、最大 24V の入力電圧を得るには、35V 以上の電圧定格のコンデンサが推奨されます。ESR が 50m Ω 未満であれば、セラミック以外のコンデンサも使用できます。 $C_{VIN_ACP} + C_{VIN_ACP}$ の合計は、デレーティング後で

少なくとも $10\mu F$ 以上である必要があります。また、 C_{VIN_ACN} は C_{VIN_ACP} の 4 倍未満でなければなりません。 $1S \sim 2S$ アプリケーションの場合、 C_{SYS} は $15\mu F$ 以上必要です。 $3S \sim 7S$ アプリケーションの場合、ディレーティング後に C_{SYS} が少なくとも $8\mu F$ になる必要があります。 C_{BAT} (SRN ピンおよび GND ピンの近くでバッテリー パックと並列に接続されるバルク コンデンサ) は、デレーティング後で少なくとも $5\mu F$ 以上である必要があります。以下のセクションでは、目的の定常状態電圧リップルに対応するディレーティング静電容量値のサイズを決定する方法について説明します。電圧リップルは、降圧コンバータの入力および昇圧コンバータの出力に対して最も高くなります。負荷過渡の立ち上がり時や解放時には、昇圧、降圧、または昇降圧コンバータの出力における電圧のディップやオーバーシュートを低減するために、追加の容量が必要になる場合があります。

7.2.2.3 降圧モード入力 (V_{IN}) コンデンサ

降圧モード動作では、入力電流が断続的になるため、入力の RMS リップル電流および入力電圧リップルの主な要因となります。コンバータの入力コンデンサは、入力の AC 電流を吸収できる十分なリップル電流定格 (すなわち低 ESR) を備え、かつ入力電圧リップルを小さく保つのに十分な容量を持つ必要があります。降圧モード動作の場合、入力 RMS リップル電流と入力電圧リップルは次の式で計算できます。ここでは、 $D = V_{OUT}/V_{IN}$ です。

$$I_{CIN - BUCK} = I_{OUT} \times \sqrt{D \times (1 - D)} \quad (9)$$

$$\Delta V_{IN - BUCK} \geq \frac{D \times (1 - D) \times I_{OUT}}{C_{IN - BUCK} \times f_{SW}} \quad (10)$$

入力 RMS リップル電流および入力電圧リップルの最悪条件は、デューティサイクルが 0.5 のときに発生します。

7.2.2.4 昇圧モード出力 (V_{OUT}) コンデンサ

昇圧モードの動作では、出力電流は不連続になるため、出力 RMS のリップル電流と出力電圧リップルが支配的になります。出力コンデンサには、出力 AC 電流を吸収するのに十分なリップル電流定格 (すなわち、ESR が十分に低い) と、出力電圧リップルが小さく維持されるのに十分な容量が必要です。昇圧モード動作の場合、出力 RMS リップル電流と出力電圧リップルは次の式で計算できます。 $D = (1 - V_{IN}/V_{OUT})$ です。

$$I_{COUT - BOOST} = I_{OUT} \times \sqrt{\frac{D}{(1 - D)}} \quad (11)$$

$$\Delta V_{OUT - BOOST} \geq \frac{D \times I_{OUT}}{C_{OUT - BOOST} \times f_{SW}} \quad (12)$$

最悪の場合の出力 RMS リップル電流と出力電圧リップルは、両方ともコンバータの最小 V_{IN} 入力電圧で発生します。大きな高速負荷過渡には、追加の容量が必要となる場合があります。

7.2.3 アプリケーション曲線

$C_{VBUS} = 10 \times 4.7\mu F$, $C_{SYS} = 6 \times 4.7\mu F$, $C_{BAT} = 4 \times 4.7\mu F$, $L_1 = 10\mu H$ (SRP5050FA-100M), $F_{sw} = 450kHz$.

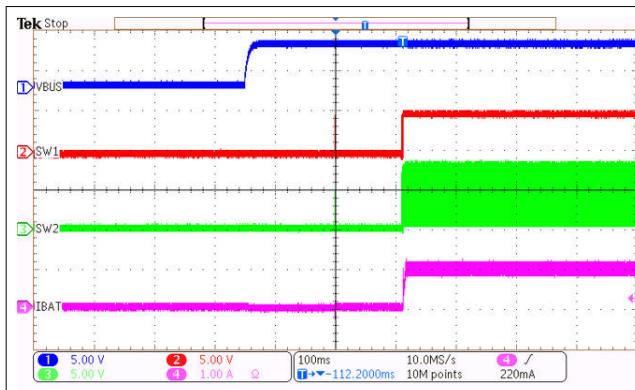


図 7-2. 充電が有効な状態でアダプタ プラグイン

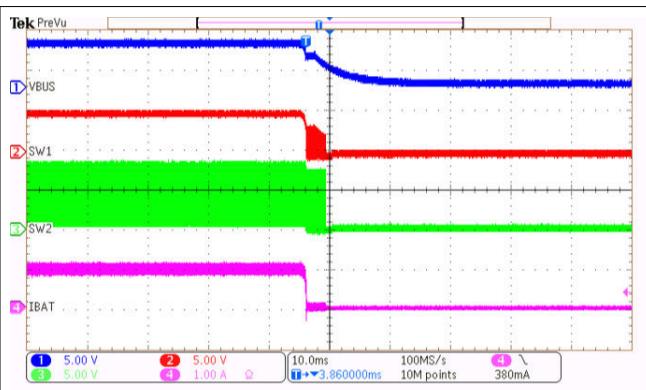


図 7-3. 充電が有効な状態でアダプタ プラグ解除

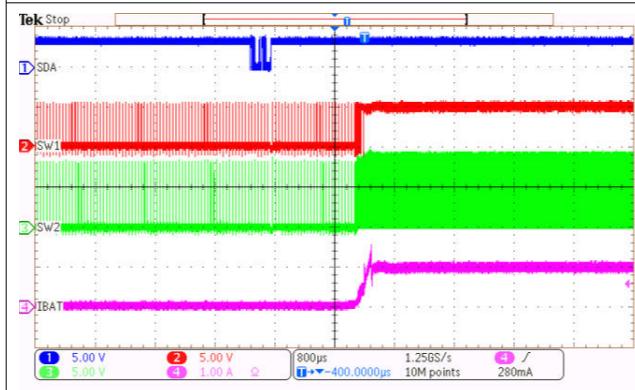


図 7-4. I²C で充電を有効化

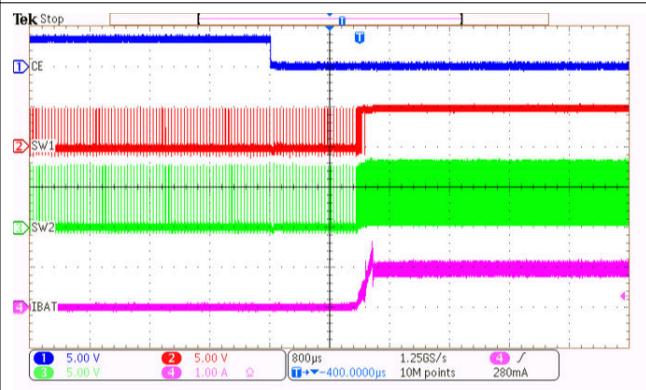


図 7-5. CE ピンで充電を有効化

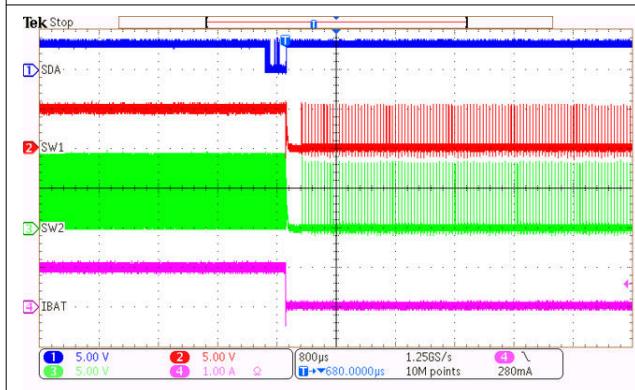


図 7-6. I²C で充電を無効化

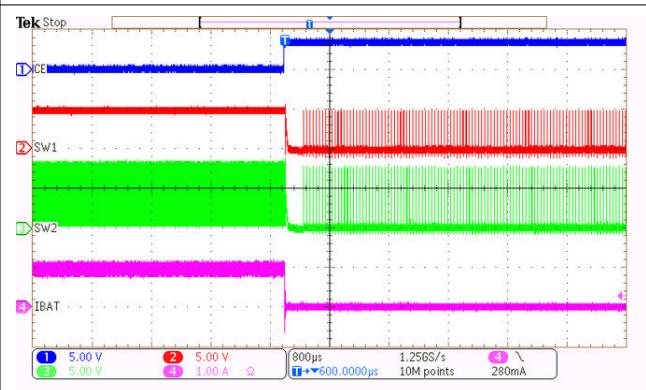
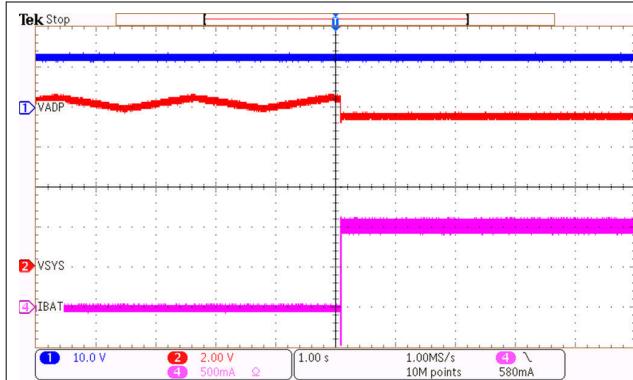
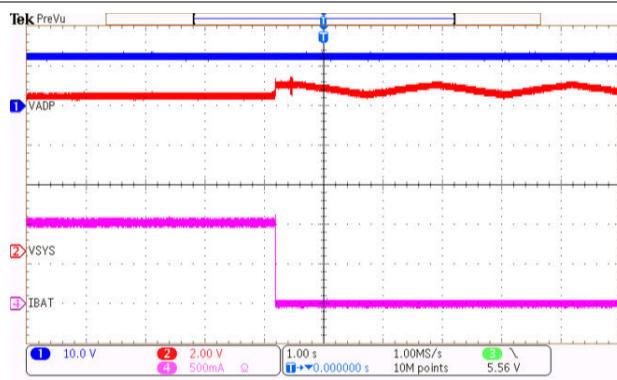
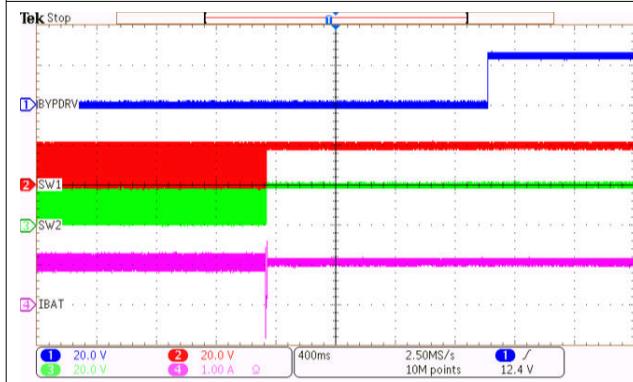
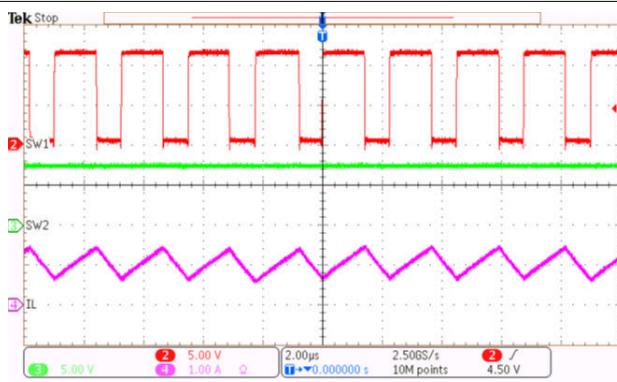
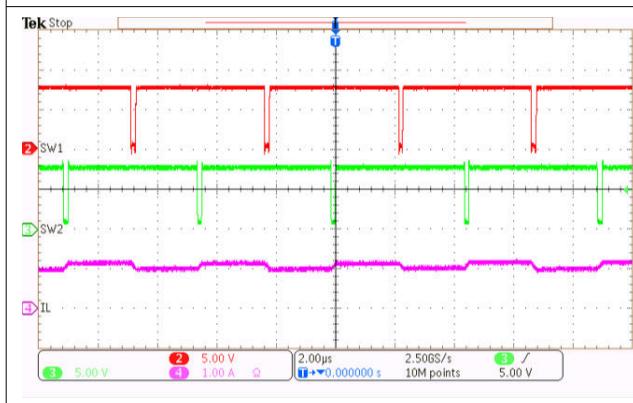
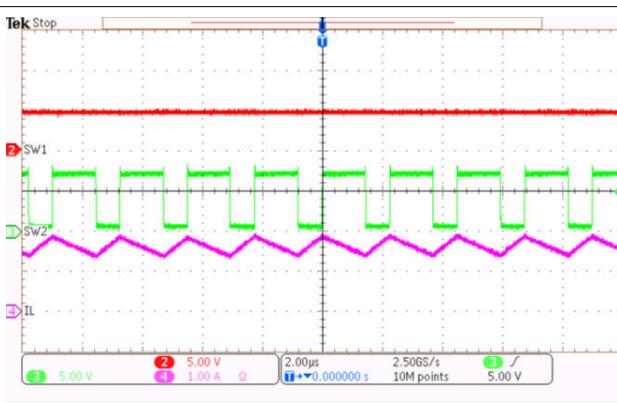
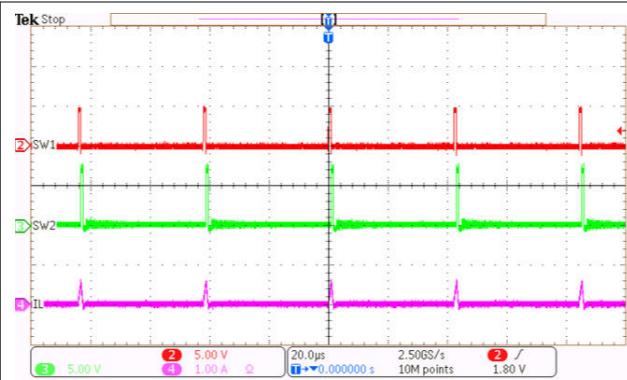


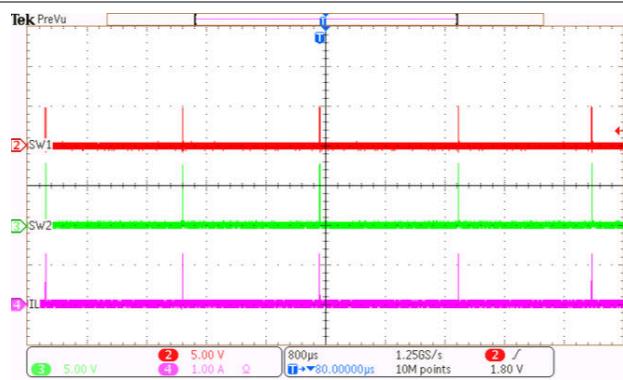
図 7-7. CE ピンで充電を無効化


図 7-8. バッテリ プラグイン検出

図 7-9. バッテリ プラグ解除検出

図 7-10. 昇降圧から内部バイパスへの外部バイパス遷移

図 7-11. 順方向降圧モード CCM

図 7-12. 順方向昇降圧モード CCM

図 7-13. 順方向昇圧モード CCM



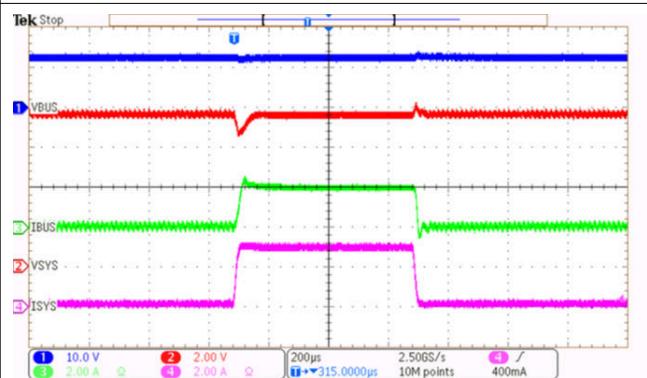
VBUS = 5V VBAT = 7.4V 無負荷

図 7-14. OOA での順方向昇圧モード PFM



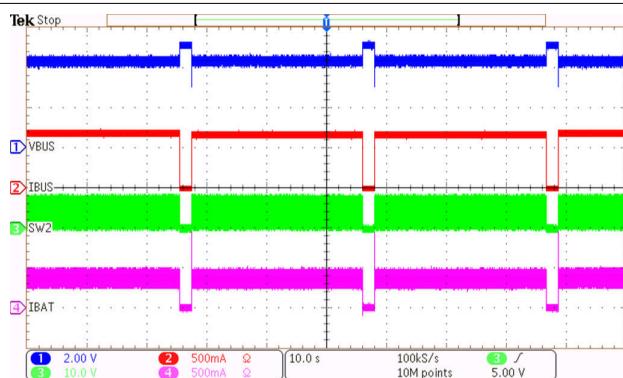
VBUS = 5V VBAT = 7.4V 無負荷

図 7-15. OOA なしでの順方向昇圧モード PFM



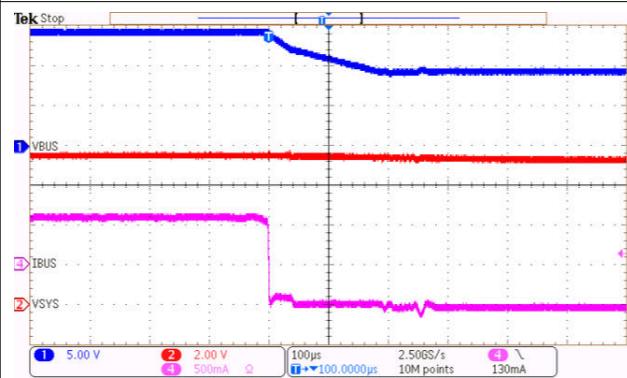
VBUS = 12V VBAT = 7.4V 充電ディスエーブル
I_{SYS} = 0.1A から 3A から 0.1A

図 7-16. 順方向モード I_{SYS} 過渡応答



VBUS = 5V VBAT = 7.4V ICHG = 1A
VOC_PCT = ~ VOC_DLY = 2s VOC_RATE = 30s
84%

図 7-17. 低 VIN での MPPT レギュレーション



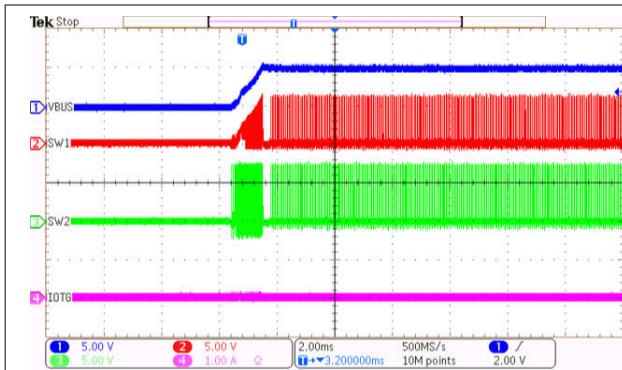
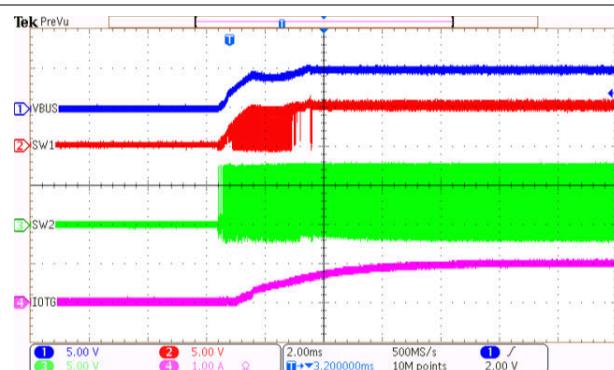
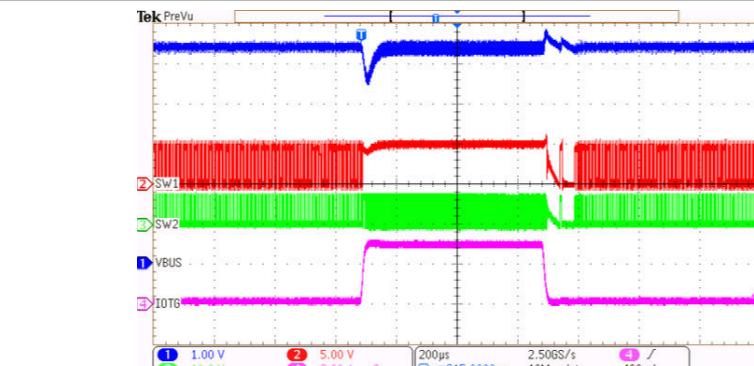
VBUS = 14V VBAT = 7.4V ICHG = 1A
VINDPM = 12V VIN_REV = 9V
VIN_BACKUP = 100% VINDPM

図 7-18. バックアップモード エントリ



VBUS = 14V VBAT = 7.4V ICHG = 1A
VINDPM = 12V VIN_REV = 9V
VIN_BACKUP = 100% VINDPM

図 7-19. バックアップモード終了


図 7-20. OTG 負荷なしで逆方向モードを有効化

図 7-21. 1A OTG 負荷で逆方向モードを有効化

図 7-22. 逆方向モード I_{OTG} 過渡応答

7.3 電源に関する推奨事項

SYS 端子に出力電圧を供給するためには、VBUS に 2.5V~36V の電源 (推奨電流定格 200mA 以上) を接続するか、または BAT に V_{BAT_OK} より高い電圧の 1~7 セルのリチウムイオン バッテリを接続する必要があります。充電器のコンバータが SYS に最大出力電力を供給できるようにするには、入力ソースの電流定格を少なくとも 3.3A とする必要があります。

7.4 レイアウト

7.4.1 レイアウトのガイドライン

スイッチング損失を最小限に抑えるため、スイッチング ノードの立ち上がり時間および立ち下がり時間はできるだけ短くする必要があります。スイッチング ノイズの結合、電界・磁界の放射、および高周波共振の問題を最小限に抑えるためには、(下図に示すように) 高周波電流経路ループを最小化するように部品を適切に配置することが重要です。以下に、優先順位の高い PCB レイアウトリストを示します。

1. SYS コンデンサは、ビアを用いて SYS ピンおよび GND ピンのできるだけ近くに配置します。0.1 μ F の小型コンデンサを 1 個と、バルク コンデンサのうち少なくとも 1 個を、他のコンデンサよりもピンに近い位置に配置します。これら 2 つのコンデンサの正端子および負端子は、ビアを介さずに IC と同じ層上で接続する必要があります。

2. VIN コンデンサは、VIN および GND にできるだけ近い位置に配置します。0.1 μ F の小型コンデンサを 1 個と、バルクコンデンサのうち少なくとも 1 個を、他のコンデンサよりもピンに近い位置に配置します。これら 2 つのコンデンサの正端子および負端子は、ビアを介さずに IC と同じ層上で接続する必要があります。
3. 1 つのインダクタ端子を SW1 に、もう 1 つの端子を SW2 に IC ピンのできるだけ近くに配置します。ルール 1 および 2 により、SWx の銅配線は IC の下を通してからビアでインダクタへ接続する必要があります。これらのパターンは、インダクタ電流を流すのに十分な幅があり、EMI を最小限に抑えるのに十分なサイズであることを確認します。これらのパターンによる寄生容量を最小化するために、隣接層のグランドプレーンや銅箔を切り欠くようにします。
4. 必要に応じて、ビアを使用して、REGN コンデンサを REGN ピンと GND ピンの近くに配置します。ブートストラップコンデンサは、必要に応じて、ビアを使用して BTSTx ピンと GND の近くに配置できます。
5. バッテリ用コンデンサは、SRN および GND の近くに配置します。
6. ACP、ACN、SRP、SRN、TS の配線およびフィルタコンデンサの GND は、SW1 や SW2 などのスイッチングノードから離して配線します。
7. 電力パッドの直下に、他の層の銅箔と接続するサーマルビアを少なくとも 3 個配置します。
8. ビアのサイズと数は、特定の電流パスに対して十分である必要があります。

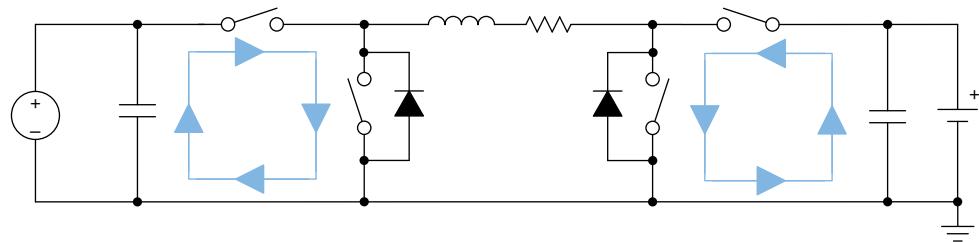


図 7-23. コンバータの高周波電流パス

7.4.2 レイアウト例

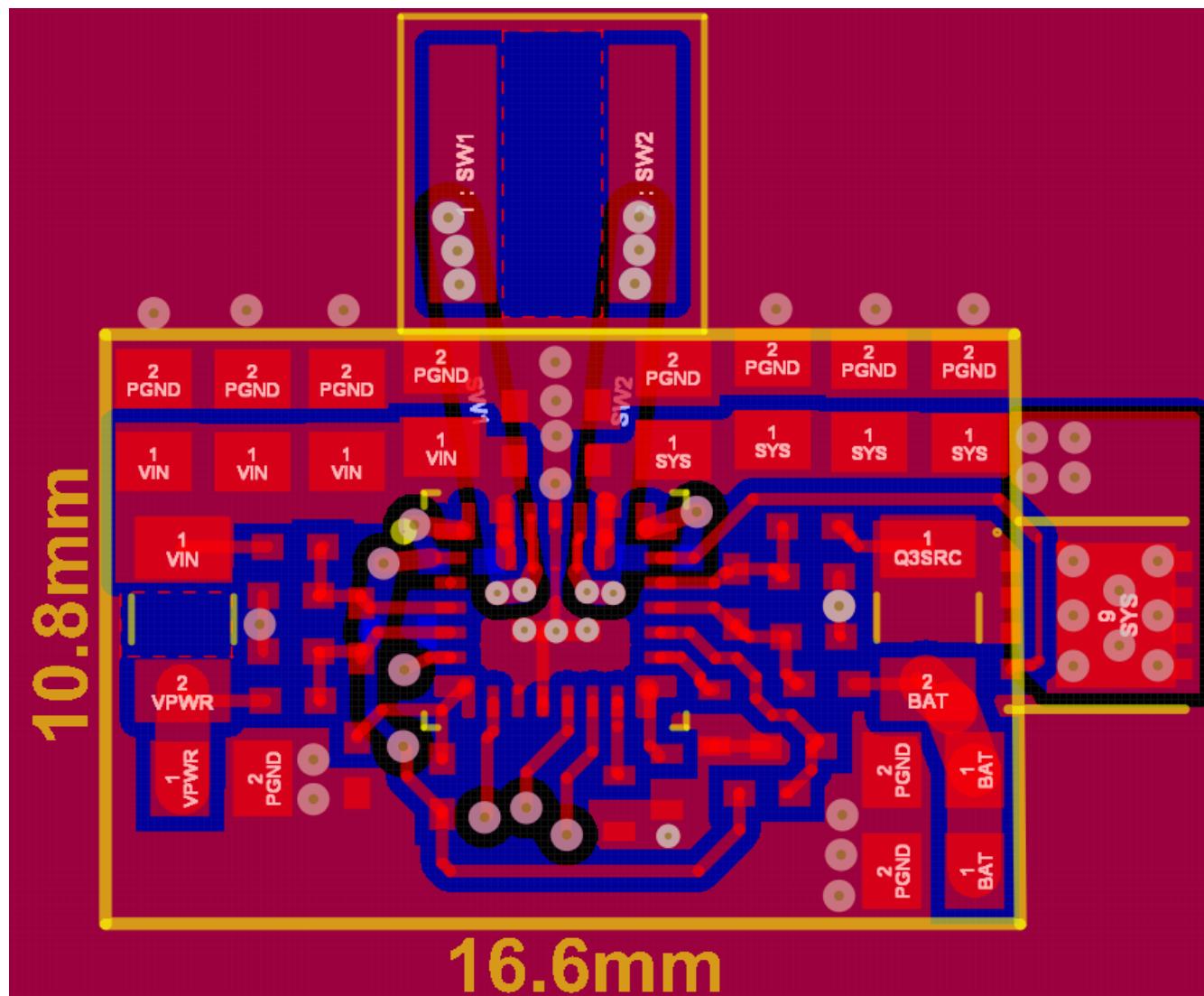


図 7-24. 2 層 PCB レイアウト例の最上層 - 赤はグランド

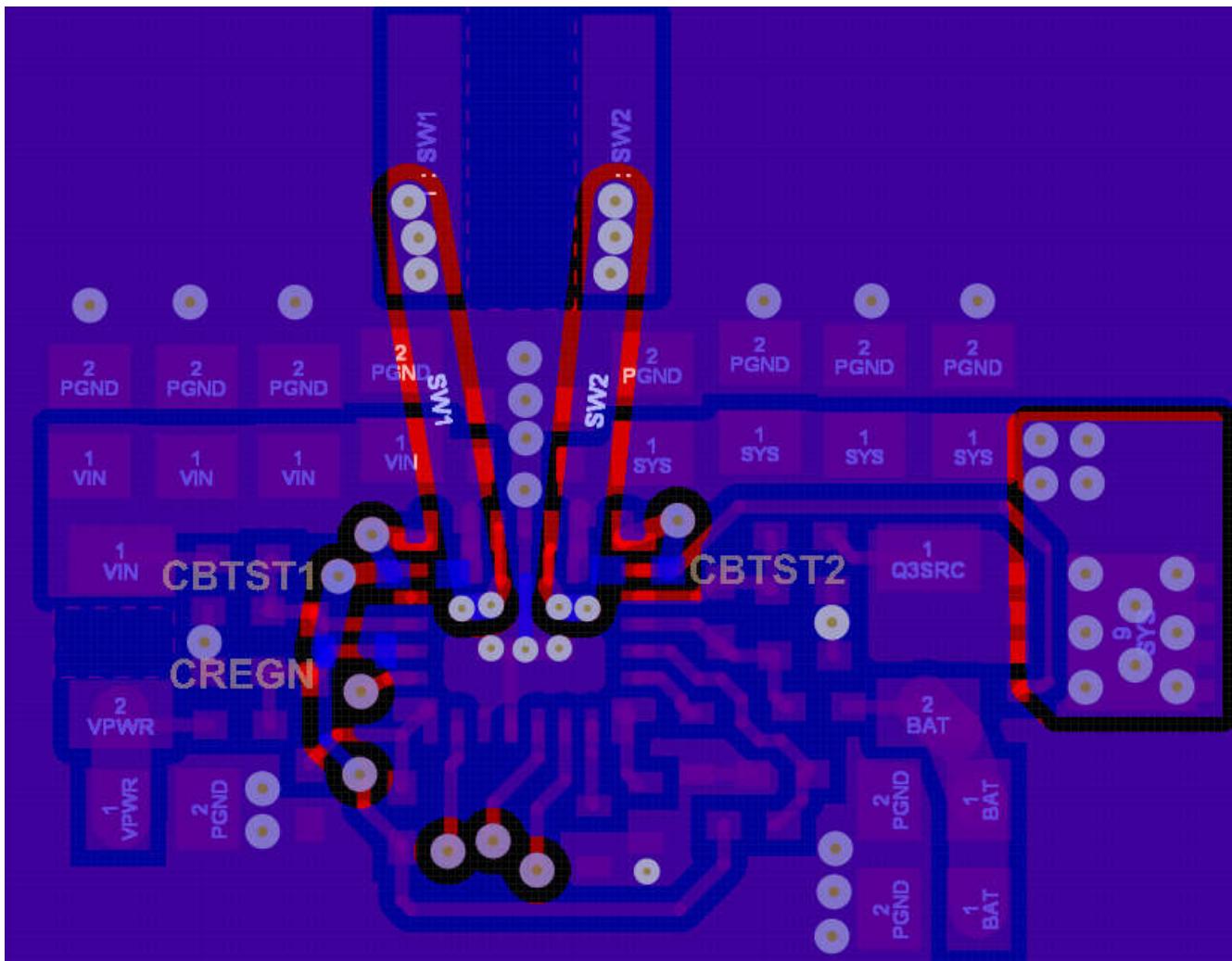


図 7-25. 2 層 PCB レイアウト例の最下層では、青/紫の部分が GND

図 7-24 は、2 層基板における外部部品の推奨配置および配線例を示しています。部品の優先順位付きリストについては、[レイアウトのガイドライン](#)を参照します。a

1. 最大の放熱性能を得るために、内部層の 1 層を GND とし、電源ピン用の銅箔やプレーンを重ねた 4 層基板を使用することが推奨されます。例として EVM のレイアウトを参照します。
2. 基板面積を最小限に抑えるために、インダクタを IC の最下層に配置できます。

8 デバイスおよびドキュメントのサポート

8.1 デバイス サポート

8.1.1 サード・パーティ製品に関する免責事項

サード・パーティ製品またはサービスに関するテキサス・インスツルメンツの出版物は、単独またはテキサス・インスツルメンツの製品、サービスと一緒に提供される場合に関係なく、サード・パーティ製品またはサービスの適合性に関する是認、サード・パーティ製品またはサービスの是認の表明を意味するものではありません。

8.2 ドキュメントの更新通知を受け取る方法

ドキュメントの更新についての通知を受け取るには、www.tij.co.jp のデバイス製品フォルダを開いてください。[通知] をクリックして登録すると、変更されたすべての製品情報に関するダイジェストを毎週受け取ることができます。変更の詳細については、改訂されたドキュメントに含まれている改訂履歴をご覧ください。

8.3 サポート・リソース

テキサス・インスツルメンツ E2E™ サポート・フォーラムは、エンジニアが検証済みの回答と設計に関するヒントをエキスパートから迅速かつ直接得ることができる場所です。既存の回答を検索したり、独自の質問をしたりすることで、設計で必要な支援を迅速に得ることができます。

リンクされているコンテンツは、各寄稿者により「現状のまま」提供されるものです。これらはテキサス・インスツルメンツの仕様を構成するものではなく、必ずしもテキサス・インスツルメンツの見解を反映したものではありません。テキサス・インスツルメンツの[使用条件](#)を参照してください。

8.4 商標

テキサス・インスツルメンツ E2E™ is a trademark of Texas Instruments.

すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

8.5 静電気放電に関する注意事項



この IC は、ESD によって破損する可能性があります。テキサス・インスツルメンツは、IC を取り扱う際には常に適切な注意を払うことを推奨します。正しい取り扱いおよび設置手順に従わない場合、デバイスを破損するおそれがあります。

ESD による破損は、わずかな性能低下からデバイスの完全な故障まで多岐にわたります。精密な IC の場合、パラメータがわずかに変化するだけで公表されている仕様から外れる可能性があるため、破損が発生しやすくなっています。

8.6 用語集

テキサス・インスツルメンツ用語集

この用語集には、用語や略語の一覧および定義が記載されています。

9 改訂履歴

資料番号末尾の英字は改訂を表しています。その改訂履歴は英語版に準じています。

日付	改訂	注
October 2025	*	初版リリース

10 メカニカル、パッケージ、および注文情報

以降のページには、メカニカル、パッケージ、および注文に関する情報が記載されています。この情報は、指定のデバイスに使用できる最新のデータです。このデータは、予告なく、このドキュメントを改訂せずに変更される場合があります。本データシートのブラウザ版を使用されている場合は、画面左側の説明をご覧ください。

10.1 付録：パッケージオプション

パッケージ情報

発注可能なデバイス	供給状況 ⁽¹⁾	パッケージタイプ	パッケージ図	ピン	パッケージの数量	エコ プラン ⁽²⁾	リード / ボール仕上げ ⁽⁶⁾	MSL ピーク温度 ⁽³⁾	動作温度 (°C)	デバイスマーキング ^{(4) (5)}
PQ25692QWR BARQ1	レビュー	WQFN-HR	RBA	26	3000	RoHS & グリーン	艶消しスズ、浸せきスズめっきサイドウォール	MSL1	-40~125	P69XQ1

- (1) マーケティング ステータスの値は次のように定義されています。

供給中:新しい設計への使用が推奨される量産デバイス。

最終受注中:TI はデバイスの生産終了を発表しており、現在最終受注期間中です。

非推奨品:新規設計には推奨しません。デバイスは既存の顧客をサポートするために生産されていますが、テキサス・インスツルメンツでは新規設計にこの部品を使用することを推奨していません。

量産開始前:量産されていない、市販されていない、またはウェブで発表されていない未発表デバイスで、サンプルは提供されていません。

レビュー:デバイスは発表済みですが、まだ生産は開始されていません。サンプルが提供される場合と提供されない場合があります。

生産中止品:TI は、このデバイスの生産を終了しました。

- (2) エコ プラン - 環境に配慮した計画的な分類:鉛フリー (RoHS)、鉛フリー (RoHS 適用除外)、またはグリーン (RoHS 準拠、Sb/Br 非含有) があります。最新情報、および製品内容の詳細については、<http://www.ti.com/productcontent> でご確認ください。

未定:鉛フリー / グリーン転換プランが策定されていません。

鉛フリー (RoHS):テキサス・インスツルメンツにおける「Lead-Free」または「Pb-Free」(鉛フリー) は、6 つの物質すべてに対して現在の RoHS 要件を満たしている半導体製品を意味します。これには、同種の材質内で鉛の重量が 0.1% を超えないという要件も含まれます。高温はんだに対応した テキサス・インスツルメンツ鉛フリー製品は、鉛フリー仕様プロセスでの使用に適しています。

鉛フリー (RoHS 適用除外):この部品は、1) ダイとパッケージとの間に鉛ベース フリップ チップのはんだシップ使用、または 2) ダイとリードフレームとの間に鉛ベースの接着剤を使用、のいずれかについて、RoHS が免除されています。この部品はそれ以外の点では、上記の定義の鉛フリー (RoHS 準拠) の条件を満たしています。

グリーン (RoHS および Sb/Br 非含有):テキサス・インスツルメンツにおける「グリーン」は、鉛フリー (RoHS 準拠) に加えて、臭素 (Br) およびアンチモン (Sb) をベースとした難燃材を含まない(均質な材質中の Br または Sb 重量が 0.1% を超えない)ことを意味しています。

- (3) MSL、ピーク温度-- JEDEC 業界標準分類に従った耐湿性レベル、およびピークはんだ温度です。

- (4) ロゴ、ロットトレースコード情報、または環境カテゴリに関する追加マークがデバイスに表示されることがあります。

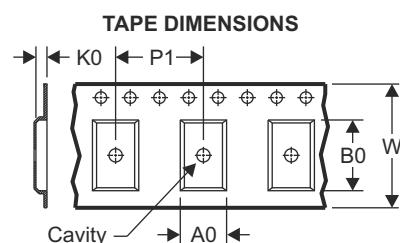
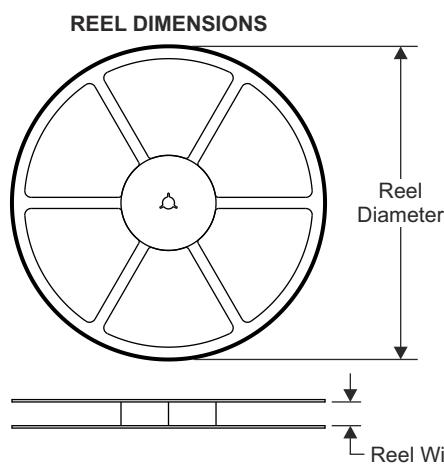
- (5) 複数のデバイスマーキングが、括弧書きされています。カッコ内に複数のデバイスマーキングがあり、「～」で区切られている場合、その中の 1 つだけがデバイスに表示されます。行がインデントされている場合は、前行の続きということです。2 行合わせたものが、そのデバイスのデバイスマーキング全体となります。

- (6) リード / ボール仕上げ - 発注可能なデバイスには、複数の材料仕上げオプションが用意されていることがあります。複数の仕上げオプションは、縦罫線で区切られています。リード / ボール仕上げの値が最大列幅に収まらない場合は、2 行にまたがります。

重要なお知らせと免責事項:このページに掲載されている情報は、発行日現在のテキサス・インスツルメンツの知識および見解を示すものです。テキサス・インスツルメンツの知識および見解は、第三者によって提供された情報に基づいており、そのような情報の正確性について何らの表明および保証も行うものではありません。第三者からの情報をより良く統合するための努力は続けております。テキサス・インスツルメンツでは、事実を適切に表す正確な情報を提供すべく妥当な手順を踏み、引き続きそれを継続してゆきますが、受け入れる部材および化学物質に対して破壊試験や化学分析は実行していない場合があります。テキサス・インスツルメンツおよび テキサス・インスツルメンツのサプライヤは、特定の情報を機密情報として扱っているため、CAS 番号やその他の制限された情報が公開されない場合があります。

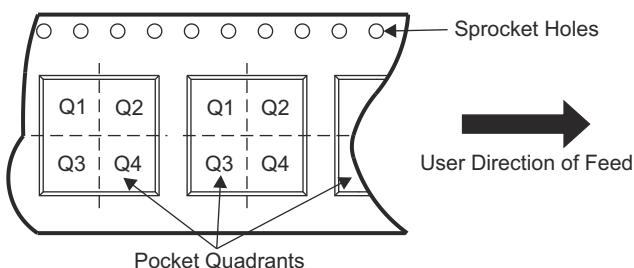
いかなる場合においても、そのような情報から生じた TI の責任は、このドキュメント発行時点での TI 製品の価格に基づく TI からお客様への合計購入価格 (年次ベース) を超えることはありません。

10.2 テープおよびリール情報



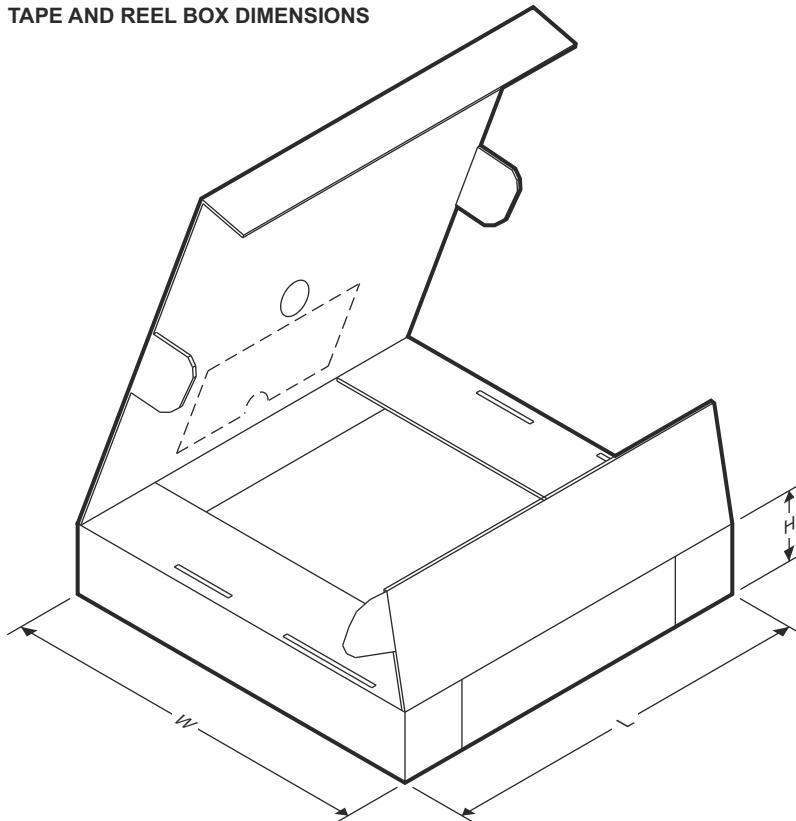
A0	Dimension designed to accommodate the component width
B0	Dimension designed to accommodate the component length
K0	Dimension designed to accommodate the component thickness
W	Overall width of the carrier tape
P1	Pitch between successive cavity centers

QUADRANT ASSIGNMENTS FOR PIN 1 ORIENTATION IN TAPE



デバイス	パッケージ タイプ	パッケージ 図	ピン	SPQ	リール 直径 (mm)	リール 幅 W1 (mm)	A0 (mm)	B0 (mm)	K0 (mm)	P1 (mm)	W (mm)	ピン 1 の 象限
PQ25692QWRBARQ1	WQFN-HR	RBA	26	3000	330	12.4	3.8	4.3	1.5	8.0	12.0	Q2

TAPE AND REEL BOX DIMENSIONS



デバイス	パッケージタイプ	パッケージ図	ピン	SPQ	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)
PQ25692QWRBARQ1	WQFN-HR	RBA	26	3000	367.0	367.0	35.0

ADVANCE INFORMATION

10.3 メカニカル データ

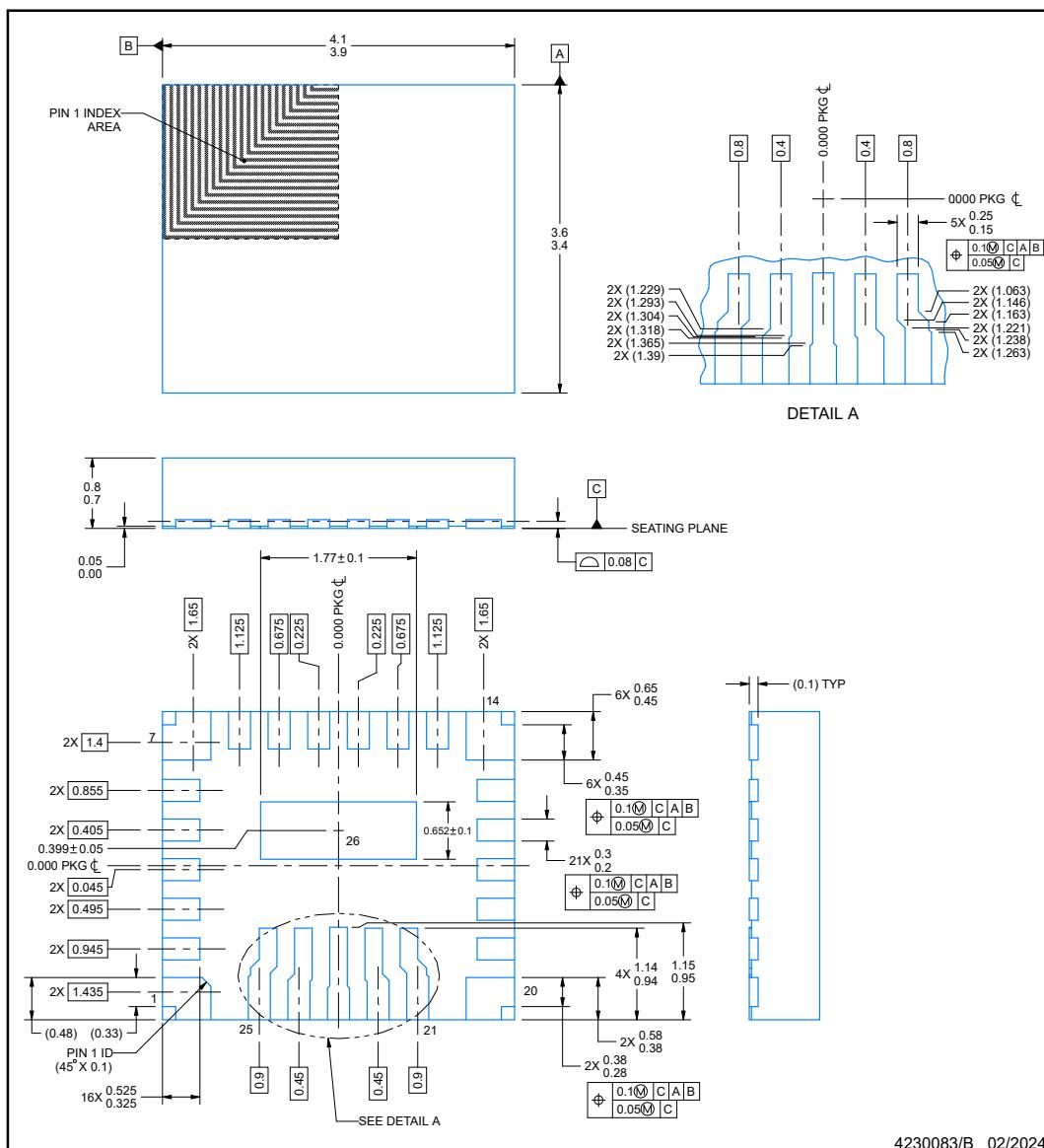


PACKAGE OUTLINE

RBA0026A

WQFN-HR - 0.8 mm max height

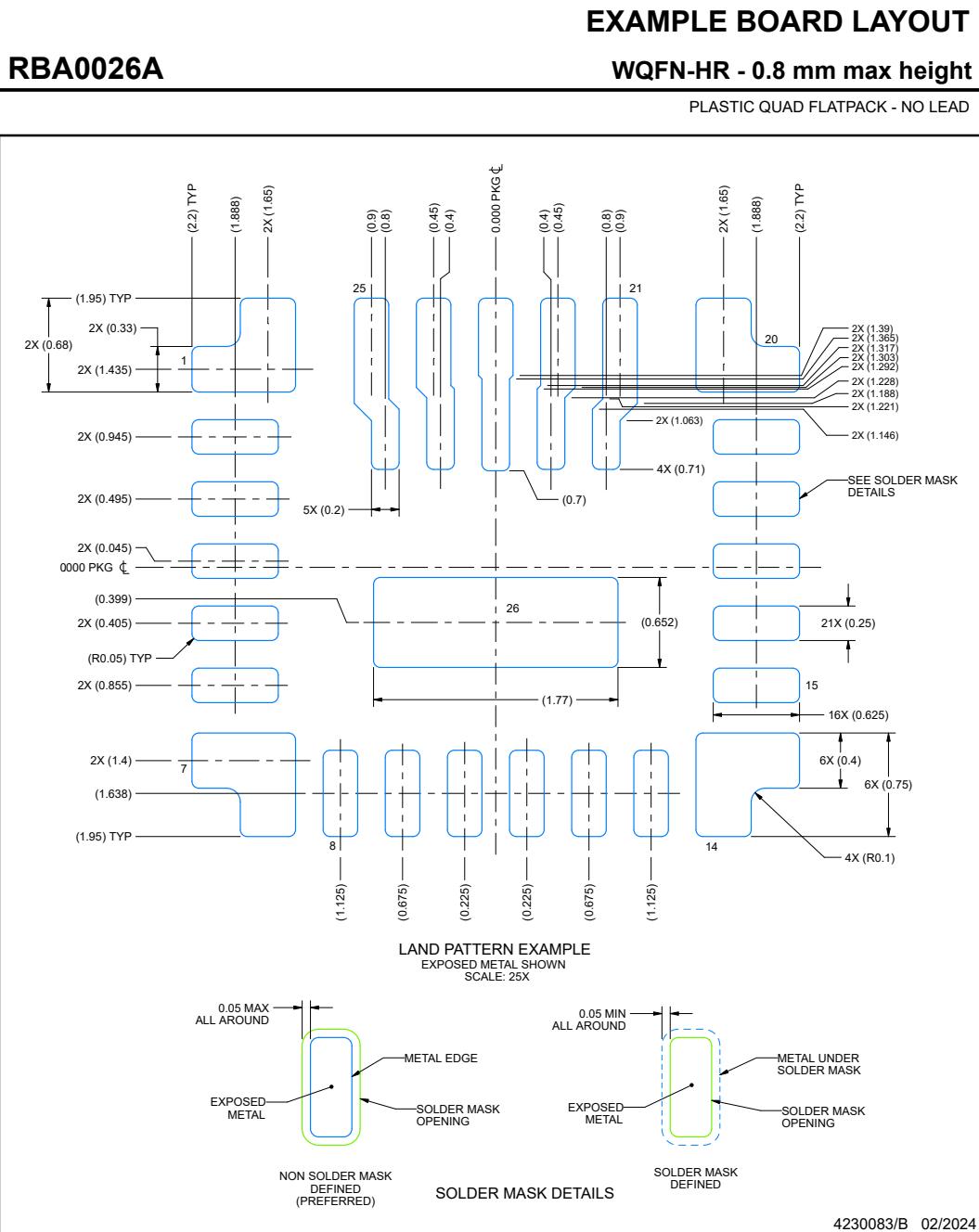
PLASTIC QUAD FLATPACK - NO LEAD



4230083/B 02/2024

NOTES:

1. All linear dimensions are in millimeters. Any dimensions in parenthesis are for reference only. Dimensioning and tolerancing per ASME Y14.5M.
 2. This drawing is subject to change without notice.
 3. The package thermal pad must be soldered to the printed circuit board for thermal and mechanical performance.



NOTES: (continued)

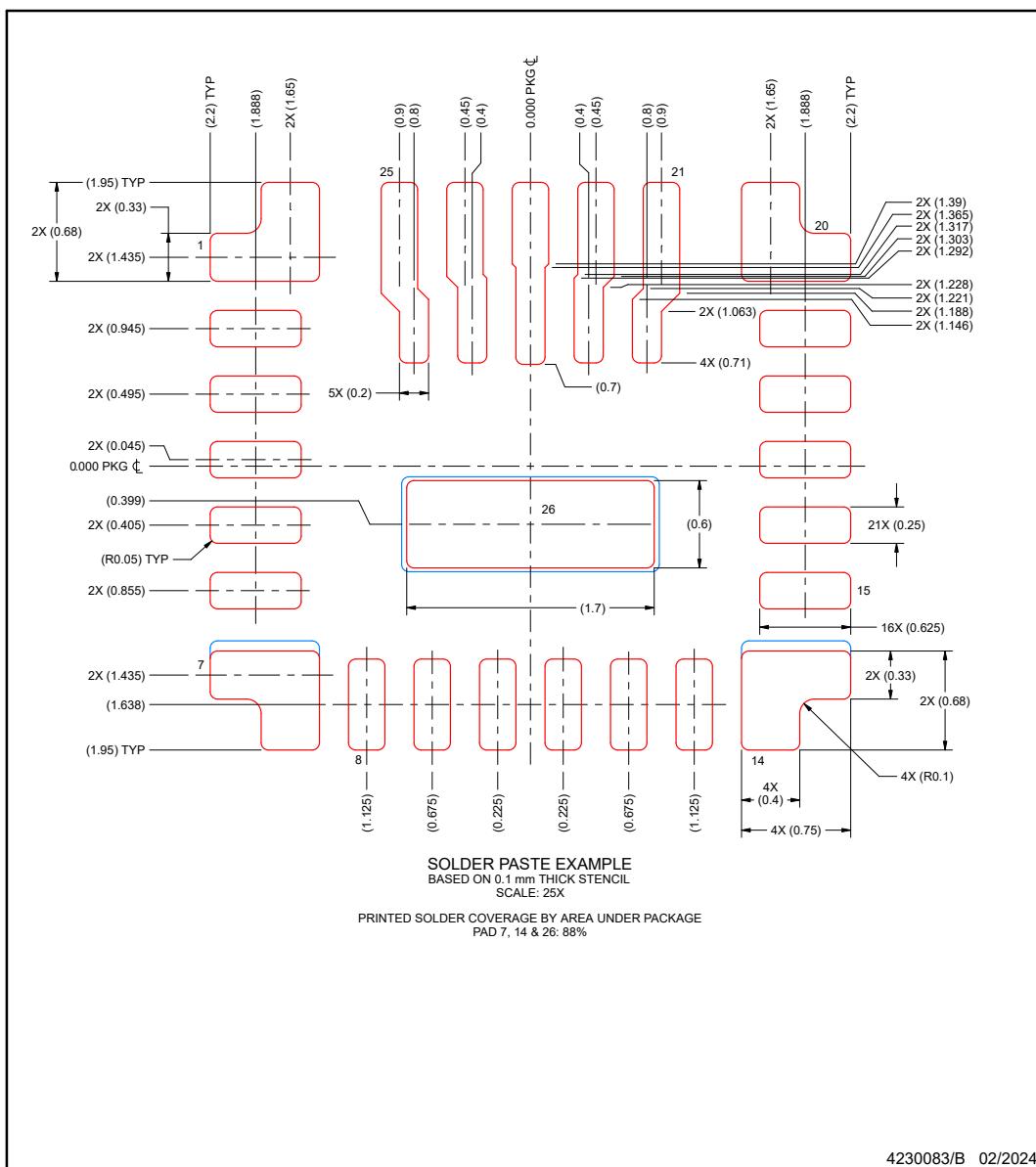
4. This package is designed to be soldered to a thermal pad on the board. For more information, see Texas Instruments literature number SLUA271 (www.ti.com/lit/slua271).
5. Vias are optional depending on application, refer to device data sheet. If any vias are implemented, refer to their locations shown on this view. It is recommended that vias under paste be filled, plugged or tented.

EXAMPLE STENCIL DESIGN

RBA0026A

WQFN-HR - 0.8 mm max height

PLASTIC QUAD FLATPACK - NO LEAD



NOTES: (continued)

6. Laser cutting apertures with trapezoidal walls and rounded corners may offer better paste release. IPC-7525 may have alternate design recommendations.

重要なお知らせと免責事項

TIは、技術データと信頼性データ(データシートを含みます)、設計リソース(リファレンス デザインを含みます)、アプリケーションや設計に関する各種アドバイス、Web ツール、安全性情報、その他のリソースを、欠陥が存在する可能性のある「現状のまま」提供しており、商品性および特定目的に対する適合性の默示保証、第三者の知的財産権の非侵害保証を含むいかなる保証も、明示的または默示的にかかわらず拒否します。

これらのリソースは、TI 製品を使用する設計の経験を積んだ開発者への提供を意図したもので、(1)お客様のアプリケーションに適した TI 製品の選定、(2)お客様のアプリケーションの設計、検証、試験、(3)お客様のアプリケーションに該当する各種規格や、その他のあらゆる安全性、セキュリティ、規制、または他の要件への確実な適合に関する責任を、お客様のみが単独で負うものとします。

上記の各種リソースは、予告なく変更される可能性があります。これらのリソースは、リソースで説明されている TI 製品を使用するアプリケーションの開発の目的でのみ、TI はその使用をお客様に許諾します。これらのリソースに関して、他の目的で複製することや掲載することは禁止されています。TI や第三者の知的財産権のライセンスが付与されている訳ではありません。お客様は、これらのリソースを自身で使用した結果発生するあらゆる申し立て、損害、費用、損失、責任について、TI およびその代理人を完全に補償するものとし、TI は一切の責任を拒否します。

TI の製品は、[TI の販売条件](#)、[TI の総合的な品質ガイドライン](#)、[ti.com](#) または TI 製品などに関連して提供される他の適用条件に従い提供されます。TI がこれらのリソースを提供することは、適用される TI の保証または他の保証の放棄の拡大や変更を意味するものではありません。TI がカスタム、またはカスタマー仕様として明示的に指定していない限り、TI の製品は標準的なカタログに掲載される汎用機器です。

お客様がいかなる追加条項または代替条項を提案する場合も、TI はそれらに異議を唱え、拒否します。

Copyright © 2025, Texas Instruments Incorporated

最終更新日：2025 年 10 月